年度	面積	數量	經費	面積	數量	經費
	町	本	円	町	本	円
四年度	六七・〇四〇〇	二三六・七三〇	一・〇九九・四九九	四四八・二〇〇〇	三三七・六一八	五・一五八・三五〇
五年度	二二〇・九四〇〇	二〇七・五四〇	一・六〇七・五三〇	四九五・五五〇〇	二三一・八三三	二・九二九・四三〇
計	二・四二九・三三二	三・一九三・二九六	二〇・〇八一・八四五	七・〇九二・〇九一六	五・九一六・八二六	五八・四九七・八三五

同上（其ノ六）

年度	面積	數量	經費	面積	數量	經費
	町	本	円	町	本	円
十九年度				三四・四二〇〇	二八一・八九六	七一〇・〇〇〇
二十年度				七九・〇〇〇〇	八四二・一二七	一・八六六・〇〇〇
二十一年度				二六三・二〇〇〇	二・四二九・五八一	四・一二九・〇〇〇
二十二年度				一五八・三一〇〇	三・二〇八・〇八三	三・二〇九・〇〇〇
二十三年度				一八三・八〇〇〇	一・六〇二・七四六	三・八三五・〇〇〇
二十四年度				一三六・七〇〇〇	一・八八八・七三〇	三・三四八・〇〇〇
二十五年度				五五・六〇〇〇	三三六・四二四	一・二七七・〇〇〇
二十六年度				八二・〇〇〇〇	三八四・四九六	九二三・〇〇〇
二十七年度				四四・一〇〇〇	一四九・五三〇	五六六・〇〇〇
二十八年度				三一〇・九〇〇〇	一・五九六・七七七	四・三三五・〇〇〇
二十九年度				一八九・一〇〇〇	一・六八八・九八五	一・八四七・〇〇〇
三十年度				三二七・七〇〇〇	一・八三三・四六六	八・一〇五・〇〇〇
三十一年度				三四四・四〇〇〇	八五九・五八九	八・〇五五・〇〇〇
三十二年度				八四・三〇〇〇	三三一・四四三	一・六一六・〇〇〇
三十三年度				一七・一〇〇〇	二六一・五七六	三三五・〇〇〇
三十四年度				八七・一一一三	二一・〇二〇	一・九八五・二五八

年度	面積	數量	經費	面積	數量	經費
	町	本	円	町	本	円
三十五年度				四〇・三五一七	一五七・六四二	七三二・五一四
三十六年度				六八四・五八九	三・九三九・一六二	一五・〇一一・八七三
三十七年度				七九九・五九二	二・〇二〇・〇五三	一三・七二〇・七九二
三十八年度	〇・三四〇〇	一・一一〇	六・一三〇	一・三三〇・二五〇七	三・三〇九・〇九一	二九・五四三・五三五
三十九年度				二・三五一・五一〇九	五・〇九四・〇九二	五一・一五〇六・三一三
四十年度				二・一六一・〇八〇二	七・九七〇・二三九	四九・一四一・七八四
四十一年度				二・六二六・二〇〇一	八・三三〇・八七四	五五・九六七・八七五
四十二年度				三・一九〇・一二一四	一一・一〇三・二七九	七三・二七八・一〇一
四十三年度				四・六五五・二六〇〇	一五・八一一・四五五	一〇〇・八〇五・〇七三
四十四年度	四三・六八〇〇	八一・〇〇〇	五二九・四八六	五・一五三・五一〇〇	一六・四四六・一一五	一〇六・一八七・八八五
大正元年度	四二・三三〇〇	八四・六四〇	八六一・七八〇	五・六二六・七三〇〇	一九・四四八・八三三	一二三・〇三〇・六四八
二年度	一四四・五八〇〇	一三六・八四五	一六九四・二四〇	六・九〇八・二五〇〇	三三・〇四八・五一九	二九・一八九・六九七
三年度	九三・三四〇〇	五五・三六三	七九五・〇〇〇	七・四一〇・九三〇〇	三・九七・一四四	一四二・三六八・九六九
四年度	一二九・二四〇〇	五三・二四八	七九五・〇八六	八・七一八・三六〇〇	二八・二一六・四五三	一七三・八四一・九四九
五年度	六三・六〇〇〇	一九・〇八〇	七六八・一三〇	八・〇四三・六九〇〇	二五・四八七・五〇四	一六〇・八五一・二九〇
計	五六・一一〇〇	四三一・二八五	五・四三九・八九三	六二・一一〇・五五〇	二六・一〇一・四九八	一・二七〇・五四六・五三三

同上（其ノ七）

年度	面積	数量	経費
十九年度	一三三・四〇〇〇町	八四八、〇九六本	一、五九〇・〇〇〇円
二十年度	二九一・三〇〇〇	一、八九二、六八〇	三、四三〇・〇〇〇
二十一年度	七二一・七〇〇〇	四、七六八、九四二	九、五七〇・〇〇〇
二十二年度	六八六・三〇〇〇	五、三三八、一〇四	一〇、四一四・〇〇〇
二十三年度	二、四九三・五〇〇〇	一五、九四三、一九〇	四八、六三・〇〇〇
二十四年度	二、四二三・五〇〇〇	一七、四〇三、八九九	四二、七九七・〇〇〇
二十五年度	二、四九五・七〇〇〇	一六、六三〇、四〇四	三六、八〇五・〇〇〇
二十六年度	三、三二一・八〇〇〇	三三、一五三、五九〇	五五、四九三・〇〇〇
二十七年度	二、九八四・一〇〇〇	一八、七三六、五八八	五〇、六六六・〇〇〇
二十八年度	四、五五四・七〇〇〇	二七、一八一、三一〇	八一、九三五・〇〇〇
二十九年度	四、〇六五・八〇〇〇	二三、三五一、五五〇	六一、六六九・〇〇〇
三十年度	四、〇六八・九〇〇〇	二三、〇四三、一三八	七九、九四一・〇〇〇
三十一年度	四、五九四・二〇〇〇	二一、六〇二、六九六	九七、九三三・〇〇〇
三十二年度	三、〇九八・二〇〇〇	一三、九八三、〇二九	五五、七四八・〇〇〇
三十三年度	二、九三三・三〇〇〇	一四、四七七、八六九	五七、一四〇・〇〇〇
三十四年度	三、七八六・三五〇〇	一八、六六六、四四一	六九、一七四・六四四
三十五年度	三、七一四・三一六〇	二一、七四四〇	七七、六七八・三四二
三十六年度	五、〇三一・三七九	三三、三四〇	九八、七九四・六四〇
		二、七〇〇	

年度	面積	人工	経費	一町歩當経費	経費計
			円	円	円
十九年度	一三三・四〇〇〇町		一、五九〇・〇〇〇	一一・九一九	一、五九〇・〇〇〇
二十年度	二九一・三〇〇〇				
三十年度	二、九〇二・二八〇〇		三、四三〇・〇〇〇	一一・七四〇	三、四三〇・〇〇〇

經常部各種造林事業年度別實行表

年度	面積	人工	経費	一町歩當経費	経費計
			円	円	円
三十七年度	五、二八六・一四〇七		八四、九三一・五〇五		
三十八年度	五、一七一・六七〇一		九〇、二四八・二七三		
三十九年度	八、五六六・三三七四		一八二、三六〇・四三七		
四十年度	一〇、九四一・九三三五		二三三、五〇五・〇八〇		
四十一年度	一三、六九〇・二五一四		二九三、二四四・四九〇		
四十二年度	一五、四八四・五二八		三五〇、一一〇・四三五		
四十三年度	一九、一三九・八〇〇〇		四一三、八〇八・一三五		
四十四年度	二三、二三二・〇四〇〇		四四四、五九七、一三九		
大正元年度	二三、〇〇五・一三〇〇		五一七、一七一・五四六		
二年度	二三、六〇二・〇四〇〇		四三八、四六四・四六五		
三年度	一八、七一七・六五〇〇		三五二、五六七・七〇〇		
四年度	一七、二六九・六七〇〇		三三八、四四一・八五四		
五年度	一四、八〇二・八一〇〇		二九五、一八一・四五三		
計	二四九、三三〇・二八二九		四、九七四、〇〇三・二六八		

年度	面積	人工	経費	一町歩當経費	経費計
			円	円	円
十九年度	一三三・四〇〇〇		一、五九〇・〇〇〇	一一・九一九	一、五九〇・〇〇〇
二十年度	二九一・三〇〇〇		三、四三〇・〇〇〇	一一・七四〇	三、四三〇・〇〇〇

| | | |

| 年度 | 天然生育 | | |

年度	種別	面積	苗種苗數	經費	一町歩當經費	養成苗木經費
三十一年度	砂防工	一、三二一・一〇〇〇		二七、三五五・〇〇〇	二〇・八八八	二七、三五五・〇〇〇
三十二年度	砂防工	三三・八〇〇〇		一八、七一一・〇〇〇	五五三・五八〇	一八、七一一・〇〇〇
三十三年度	砂防工	（延長一四、六八九間）		二、八〇七・〇〇〇		二、八〇七・〇〇〇
三十四年度	砂防工			三、六七五・〇四六		三、六七五・〇四六
三十五年度	砂防工	（延長五、六八九間）		三〇三・一五二		三〇三・一五二
三十六年度	砂防工	三〇・八八〇一		八三五・七七二		八三五・七七二
三十七年度	砂防工	四二・四九〇四		五〇九・七五三		五〇九・七五三
三十八年度	補新砂防工植植	六〇・九四三三		八・三六五		八・三六五
三十九年度	新植	五五・三四〇八		一九・六九九		一九・六九九
	補砂防工植	一・〇三二七		一五二・〇六一五五		一五二・〇六一五五
		三五・四〇〇〇		一七・三二九		一七・三二九
四十年度	砂防工	〇・六一二三		二七八・四九三		二七八・四九三
	補砂防工植	三〇・七〇〇〇		一・九三四		一・九三四
四十一年度		一六・〇〇〇〇		二六・五八八		二六・五八八
四十二年度	手砂防入工	三〇・七〇一二		一・八八一		一・八八一
		〇・五六〇〇		二・六〇〇		二・六〇〇
四十三年度	手砂防入工	三〇・八四〇〇		七・八三七		七・八三七
		〇・五六〇〇		三・三〇〇		三・三〇〇
四十四年度	手補新砂防入植植工	三二・八六〇〇		四二・三四九		四二・三四九
		一・三三七〇		五一・六三七		五一・六三七
		〇・五六〇〇		一〇三・六〇〇		一〇三・六〇〇
		〇・五六〇〇		六・一〇〇		六・一〇〇
大正元年度	手補新砂防入植植工	三三・五一〇〇五		五五・〇八三		五五・〇八三
		〇・五六〇〇		五一・五三三		五一・五三三
		〇・七六〇〇		二一・七八二		二一・七八二
		〇・五六〇〇		六・〇〇〇		六・〇〇〇
二年度	手補新砂防入植植工	三四・〇一三九		二九・三五八		二九・三五八
		二・七二二〇		四二・七三〇五		四二・七三〇五
		〇・五六〇〇		六・〇〇〇		六・〇〇〇
三年度						
四年度						
五年度						
計	手補新砂防入植植工	一、八六五・九〇二一	六八、八八七・〇八一	三六・九三三		三六・九三三
		一〇・九二二九	七七〇・四五六	六五・九三八		六五・九三八
		六〇・八一〇〇	二二・五一五	四・八六〇		四・八六〇
		二・五〇〇〇				

備考

砂防工ノ延長ハ計ニ於テハ此ヲ除外シ經費ハ加算セリ

年度	種別	面積	苗種苗數	經費	一町歩當經費	養成苗木經費
二十五年度	播種替種	一四・一〇一〇町	合一四、二九、三七六、九〇〇本	四、一四四・〇〇〇円	二九三・九〇一円	八、三三五・〇〇〇円
		五四・八〇〇〇	本五五、九〇〇	四一九・〇〇〇	七六・四七八	
二十六年度	播替種	一一・六〇〇〇	二五、三四〇、〇〇〇	四、一〇〇・〇〇〇	三五二・一〇三	一一、八〇〇・〇〇〇
		六七・五一〇〇	七三、四〇〇	七、二四七・〇〇〇	一〇七・三六三	
二十七年度	播種替種	一三・〇〇〇〇	三三、三五六、八〇〇	四、四五四・〇〇〇	三〇七・五〇〇	二、七〇〇・〇〇〇
		九二・八〇〇〇	八八、九〇〇	八、五三一・〇〇〇	九二・七三〇	
二十八年度	播替種	九・九〇〇〇	七五、八〇〇	四、三九五・〇〇〇	三〇七・三〇〇	二、三三〇・〇〇〇
		九一・三〇〇〇	三八、九二九、二二六	一〇、一三一・〇〇〇	一二二・〇五九	
二十九年度	播替種	一〇・一〇〇〇	七五、八〇〇	三、七五〇・〇〇〇	三七一・二八七	一、一二二・〇〇〇
		一二四・一〇〇〇	四九、九〇八、六六四	一四、〇一〇・〇〇〇	一一二・七八七	
三十年度	播替種	一三・五〇一〇	一四三、七〇〇、五八五	七、三八七・〇〇〇	五四七・一八五	三三、七三一・四三
		一二・四〇〇〇	五四、九八八	二五八・八七〇	二二九・六八九	
三十一年度	播替種	一一・六〇〇〇	五一、五四七、七四三	一一、三五九・〇〇〇	九八一・八一〇	三九、七七七・五六
		三七・一〇一〇	五四、〇九三	三八、五一五・〇〇〇	三〇三・〇一九	
三十二年度	播替種	一四五・〇〇〇〇	五九、四一五、三一七	二六五、四一六・〇〇〇	一、〇八五・〇〇〇	三三、七八〇、四六二
						四八、八九三・〇〇〇

年度	種別	面積	保護費	一町歩當經費	經費計
三十三年度	播種	九・一〇〇〇	四九・四五三・〇〇〇	五・四〇	四九・四五三・〇〇〇
三十三年度	床替	三九・〇〇〇〇	三七・六七〇・〇〇〇	一・〇〇七・七四七	三七・九九〇・〇〇八
三十四年度	播種	二七・六四二・九六六	二七・九八三・一八八	一・〇〇七・七四七	二七・九八三・一八八
三十四年度	床替	二七・〇九六・九六六	二七・〇九六・九六六	一・〇〇七・七四七	二七・〇九六・九六六
三十五年度	播種	一四・〇〇三・九九	一四・〇〇三・九九	一・〇〇七・七四七	一四・〇〇三・九九
三十五年度	床替	一四・〇〇三・九九	一四・〇〇三・九九	一・〇〇七・七四七	一四・〇〇三・九九
三十六年度	播種	一三・〇五一・一三	一三・〇五一・一三	一・〇〇七・七四七	一三・〇五一・一三
三十六年度	床替	一四・七七三・九〇七	一四・七七三・九〇七	一・〇〇七・七四七	一四・七七三・九〇七
三十七年度	播種	一四・七七三・九〇七	一四・七七三・九〇七	一・〇〇七・七四七	一四・七七三・九〇七
三十七年度	床替	一四・七七三・九〇七	一四・七七三・九〇七	一・〇〇七・七四七	一四・七七三・九〇七
三十八年度	播種	一一・二四二・九〇七	一一・二四二・九〇七	一・〇〇七・七四七	一一・二四二・九〇七
三十八年度	床替	一一・二四二・九〇七	一一・二四二・九〇七	一・〇〇七・七四七	一一・二四二・九〇七
三十九年度	播種	一七・一六〇・〇四一・七	一七・一六〇・〇四一・七	一・〇〇七・七四七	一七・一六〇・〇四一・七
三十九年度	床替	一七・一六〇・〇四一・七	一七・一六〇・〇四一・七	一・〇〇七・七四七	一七・一六〇・〇四一・七
四十年度	播種	三三・六八一・七	三三・六八一・七	一・〇〇七・七四七	三三・六八一・七
四十年度	床替	三三・六八一・七	三三・六八一・七	一・〇〇七・七四七	三三・六八一・七
四十一年度	播種	三三・一〇一・一	三三・一〇一・一	一・〇〇七・七四七	三三・一〇一・一
四十一年度	床替	二七・〇四一・五	二七・〇四一・五	一・〇〇七・七四七	二七・〇四一・五
四十二年度	播種	二九・一七六・五	二九・一七六・五	一・〇〇七・七四七	二九・一七六・五
四十二年度	床替	二七・一七六・八	二七・一七六・八	一・〇〇七・七四七	二七・一七六・八
四十三年度	播種	三三・二八七	三三・二八七	一・〇〇七・七四七	三三・二八七
四十三年度	床替	四〇・一九九	四〇・一九九	一・〇〇七・七四七	四〇・一九九
四十四年度	播種	四四・三三九	四四・三三九	一・〇〇七・七四七	四四・三三九
四十四年度	床替	四五・六四〇・五	四五・六四〇・五	一・〇〇七・七四七	四五・六四〇・五
大正元年度	播種	四九・四五三・〇〇〇	四九・四五三・〇〇〇	一・〇〇七・七四七	四九・四五三・〇〇〇
大正元年度	床替	二〇五・九七七・七八八	二〇五・九七七・七八八	一・〇〇七・七四七	二〇五・九七七・七八八
計	播種	二〇四・四四八・八三〇	二〇四・四四八・八三〇	一・〇〇七・七四七	二〇四・四四八・八三〇
計	床替	五・九〇三・七一〇〇三	五・九〇三・七一〇〇三	一・〇〇七・七四七	五・九〇三・七一〇〇三
二年度	播種	五〇・五九〇五	五〇・五九〇五	一・〇〇七・七四七	五〇・五九〇五
二年度	床替	五三一・七七八	五三一・七七八	一・〇〇七・七四七	五三一・七七八
三年度	播種	四七〇・〇六三・三	四七〇・〇六三・三	一・〇〇七・七四七	四七〇・〇六三・三
三年度	床替	四七〇・七三三	四七〇・七三三	一・〇〇七・七四七	四七〇・七三三
四年度	播種	四五六・三九一・八	四五六・三九一・八	一・〇〇七・七四七	四五六・三九一・八
四年度	床替	四〇・三七一・〇〇	四〇・三七一・〇〇	一・〇〇七・七四七	四〇・三七一・〇〇
五年度	播種	三九・一三八	三九・一三八	一・〇〇七・七四七	三九・一三八
五年度	床替	四六五・八二〇	四六五・八二〇	一・〇〇七・七四七	四六五・八二〇
計	播種	五八〇・六〇二四	五八〇・六〇二四	一・〇〇七・七四七	五八〇・六〇二四
計	床替	五、九〇三・七一〇〇三	五、九〇三・七一〇〇三	一・〇〇七・七四七	五、九〇三・七一〇〇三

年度	種別	面積	保護費	一町歩當經費	經費計
三十年度	固定新設	二八・八〇〇〇町	九八八・〇〇〇円	三四・三五五円	九八八・〇〇〇円
三十一年度	固定新設	一五七・一〇〇〇	四・二六六・〇〇〇	二七・一五五	四・二六六・〇〇〇
三十二年度	固定新設	四二・八〇〇〇	一・七九一・〇〇〇	四一・八四六	一・七九一・〇〇〇
三十三年度	固定（修繕新設）	延長七二・〇〇〇間（同一一・九二〇間）	三・一三三・〇〇〇（同九六・〇二一間）	—	五・七三三・〇〇〇
三十四年度	固定新設	一八・三二〇	二・〇五〇・一三五	二八・五五〇	二・〇五〇・一三五
三十五年度	固定（修繕新設）	一三・五一四	五〇〇・五九〇	三七・一五五	五・一五九・四九六
三十五年度	臨時	一三・六八〇	一〇一・三二〇	七・四一〇	一〇一・三二〇
三十六年度	臨時	四三〇・二六一五	五・八六六・五〇九	一三・六三五	五・八六六・五〇九
三十七年度	固定（修繕新設）	二・七一〇六	三三六・〇八	一二〇・一九六	三三六・〇八
三十七年度	臨時	一七・二五三	三九四・一五五	二三・八四八	四・一四一・七八三
計	播種	二〇四・四四八・八三〇	二九二・二八五・八三〇	一・六四四・二七七	二九二・二八五・八三〇
計	床替	三一一・二九六	二七〇・六四五・七五八	八〇二・九五六・〇九三	二七〇・六四五・七五八
計	播種	一七六・七六八・二八六	二九〇・六四五・七五八	一・六四四・二七七	二九〇・六四五・七五八
計	床替	二七七・二七七・〇七九	二七八・〇一〇・八七七	五四・七九七・九四一	二七八・〇一〇・八七七
計	播種	五三・二八〇・〇〇三	二九〇・六四五・七五八	五七・八二七・九四一	二九〇・六四五・七五八
計	床替	五七五・六〇一・四〇三	二七八・〇一〇・八七七	八〇二・九五六・〇九三	二七八・〇一〇・八七七
計	播種	五八・九〇九・〇八〇	二・三三四・五五五	六九・六四五・二七	二・九二・二八五・八三〇
計	床替	二・二〇・三五六・六九四	五七五・六〇一・四〇三	八〇二・九五六・〇九三	二・八五五・九七七・〇九七
計	播種	二〇四・四四八・八三〇	二〇四・四四八・八三〇	一・〇〇七・七四七	二〇四・四四八・八三〇
計	床替	五・九〇三・七一〇〇三	五・九〇三・七一〇〇三	一・〇〇七・七四七	五・九〇三・七一〇〇三

年度	種別	面積	經費	一町歩當經費	經費計
三十八年度	固定	三、七四〇・三	六六、九一八	二四・七一〇	一四四、二三一・九
	臨時	一〇三、一三一・七	一八、六〇三・六	一七・九二二	一、七二〇・〇〇〇
	新設	八三二・三六五	一四、〇六二・九	一六・九二二	一、三五二・〇〇〇
	修繕	一〇三・三六五	一八、六〇三・六	一七・九二二	一、七二〇・〇〇〇
三十九年度	固定	五・七七一・二	二、四八八・一七二	五・九九七・一九	一、〇〇〇・〇〇〇
	臨時	九二・〇六二・九	五、九九七・一九	一七・〇〇二・二	一、〇〇〇・〇〇〇
	新設	八三・一四〇・七	七、二四二・三〇〇	一七・〇四三・七	一、〇〇〇・〇〇〇
	修繕	一七・二九〇・四	二、七一七・九〇七	一七・〇四三・七	一、〇〇〇・〇〇〇
四十年度	固定	一〇・〇四八・三三四	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一七・二九〇・四	三、六一〇・七〇七	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
四十一年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
四十二年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
四十三年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
四十四年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
大正元年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
二年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
三年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	新設	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	修繕	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
四年度	固定	一〇・三二一・七四〇	二、一二九・四一二	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	一〇四・八八三	二、二一七・二四〇	二一・二九五・四	二、四〇〇・〇〇〇
五年度	固定	六六・八一二	一、三五二・七四〇・九	二〇・二四九・二一二	二、四〇〇・〇〇〇
	臨時	三五三・七四〇・九	一、三五九・七二二	八〇・〇六二・九	一、三五九・七二二
計	固定	八三・七四〇・六	二、〇〇八・一六〇・八七〇	二四・一四〇・九二七	二、〇〇八・一六〇・八七〇
	臨時	一、〇〇四・八八三	一、六〇二・〇〇四・八七〇	一、四四〇・〇〇〇・〇〇〇	一、六〇二・〇〇四・八七〇

備考

延長ハ計ニ於テハ此ヲ除外シ經費ハ加算セリ

雜經費ハ臨時防火線ニ組入レタリ

年度	種別	面積	經費	一町歩當經費	經費計
三十九年度	倒蔓枝間伐	一二四・三二九	八六六・六五七	七・四九九	八六六・六五七
	倒木起切打伐	一五・〇〇〇〇	三七・四四二	二・四九六	三七・四四二
四十年度	倒蔓枝間伐	一四四・三二九	一、二二二・二四八	八・四九六	一、二二二・二四八
	倒木起切打伐	一四・四四二	一、七五五・九六〇	一二・〇六八	一、七五五・九六〇
四十一年度	倒蔓枝間伐	九四八・八六二	二、四〇九・九四〇	二・五四八	二、四〇九・九四〇
	倒木起切打伐	一、一六一・七四〇	二、一二九・六六六	一・八二二	二、一二九・六六六
四十二年度	倒蔓枝間伐	一、五六八・二四〇	三、五五九・一四〇	二・二四〇	三、五五九・一四〇
	倒木起切打伐	一、八五五・四一二	三、五五九・一四〇	一・九四八	三、五五九・一四〇
四十三年度	倒蔓枝間伐	五、五六八・二〇〇	一、一三二・四〇〇	二・一四九	一、一三二・四〇〇
	倒木起切打伐	一、二二一・五〇〇	二、四〇九・九四〇	一・九四八	二、四〇九・九四〇
	倒蔓枝間伐	一五五・七四〇	二五〇・〇〇〇	一・六一二	二五〇・〇〇〇

年度	竹林藩費	延長林道費	林業試驗費	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐
四十四年度	三、五〇四・七三〇	九、五二一・三二一	二・六七四	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	一、八八九・六八〇	二四、九八五・〇三〇	三、三八・五二〇	二、八一五・三四〇	一〇、四三三・五七〇	三九二・六四〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇
大正元年度	一、三四八・五二〇	六、六八・六〇〇	一〇〇・四三〇	二六・〇七〇	一八、九五四・〇五五	九〇一・八二八	五五八・三二〇	一〇、六〇三・三〇〇	一五、六六七・七〇〇	六五六・七一〇	二、二七七・四一七	九、五四三・〇五五	一八、九〇一・八二八
二年度	二〇、六六八・六〇〇	一、三四八・五二〇	二六・〇七〇	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	一、八八九・六八〇	二四、九八五・〇三〇	三、三八・五二〇	二、八一五・三四〇	一〇、四三三・五七〇	三九二・六四〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇
三年度	二、三四八・五二〇	一、三四八・五二〇	二六・〇七〇	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	一、八八九・六八〇	二四、九八五・〇三〇	三、三八・五二〇	二、八一五・三四〇	一〇、四三三・五七〇	三九二・六四〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇
四年度	二、三四八・五二〇	一、三四八・五二〇	二六・〇七〇	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	一、八八九・六八〇	二四、九八五・〇三〇	三、三八・五二〇	二、八一五・三四〇	一〇、四三三・五七〇	三九二・六四〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇
五年度	三、三四八・五二〇	一、三四八・五二〇	二六・〇七〇	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	一、八八九・六八〇	二四、九八五・〇三〇	三、三八・五二〇	二、八一五・三四〇	一〇、四三三・五七〇	三九二・六四〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇
計	三、三四八・五二〇	一、三四八・五二〇	二六・〇七〇	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	一、八八九・六八〇	二四、九八五・〇三〇	三、三八・五二〇	二、八一五・三四〇	一〇、四三三・五七〇	三九二・六四〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇

備考

明治四十二年度雜經費三七五圓二三〇ハ蔓切經費ニ組入レタリ

年度	竹林藩費	延長林道費	林業試驗費	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐	倒蔓枝間伐
三十年度	六二六・〇〇〇円	三七・四四三円	八、七一三・〇〇〇円	一八、七一三・〇〇〇円	四、四五一・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十一年度	六三四・〇〇〇	七一、七五八円	一二、九七九・四六〇円	二四、七一三・四九五	四、四五一・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十二年度	七八五・〇〇〇	（一二町二一〇七）	九、四七二・一一三	一〇、四二四・五〇〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十三年度	三七五・〇〇〇	五三、五七四	九、一六三・七四一	九、九四七・一二〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十四年度	五四六・七九四	五六、七四九	七、三九五・八六四	七、九四七・二〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十五年度	八一四・四〇〇	二二、八八〇	五、三七一・二八八	五、九四七・二〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十六年度	一、二八一・八三六	四五、四六二	二、一一一・二一〇	二、七八一・〇四〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十七年度	六一九・七八三	二四、二四一	一、〇七一・九五〇	一、七八一・〇四〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十八年度	六〇八・八〇〇	五、六二八	二、四六一・八七〇	二、七八一・〇四〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三十九年度	六三六・八七二	七三、八〇一	一、三四九・〇三六	一、三四九・〇三六	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
四十年度	五五五・一五一	一一一二、四九七	一三、九四四・九五四	一三、九四四・九五四	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
四十一年度	七七六・〇九〇	一七四、三三九	二四、一九四・五六四	二四、一九四・五六四	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
四十二年度	六二七・六八〇	二一〇、七九六	三四、三六四・一八〇	五一、八〇九・四一〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
四十三年度	六一六・九一〇	四八〇、四八七	九、九六五・九〇五	八、一一三・二七八	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
四十四年度	四一九・九八〇	三四四、三三一	一〇、四二四・五〇〇	三四、一五六・五七一	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
大正元年度	四七二・三七〇	六七七、六六二	四、六〇六・二二四	五九、三二八・四六〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
二年度	—	二四二、八五五	五、五三九・〇五五	二八、二九八・九六〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
三年度	—	八三、二九一	三九・五〇〇	四、九九四・〇六〇	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
四年度	—	—	—	—	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
五年度	—	二、七一七、七九四	—	—	一、六五五・〇〇〇	一、六五五・〇〇〇	三、三七八・四五三	九八三・六九〇	六、五二二・〇七一	一、九二四・〇四九	二、四六一・八七〇	一三、三四九・〇三六	一三、九四四・九五四
計	一〇、三九六・七〇六	（外ニ面積一二町二一〇七）	一〇八、一八一・六六八	三一三、二四二・三二八	二九、一四四・〇〇九	二、〇〇〇・六五〇	三四一・九五二・〇七三	五七、六七六・五八九	二、三五〇・一四三	一〇、六六四・七七一	二、二七〇・二五〇	五、二二四・八五〇	三、三四一・〇五〇

備考

林道ノ延長ハ林道及橋梁ノ新設ノミヲ掲ケ

其ノ經費ハ林道、橋梁、溝渠、堤壩等ノ新設及修繕費ト河川ノ修繕費（十二圓）トヲ掲上セリ

年度	造林處理費	造林事業費合計
十九年度	円	円
二十年度		一、五九〇・〇〇〇
二十一年度		三、四二〇・〇〇〇
二十二年度		九、五七〇・〇〇〇
二十三年度		一〇、四一四・〇〇〇
二十四年度		四八、六七三・〇〇〇
二十五年度		四二、七九七・〇〇〇
二十六年度		五七、四九四・〇〇〇
二十七年度		八七、〇四六・〇〇〇
二十八年度		九二、三七二・〇〇〇
二十九年度		一三三、四四三・〇〇〇
三十年度		一二〇、六四六・〇〇〇
三十一年度		一八八、三五五・〇〇〇
三十二年度		二七〇、六二七・〇〇〇
三十三年度		二四九、二五一・〇〇〇
三十四年度		二三一、二八二・〇〇〇
三十五年度		二五四、二五〇・一七九
三十六年度		二五五、四七一・七七六
三十七年度		三〇五、三三六・一二八
三十八年度		二七六、四二八・六九四
三十九年度		二八四、八一五・二五三
四十年度		四三八、二七一・八六二
四十一年度	一、一三七・九八五	
四十二年度	一、一四八・四一八	
四十三年度	一、三三一・三七一	
四十四年度	二〇・四二〇	
四十五年度	四・八〇〇	
四十六年度	二八、九四五・六七〇	
四十七年度	三三、一〇一・四六〇	
四十八年度	三七、四五九・四六〇	
四十九年度	四四、三四二・七九〇	
大正元年度	九九、三〇四・八九五	
二年度	八三、六九一・六五〇	
三年度	一〇六、四三八・三六五	
四年度	一二四、五七三・四六九	
五年度	一二七、五九三・一五三	
計	六九二、〇九三・九〇六	五七三、〇五五・五一七
		七四七、二七八・四七三
		八八四、二七二・八三五
		一、〇八一、二八〇・六八〇
		一、一九一、三五三・二二五
		一、四五六、三四三・六四五
		一、四〇八、五四五・二二〇
		一、三五〇、〇二六・七二五
		一、三一七、九五〇・一九五
		一、二六一、九一九・五四五
		一四、六三三、五七九・九五二

特別經營部新植面積數量及經費樹種別年度別表（其ノ一）

年度	杉 面積 町	杉 數量 本	杉 經費 円	柏 面積 町	柏 數量 本	柏 經費 円
三十二年度	九〇一・八七三	四、五三四、八四七	一九、三五九・三六七	一四五・一〇一〇	七六一、三四〇	四、四六四・五六三
三十三年度	七五七・六三〇六	三、六五二、四三〇	一五、〇四五・〇九三	二五七・三六一七	八〇一六・〇三四	六、〇五一・一八一七
三十四年度	一、二九八・一六二六	五、九六一、一四一	三一、六九〇・三三一	七五六・九五二五	三、七七、五四六	二三、六二一・七五五
三十五年度	二、九一〇・五四〇〇	一四、七三三、三八九	六九、〇二五・二二〇	二、一六二・三二〇四	九、四五三、九四九	一四、〇〇一、二九六
三十六年度	三、六二六・五八二三	二〇、一二一、七九三	八三、一六二・六二〇	三、一六九・五二〇七	一四、〇〇一、二九六	七五、三九・七四三
三十七年度	四、七二四・五〇〇五	一九、六七九、四〇八	八〇、五七八・三九三	三、九〇四・〇八二一	一七、〇五一、一六七	六二、一七一・六五二
三十八年度	二、〇六八・七〇〇一	八、三二三、四七六	三〇、五六八・一〇八	一、五六六・七七一三	三、六二〇、八一七	一八、六四九・一三〇

年度	面積	数量	経費	面積	数量	経費
三十九年度	三、九四五・〇一〇九	二二、七九七、五六二	六六、一三三・一七一	三、八六八・六八〇〇	一四、六四六、一五三	七六、九六九、四〇〇
四十年度	二、九四五・七三〇六	二一、二六六、二九九	五四、九〇二・一一	二、九五七・五三二一	一一、二六九、三五五	六四、六七五・五五八
四十一年度	二、六七〇・四二〇八	一〇、二七・一四四	六三、八九四・七四九	二、九四一・四六三三	六四、二六一・二九三	六四、三四〇・八六八
四十二年度	三、七六七・六四〇三	一四、一七・〇五九	六八、〇五九・八六八	三、三六八・八二六六	二二、二〇・九一八	一〇、二三七・一四四
四十三年度	二、九九七・九八〇〇	一一、二〇・八五五	五三、九〇三・八一七	五、〇四八・九九〇〇	一九、二三三・九二六	七三、一三五・六〇六
四十四年度	二、六二一・八五〇〇	九、九四八・六六一	四三、〇五二・四七三	四、三二七・二六〇〇	一五、一四五・八五〇〇	六八、〇四四・三六八
大正元年度	一、七七二・四六〇〇	六、九九二・五〇七	二九、九二三・一三三	三、四四四・六七〇〇	一二、七四〇・一〇一	五六、〇〇八・二六七
二年度	一、〇三一・五七〇〇	三、八〇五・三一五	一七、八九二・五八三	三、四三九・六二〇〇	二、二九〇・八五四	一〇、八六六・四四二
三年度	一、五〇七・六四〇〇	五、六〇二・四二〇	二六、二六六・四〇四	二、八九七・八五〇〇	一〇、八六六・四四二	七、三三五・六一七
四年度	一、〇九八・二五〇〇	三、八八九、八〇三	一九、七二八・四六五	二、二二一・三二〇〇	七、三三五・六一七	三七、〇九八・一五九
五年度	五五一・五〇〇〇	二、二一〇、四七五	七八四、五三三・七四五	二、一八一・三一〇〇	一八四、五二九、五四八	九六八、一四七・六七二
計	四二、一八八・〇六一〇	一六八、八九四、八〇三		四八、六四〇・三六〇七		

同上（其ノ二）

年度	面積	数量	経費	面積	数量	経費
三十二年度	四町・〇〇〇〇	二四、〇〇〇本	一、二九・三三二円	一、一七六・四八一四	七、〇九九、八七七本	一八、一四〇・六六五円
三十三年度	八〇・四二三三	三七、一八五	一、一四・四六四	一、一七六・四八一四	七、〇二五、一七〇	一七、八〇一・三六九
三十四年度	—	—	二、三三六・七七〇三	二、四九九・二四〇八	一一、四三五、六五一	三九、三〇二・一五一
三十五年度	三一・〇〇〇〇	八五・一〇五	五七三・五五九	二、四九九・二四〇八	八、〇九二、七八九	二六、九三・一五六
三十六年度	—	—		四、八五一・四八〇三	二、三六、一〇〇	二七、四九六・九八五
三十七年度	—	—		四、一六一・四八〇六	二、三六、一〇〇	三八、七四一・五四〇六

合本

同上（其ノ三）

年度	面積	数量	経費	面積	数量	経費
三十八年度	—	—		一、〇五三・一五一〇	四、一七五、三三八	八、八一四・六七一
三十九年度	—	—		三、四二七・六一〇	七、九三四、八五五	三〇、〇一八・九四〇
四十年度	—	—		二、五一五・三五〇二	八、六二七、六六八	二三、〇三〇・三一九
四十一年度	—	—		一、四六一・五四一九	四、九七七、六七六	一六、〇七〇・六七四
四十二年度	—	—		二、二九一・二五二七	七、〇三六、五八四	二七、三九九・〇三六
四十三年度	—	—		三、五四八・七八〇〇	一一、三〇九、六四二	四三、四〇七・三六〇
四十四年度	—	—		三、〇三九・一三〇〇	九、七六五、八四四	三五、一五〇・三八〇
大正元年度	—	—		三、四二〇・二三〇〇	九、二七八、一四五	三九、八七四・四二八
二年度	—	—		二、九八・〇四〇〇	一一、一七八、一一二	三七、七九三・二七一
三年度	一九・四四〇〇	八三、三〇〇	三三〇・一三〇	一、八二四・八八〇〇	八、八四四、九三五	二七、一〇八九・八八六
四年度	—	—		一、四〇・四四〇〇	五、七六六、二三七	二七、九三一・二七一
五年度	六・一〇〇	二六、六〇〇	八四・八〇	一、四〇・四四〇〇	五、三〇〇、一三九	二三、九〇三・二一九
計	一四一・〇四三三	五九六、八四〇	二、三三・九三三	四六、七三五・七五〇四	一、一六五	五三〇・〇九一・六八五

合本

年度	面積	数量	経費	面積	数量	経費
三十二年度	一四五七・四八一三町	一六四、四三三本	一、〇五〇・〇七四円	一、三八・七〇七	七七〇、四五〇本	一、三八・六七一円
三十三年度	一八六六・六七一一	二〇八、九九五	四、三八六・八七五	四、三八六・八七五	一、八九六、〇〇九	一三、九五〇・五四〇
三十四年度	九五・〇〇〇〇	一〇四、七四〇	一三、九五〇・五四〇	六六三・六一〇九	二、二五八、〇三五	一、九二〇・六四三
三十五年度	五四・〇〇〇〇	七九、五〇〇	六七・五〇〇	一、九二〇・六四三	七、一〇三、五八一	二、八一八・二七八
三十六年度				四、一四一・三八〇八	一、四四一・三八〇八	一五、四四六・四六四

第三編　國有林野ノ經營

同上（其ノ四）

年度	面積	數量	經費	面積	數量	經費
	町	本	円	町	本	円
三十七年度	一、八七三・九〇〇〇	六、六四七、五八二	二、八五五・九二九	八四九・三六〇〇	一、二六五、〇四二	四、一七八、五一五
三十八年度	一、〇三七・一八二七	三、四八二、三六〇	八、一七六・五二九	一、八四一・三〇〇三	一、五六七、七八八	一九、四九八・二七三
三十九年度	二、五二五・五八二三	六、九三九、八三〇	二、七五九・一九五	二、三八・八八〇四	二、七五七、二五五	二二、二三・九六六
四十年度	二、〇七七・三六〇四	六、七五九、一五六	三、一四四八・八六四	三、二三五・八八〇七	四、六四二、一四九	三三、〇六・六六六
四十一年度	一、八〇四・二三二三	五、九五六、六二九	二、七四一・五三〇三	九三六・一五一九	四、六六四、六二八	二八、四三二・一四〇
四十二年度	二、〇七四・二八一五	八、二〇〇、七九九	二六、九二〇・〇八六	一、〇八六・一五〇〇	一、七九三、二五八	一〇、七七九・一二三
四十三年度	一、三五三・七四〇〇	四、二七五、〇四八	八、一二五・〇三八	一、〇三四・三三〇〇	二、一四二、三三八	九、九五五・八八九
四十四年度	五〇二・四二〇〇	一、六〇二、八八〇	七、三四七・一七四	六〇八・四二〇〇	一、〇四〇、一五五	六、八〇一・三〇五
大正元年度	一、四四六・三五〇〇	四、四九四、七〇一	三二、六九〇・八一二	三八四・〇〇〇〇	七二二、三一八	七、九二・六一八
二年度	一、一九九・七四〇〇	三、七九七、六一三	一七、九七七・一六二	一六八・二二〇〇	三三七、〇〇三	三、〇八八・三一七
三年度	一、一〇四・三三〇〇	三、七九三、四三五	一八、八九五・七七七	二三四・〇〇〇〇	二五七、二六三	一、〇八一・六七二
四年度	九八〇・三三〇〇	三、〇七四、八六八	一六、八〇九・一三六	三四〇・三四〇〇	六二、二八六	二六二・三五二
五年度	九三三・六〇〇	二、四九六、六四七	一九、三一七・七八三	二八・九四〇〇	二、三四四・一九七	二三、〇九一、四四四
計	二三、九四二・六五二七	七八、二四四、二六三	三七、一七六・〇〇七	一四、八三二・〇一〇九	一四七、一六〇・四二	八、七八八

同上（其ノ五）

年度	面積	數量	經費	面積	數量	經費
	町	本	円	町	本	円
三十六年度	一、四二五・四四二二	合 四、六三九、五六四六、九六〇	二一、〇三九・一〇〇	三一・一五一〇	五一、九七四	二六〇・八六二
三十七年度	八〇〇・七四一九	二、五二七、七〇〇	八、八二四・三九七	二二〇・五〇〇〇	四四六、〇八八	一、八九七・一四二
三十八年度	二二四・〇〇〇〇	六四二、〇〇〇	一、九二〇・〇四〇	七一・九四〇〇	四四、八〇〇	一、四五六・八四〇
三十九年度	三八六・四二二二	七四四、一三六	三、七三二・三〇八	三三五・九〇一〇	五六、一九二	三、六八六・一五〇
四十年度	四五〇・六三〇九	一、一三五、二三〇	六、一五七・一一七	九九・九〇〇〇	二八一、一三〇	二、八四七・一四〇
四十一年度	九三三・九六二五	二、一五六、六二四四	一七、八五四・九四七	一七二・〇〇〇〇	一六三、〇〇〇	一、九二一・八一七
四十二年度	九七八・四〇二四	二、八三五、六三六	二一、〇六二・八二二	一七三・〇〇〇〇	二〇八、〇〇〇	一、〇四四・〇六九
四十三年度	一、〇二九・一三〇〇	一、九三〇、八八〇	一九、五五四・一八三	六〇・三一〇〇	二二四、〇〇〇	一八五、九八〇
四十四年度	一、一七一・一五二〇〇	三、六四〇、八六〇	一八、八五〇・六七六	九四・七四〇〇	一〇四、三三〇	八五、九八〇
大正元年度	八七一・一五八〇〇	二、三五四、九一〇	一三、九三二・〇二〇	—	—	—
二年度	七四七・六一〇〇	一、六一六、九四〇	八、一五六・八八五	三八、三九〇	五三、三四〇	四六六・二〇〇
三年度	一、八七七・八〇〇〇	二、六九三、〇四〇	一三、五七七・一八二	一五三・二〇〇〇	一五八、六二〇	一、四五〇・一五七
四年度	七〇〇・〇〇〇〇	一、五五〇、四四〇	七、五三二・一二二	七七・九一〇〇	一〇〇、〇〇〇	六、九八一・七四〇
五年度	五六二・八四〇〇	一、〇一四、〇〇〇	一九二、七〇四・三三六	二、三三〇・四四〇	三、三六九、八五八	二三、五五三・七六四
計	一三、八三四・五三二二	三七、六九九、八〇〇	一九二、七〇四・三三六	二、三三〇・四四〇	三、三六九、八五八	二三、五五三・七六四

年度	面積	數量	經費	面積	數量	經費
	町	本	円	町	本	円
三十二年度	一〇五・五五二七	合 五、二五〇	二四三・四〇〇	五五二・七	一〇〇	三三・七〇〇

同上（其ノ六）

年度	面積	數量	經費	他	面積	數量	經費	計
三十三年度	二〇五・七五〇	合	二、四〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、四〇一、〇五〇
三十四年度	一三・〇〇〇	合	一、〇〇〇、〇〇〇	一四・三一〇	—	—	—	一、〇一四・三一〇
三十五年度	七〇・〇〇〇	合	七〇、〇〇〇	三〇四・七九三	—	—	—	三〇四・七九三
三十六年度	三三五・五九一	合	五五五、一一〇	二、一九四・五四六	—	—	—	二、一九四・五四六
三十七年度	七五・〇〇〇	合	二八〇、四四〇	八〇六・七二一	—	—	—	八〇六・七二一
三十八年度	三一・三三〇	合	九五、九八八	三三四・八〇二	—	—	—	三三四・八〇二
三十九年度	六〇・〇〇〇	合	二一、六〇〇	五一五・三一九	—	—	—	五一五・三一九
四十年度	二三一・七三一	本	八〇八、五〇〇	六、五三五・六〇八	—	—	—	六、五三五・六〇八
四十一年度	四五〇・一四〇	合	一、二九一、七四〇	八、八三三・四一八	九七・〇〇〇	四五六、五〇〇	一、四四九・一〇五	一、四四九・一〇五
四十二年度	五一四・九〇〇	合	一、五三六、六八七	四、八二一・〇一二	二五一・六〇〇	八二、〇〇〇	二、一八五・〇三二	二、一八五・〇三二
四十三年度	三三九・五九〇	本	一、〇〇三、一九六	三、四一四・四〇四	四三六・三〇〇	一、一二九、六八七	三、四一四・四〇四	三、四一四・四〇四
四十四年度	三三七・五三〇	本	七二九、一九〇	二、四四九・五七九	一九六・一九〇	四七七、一九〇	一、四一七・七七九	一、四一七・七七九
大正元年度	二二一・六六〇	本	三八五、八三五	一、四一七・七七五	一九五・九一〇〇	四四六、七八〇	一、三三二・六八〇	一、三三二・六八〇
二年度	二〇・六九〇	本	三八、七一〇	三〇六、七九〇	二一六・三四〇	二〇〇、〇〇〇	五一六、三四〇	五一六、三四〇
三年度	九三・二〇〇	本	八〇、三九〇	一、八七〇、六八〇	一四四・九六〇	一〇〇、〇〇〇	二、〇四〇、九六〇	二、〇四〇、九六〇
四年度	一七三・六〇〇	本	一二三、一五〇	二、三三一、一五〇	一、四一七・七七八	五四三、九一〇	二、四四〇、七一〇	二、四四〇、七一〇
五年度	一〇九・五四〇	本	七、三五九、八一六	二九、一二〇	三五六、三三七・四六二	一、三〇〇	二、五四三、六一七	二、五四三、六一七
計	三、一二二・一三一〇	合本	二、五四三、六一七	合本	二、五四三、六一七	合本	二、五四三、六一七	二、五四三、六一七

年度	面積	數量	經費	他	面積	數量	經費	計
三十二年度	一六二・七九三 町	一、〇六七、七六三 本	一、一二五、三九四・九九 円	六、七二一・三三五	三、一二七・九六一〇	一二五、三九四・九九 本	五四、八六六・一二三	五四、八六六・一二三
三十三年度	五三二・八四一六	二、六〇四、八四三	一七、七三一、四八九	一七、二四〇・二九二	三、六九八・七九三	一七、七三一、四八九	六九、八三六・二八六	六九、八三六・二八六
三十四年度	三二五・八二二五	六〇〇	六、一七一、一七一	七、二三五・六四四	六、一六七・八四三	六、一六七、一七一	二六、三九五・六一二	二六、三九五・六一二
三十五年度	一、〇四九・六六一六	七七一、一七一	三、九〇六、九五五	一、六三一・三九九	一一、八三七・九三八	三、九〇六、九五五	四七、七三九・五六六	四七、七三九・五六六
三十六年度	一、六四九・八〇一三	四、九八三、〇九五	一、六四九、八〇一三	三〇、四六〇・五〇五	一、六四九、四八〇・四七一四	四、九八三、〇九五	一、〇七一、八二五	一、〇七一、八二五
三十七年度	二、一五一・六九一六	八、一四〇、四六八	二、一五一、六九一六	三三、九四一・七八一	二、一八七・〇九一七	八、一四〇、四六八	八〇、一二〇、四四〇	八〇、一二〇、四四〇
三十八年度	四六六・一〇一二	二、〇〇九、八〇三	四六六・一〇一二	九、一四〇・〇四三	八、三五一・七一二五	二、〇〇九、八〇三	二四、三二一、四八〇	二四、三二一、四八〇
三十九年度	三、四九一・八五〇〇	九、八〇三、一三四	三、四九一・八五〇〇	四四、三七九・九五〇七	二〇、三五九・九五〇七	九、八〇三、一三四	五六、一六〇・七〇五	五六、一六〇・七〇五
四十年度	三、一八二・七四〇四	二、八五四、六二九	三、一八二・七四〇四	五八、〇九〇・〇三五	七七、七一七・六八三五	二、八五四、六二九	五六、八七四、一四〇六	五六、八七四、一四〇六
四十一年度	三、一四五・〇〇〇六	九、三四一、六八八	三、一四五・〇〇〇六	五六、三九〇・三三五	一六、四〇七・三四〇六	九、三四一、六八八	五〇、八〇九、一九二〇	五〇、八〇九、一九二〇
四十二年度	三、一八〇・二〇二四	一〇、二二二、四七五	三、一八〇・二〇二四	三七、一〇二・二〇八	一八、四〇二・九三七	一〇、二二二、四七五	五八、九五四、四九九	五八、九五四、四九九
四十三年度	三、三六七・〇四〇〇	二、三六三、三八六	三、三六七・〇四〇〇	三七、一二七・二四五	一九、二四八・二〇四〇	二、三六三、三八六	六五、六〇二、八八〇	六五、六〇二、八八〇
四十四年度	三、四二七・七三〇〇	二、一五五、六二五	三、四二七・七三〇〇	七、二三五・六四〇	一六、四九七・四二〇〇	二、一五五、六二五	五四、〇八一、一二三	五四、〇八一、一二三
大正元年度	四、六九四・一一〇〇	一六、四四六、九〇四	四、六九四・一一〇〇	一六、一九一・一三九	一一、八三七・九三八	一六、四四六、九〇四	二七、八九三・四二八	二七、八九三・四二八
二年度	六、一八〇・一三〇〇	二一、六七四、七七八	六、一八〇・一三〇〇	九八、一五四・〇五〇五	三〇、四六〇・五〇五	二一、六七四、七七八	一四、〇二一・〇一一	一四、〇二一・〇一一
三年度	八、四四五・〇五一〇	二七、〇八八、八八九	八、四四五・〇五一〇	一五一、九八二・八〇一	三三、一九四・二七八一	二七、〇八八、八八九	一四四、八二一・一二五	一四四、八二一・一二五
四年度	一〇、一四一・〇三〇〇	三〇、一二七、八〇三	一〇、一四一・〇三〇〇	一五三、七七一・一九五	九、一八〇・七四〇七	三〇、一二七、八〇三	一二五、一三三・八一四	一二五、一三三・八一四
五年度	八、一二八・九七〇〇	二三、九六六、〇九五	八、一二八・九七〇〇	一、一七〇	一四、六一七・一一〇〇	二三、九六六、〇九五	四三、〇三二、二四五	四三、〇三二、二四五

特別經營部各種造林事業年度別實行表

年度	種別	面積	人工	植栽費	一町歩當經費	經費計
計		六三、八三二・七五〇三	本 三二、〇五八、三三三 / 合 七、〇九八、七	一、〇五四、三六四・九三九	本 八八九、九〇六、七〇〇 / 合 五七、一六一、七	四、二六、三五八・五七一
三十二年度	新植	三、二二七・九六一〇	二一・四〇〇七	五四、八九七・六四七 円	一七・五六八	五四、八九七・六四七 円
	補植	二、一二七・〇〇〇七	—	七・五二五	六・二五三	
三十三年度	新植	三、六九八・七九二三	八、五五四・四八八	六九、八七二・八六六	一八・八九一	八八、五三四・四八八
	補植	一、八五五・四三二一	二、二四七・八〇一八	一〇、四一六・八九一	四・四一二	
三十四年度	新植	六、一六七・八四二三	一七、一三三・七三二	二〇、五九〇・三四三	一〇・五九〇	一七、一三三・七三二
	補植	四、四三八・三三三八	二、二七四・三四二二	一九、二七四・三四二二	四・四〇一	
三十五年度	新植	二、八五七・九二二八	一六・八八一	二〇〇、一七三・〇一四	一六・八八一	二〇〇、一七三・〇一四
	補植	一、八二二・四四三二	四七・〇五二	一一、四五二・〇五一	四・二六八	
三十六年度	新植	一六、四八〇・四七一四	二七・八八二	二六八、九二六・九二一	一七・四九一	二六八、九二六・九二一
	補植	一一、七五九・一一九	二三、二九三・六三六	四四、二七九・八七八	三・七四〇	
三十七年度	新植	一八、七六一・〇九七	一四、九六五・四五三	二五八、七一四・〇九六	二・四三二	二五八、七一四・〇九六
	補植	三九、七四二・八三六	八、三五一・七二二五	九八、八五五・四七九	一・一八三	
三十八年度	新植	二〇、三五九・九五〇七	一四、〇五五・四二八五	三一、〇五八・〇四二	一・七二一	三一、〇五八・〇四二
	補植	一五、〇〇五・六八〇三	四一、六八一・〇〇一八	二四、〇二一・四八四	一・七二一	
三十九年度	新植	三一、〇五八・三三三	七、〇九八・七	一、〇五四、三六四・九三九	本 八八九、九〇六、七〇〇 / 合 五七、一六一、七	四、二六、三五八・五七一
	補植	二、二七・九六一〇	二・四〇〇七	五四、八九七・六四七 円	一七・五六八	五四、八九七・六四七 円
四十年度	新植	三、六九八・七九二三	八、五五四・四八八	六九、八七二・八六六	一八・八九一	八八、五三四・四八八
	補植	一、八五五・四三二一	二、二四七・八〇一八	一〇、四一六・八九一	四・四一二	
四十一年度	新植	六、一六七・八四二三	一七、一三三・七三二	二〇、五九〇・三四三	一〇・五九〇	一七、一三三・七三二
	補植	四、四三八・三三三八	二、二七四・三四二二	一九、二七四・三四二二	四・四〇一	
四十二年度	新植	二、八五七・九二二八	一六・八八一	二〇〇、一七三・〇一四	一六・八八一	二〇〇、一七三・〇一四
	補植	一、八二二・四四三二	四七・〇五二	一一、四五二・〇五一	四・二六八	
四十三年度	新植	一六、四八〇・四七一四	二七・八八二	二六八、九二六・九二一	一七・四九一	二六八、九二六・九二一
	補植	一一、七五九・一一九	二三、二九三・六三六	四四、二七九・八七八	三・七四〇	
四十四年度	新植	一八、七六一・〇九七	一四、九六五・四五三	二五八、七一四・〇九六	二・四三二	二五八、七一四・〇九六
	補植	三九、七四二・八三六	八、三五一・七二二五	九八、八五五・四七九	一・一八三	
四十五年度	新植	二〇、三五九・九五〇七	一四、〇五五・四二八五	三一、〇五八・〇四二	一・七二一	三一、〇五八・〇四二
	補植	一五、〇〇五・六八〇三	四一、六八一・〇〇一八	二四、〇二一・四八四	一・七二一	
大正元年度	新植	三一、〇五八・三三三	七、〇九八・七	一、〇五四、三六四・九三九	本 八八九、九〇六、七〇〇 / 合 五七、一六一、七	四、二六、三五八・五七一
	補植	二、二七・九六一〇	二・四〇〇七	五四、八九七・六四七 円	一七・五六八	五四、八九七・六四七 円
二年度	新植	三、六九八・七九二三	八、五五四・四八八	六九、八七二・八六六	一八・八九一	八八、五三四・四八八
	補植	一、八五五・四三二一	二、二四七・八〇一八	一〇、四一六・八九一	四・四一二	
三年度	新植	六、一六七・八四二三	一七、一三三・七三二	二〇、五九〇・三四三	一〇・五九〇	一七、一三三・七三二
	補植	四、四三八・三三三八	二、二七四・三四二二	一九、二七四・三四二二	四・四〇一	
四年度	新植	二、八五七・九二二八	一六・八八一	二〇〇、一七三・〇一四	一六・八八一	二〇〇、一七三・〇一四
	補植	一、八二二・四四三二	四七・〇五二	一一、四五二・〇五一	四・二六八	
五年度	新植	一六、四八〇・四七一四	二七・八八二	二六八、九二六・九二一	一七・四九一	二六八、九二六・九二一
	補植	一一、七五九・一一九	二三、二九三・六三六	四四、二七九・八七八	三・七四〇	
	新植	一八、七六一・〇九七	一四、九六五・四五三	二五八、七一四・〇九六	二・四三二	二五八、七一四・〇九六
	補植	三九、七四二・八三六	八、三五一・七二二五	九八、八五五・四七九	一・一八三	
	新植	二〇、三五九・九五〇七	一四、〇五五・四二八五	三一、〇五八・〇四二	一・七二一	三一、〇五八・〇四二
	補植	一五、〇〇五・六八〇三	四一、六八一・〇〇一八	二四、〇二一・四八四	一・七二一	

| | | |

年度	天然生育 面積	天然生育 經費	天然生育 一町歩當經費	計 新補植	計 面積	計 經費	計 一町歩當經費
三十二年度	二一一・九六一町	九九二・七五〇円	四・六八四円	二六一・一七三・〇三〇五	四、一六一・三八八・五七二	一五・七三五五	二六・一八七・九一三・九九一三
三十三年度	一七一・〇六二〇	五七三・〇五〇	三・三五〇	三五〇・四八五・三二三	三、一〇八・七八一・七六六	二・二四六	七・一七六
三十四年度	二、五三五・三一二三	一三、一二六・七三五	五・一七八	一〇二・四七六・三二一〇	九四三・九四三・二三四	二・八七三	
三十五年度	九五一・二三一三	一一、〇一九・四〇七	一一・五八四				
三十六年度	一、五六八・八二一九	一二、七八一・二二六	八・一四七				
三十七年度	三、四三八・八五二〇	一一、六七八・五一九	三・三九六				
三十八年度	五三五・二九〇二	五、一七三・四〇六	九・六六四				
三十九年度	一、五六七・八九〇六	一二、一九五・五九二	七・七七八				
四十年度	一、六四七・二〇〇六	一一、三一五・〇一四	六・八六九				
四十一年度	一、三二〇・四五〇七	一七、〇四二・三九七	一二・九〇六				
四十二年度	一、二八四・七〇〇六	一〇・六八九・三五四	八・三二〇				
四十三年度	一、八五三・四二〇〇	一二、〇五八・二五〇	六・五〇五				
四十四年度	一、六一八・五三〇〇	一〇、〇三一・六六〇	六・一九八				
大正元年度	一、一二九・八二〇〇	一二、一二三・四八〇	一〇・八二九				
二年度	九〇九・五三〇〇	一二、三〇〇・三八二					
三年度	一、二〇七・八八〇〇	一二、三六八・五一三					
四年度	一、七二二・一六〇〇	一一、六二九・一六〇	六・七五二				
五年度	二、五一〇・八五〇〇	一〇、七〇六・〇五〇	四・二六三				

年度	種別 新補植	砂防植栽 面積	砂防植栽 經費	砂防植栽 一町歩當經費	計 面積	計 經費	計 一町歩當經費
三十二年度	新補植	一五二・二六〇八町	三一、八〇三・九八三円	一四九・七六七円	二六、一八四・九九一三	一八七、九一五・九四五	七・一七六
三十三年度	新補植	四・七五〇〇	一五八〇	三・五〇八			
三十四年度	新補植	一七六・七六・三	三八、一三五八・三七七	三一・六・四三八			
三十五年度	新補植	六一・五一・六	二六四・一三五	四・六・六一九			
三十六年度	新補植	三九・七〇二四	六七七・三三〇	一七・三二〇			
三十七年度	新補植	二九・八〇二一	七〇、三〇三・八五〇				
三十八年度	新補植	二四・五五・八四	一、六〇九・六六六				
三十九年度	新補植	一一・七五二七	八〇五・五六三				
四十年度	新補植	四二・四〇〇七	八、一二三八・一八一				
四十一年度	新補植	三二・五五〇六	一、〇〇八九・一五四				
四十二年度	新補植	二九・一三二	一七九・四九四				
四十三年度	新補植	四二・三八二	二二、九八一・七三二				
四十四年度	新補植	四〇八・五三二	二一、〇九九・四五四				
大正元年度	新補植	四九・二三〇九	二二、九二一・七五六				
二年度	新補植	四二・四二七	一一、〇七七・九九一				
三年度	新補植	五五二・一〇〇二五	一、六七一・四一六				
四年度	新補植	四八五・一八一四	一、六六二・三七九				
五年度	新補植	四〇六・六〇六	一、〇〇四・一九九				
三十二年度	手補植	一五二・二六〇八	三一、八〇三・九八三	一四九・七六七	二六、一八四・九九一三	一八七、九一五・九四五	七・一七六
三十三年度	手補植	四・七五〇〇	一五〇〇	三・五〇八			
三十四年度	手補植	一七六・七六・三	三八、一三五八・三七七	三一・六・四三八			
三十五年度	手補植	六一・五一・六	二六四・一三五	四・六・六一九			
三十六年度	手補植	三九・七〇二四	六七七・三三〇	一七・三二〇			
三十七年度	手補植	二九・八〇二一	七〇、三〇三・八五〇				
三十八年度	手補植	二四・五五・八四	一、六〇九・六六六				
三十九年度	手補植	一一・七五二七	八〇五・五六三				
四十年度	手補植	四二・四〇〇七	八、一二三八・一八一				
四十一年度	手補植	三二・五五〇六	一、〇〇八九・一五四				
四十二年度	手補植	二九・一三二	一七九・四九四				
四十三年度	手補植	四二・四二七	二二、九八一・七三二				
四十四年度	手補植	四〇八・五三二	二一、〇九九・四五四				
大正元年度	手補植	四九・二三〇九	二二、九二一・七五六				
二年度	手補植	四二・四二七	一一、〇七七・九九一				
三年度	手補植	五五二・一〇〇二五	一、六七一・四一六				
四年度	手補植	四八五・一八一四	一、六六二・三七九				
五年度	手補植	四〇六・六〇六	一、〇〇四・一九九				

年度	種別	面積	種苗	一町歩當經費	養成苗木經費	圖
三十二年度	播種	一六・〇〇〇町 三一・五二二	合本 一、三七二・三三一 七、四九七・四八〇	一、七四四・九九三 三九〇・二二〇	二四四、〇〇〇本	四〇、五四一・二〇〇円
三十三年度	播種	八・〇二二〇 一三・六六二三	五五、九二一・九六四	二、二二四・〇四五	二二四、六八七・二二六	七四、三六六・四六三
三十四年度	播種	三三・〇九〇一 二九・一八〇六	一〇一、七八〇・一〇六	一、三四三・六三三	一〇、一五二、六三七	二三三、四九四・一九
三十五年度	播種	四三・四九二七 三八・九九〇八	四四・三三三・五一七	一、一三三・九〇〇 二五八・七二一	三三、四八三・四九	一四九、四六五・八五六
三十六年度	播種	三四・九九二三 五二・五六〇〇	二五一・八〇一・二二一	八四一・四八一 二九七・七一二	二八、〇四一・一六〇	一八四、一三六・四五〇
三十七年度	播種	一七・七八二七 四三五・八五一〇	一八四、九八二・九一六	一六〇三・〇五一 一〇三・一四〇・七五	一〇、一五一、六三七	一三三、四九四・二一
三十八年度	播種	一五・七八〇九 二四六・四四三三	一〇八、〇二三・七九五	九五一・五二一	五九、九二一・九六四	一六四、五四一・一四〇
三十九年度	播種	一八・四二一三 三〇七・三八一九	一〇一、七八〇・一〇六	四四三・四五一	四四、三三三・五一七	一四九、四六五・八五六
四十年度	播種	三五・八七〇〇 二四八・一二〇六	四四・三三三・五一七	一、一三三・九〇〇 二五八・七二一	一〇、一五二、六三七	二三三、四九四・二一
四十一年度	播種	四一・六五一一 三〇四・四五一四	一八四、九八二・九一六	八四三・四八一 二九七・七一二	二八、〇四一・一六〇	一四九、四六五・八五六
四十二年度	播種	三三・四三三四 三七八・三二一六	一〇一、七八〇・一〇六	三三三・九〇〇 二五八・七二一	一〇、一五二、六三七	二三三、四九四・二一
四十三年度	播種	二六・六八〇三 三二九・二二〇〇	二五一・八〇一・二二一	一、一三三・九〇〇 二五八・七二一	一〇、一五二、六三七	二三三、四九四・二一

年度	種別	面積	種苗	一町歩當經費	養成苗木經費	圖
計	新植 手補植	八八・八九二三 五五・八一〇〇 二九・四〇〇〇	一一・六五一四 四四・六八二六 二三八・四〇〇一	八一・一九〇〇 二五三・〇八〇〇 二五八・四〇〇〇	二二五・九〇〇〇 二六八・九〇〇〇	二三・八四二一 六・〇八八 一八・九六三
五年度	新植 手補植	四四五・一〇七九 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	六・九八〇 三二七・三〇三 二・五九〇・七六四
四年度	新植 手補植	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	六・九八〇 三二七・三〇三 二・五九〇・七六四
三年度	新植 手補植	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	四四五・一〇〇一 二四一・八七〇〇 四三四・六〇〇一	六・九八〇 三二七・三〇三 二・五九〇・七六四
二年度	新植 手補植	三三五・九八〇八 七一五・八三一三 二五一・四九〇〇	三五七・一三〇一 四四三・一五五五 三八九・九八〇〇	四四五・五八〇〇 三五〇・一六〇〇 三八七・九五〇〇	四四五・五八〇〇 三五〇・一六〇〇 三八七・九五〇〇	九八・〇二〇 二・一八四・一六四 二・五二〇・一四七
大正元年度	新植 手補植	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	九八・〇二〇 二・一八四・一六四 二・五二〇・一四七
四十四年度	新植 手補植	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	九八・〇二〇 二・一八四・一六四 二・五二〇・一四七
四十三年度	新植 手補植	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	九八・〇二〇 二・一八四・一六四 二・五二〇・一四七
四十二年度	新植 手補植	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	四四五・一〇〇一 二七四・一四四 二五二・八四〇〇	九八・〇二〇 二・一八四・一六四 二・五二〇・一四七
四十一年度	新植 手補植	八八・八九二三 五五・八一〇〇 二九・四〇〇〇	一一・六五一四 四四・六八二六 二三八・四〇〇一	八一・一九〇〇 二五三・〇八〇〇 二五八・四〇〇〇	二二五・九〇〇〇 二六八・九〇〇〇	二三・八四二一 六・〇八八 一八・九六三

年度	種別	面積	一町歩當經費	經費計
四十四年度	床播	六二一・〇〇一八	二七町	一八一・三九九・〇一二
	替種	三四三・二七三五	二〇〇・〇〇〇	一七四・三三五・〇一二
大正元年度	床播	三五六・三一〇	三五五・九五八	一四八・五二八・六四四
	替種	三二七・三六一・八	二〇〇・〇〇〇	五六・一七九・三〇〇
二年度	床播	二八・〇五一四	三五五・九五八	一四八・六三五・七五五
	替種	二九七・二六一・一	二〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
三年度	床播	五七・五〇一七	三五五・九五八	一八七・五四四・八三八
	替種	三四一・四三一・三	二〇〇・〇〇〇	五七・八〇三・三五二
四年度	床播	三五九・〇九〇一	三五五・九五八	一四七・三三二・〇一四
	替種	三三八・八一〇一	二〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
五年度	床播	四〇・二三〇一	三五五・九五八	一四八・五二八・六四四
	替種	三三三・五八二七	二〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
計	床播	六二一・〇〇一八	二七町	一八一・三九九・〇一二
	替種	三四三・二七三五	二〇〇・〇〇〇	一七四・三三二・〇一二
合計	本貫	五、九九六・八三八・四	二九、九九八・六八三	一、八一三・三九九・〇一二
		二、〇〇九・六九一・二八三	二、〇〇〇・〇〇〇	一、七四三・三三二・〇一二
三十二年度	臨時	二九、九九八・六八三	一九五・九六三	五、八四四・三三二
	固定	六、七〇二	二、六八四・三五一	一、四〇〇・七六一
	修新	一八七・七一四	七、九四〇・二一四	一四八・五二八・六四四
	繕設	一〇〇・〇〇〇・七四	七・五〇〇・六	五六・一七九・三〇〇
三十三年度	臨時	八・八〇〇・〇五一	六・八四〇・〇四〇	一四八・六三二・七五五
	固定	二四・一九七・七	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	八・八二七	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二〇七・二一六	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
三十四年度	臨時	二〇・五六六・八六三	八・八四〇・〇四〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二四・一九七・九四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	二・八・二四四	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二四・五八一	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
三十五年度	臨時	四七・四二一・四	二・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二・九八・二四四	一・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	一八・九二八	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二四・七二一・八	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
三十六年度	臨時	二九・八八六・二五八	一・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	一・〇〇〇・〇四四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	九・六五二・八三	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二九・八四五・八五五	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
三十七年度	臨時	一一・六九五	七・八八四	一四七・三三二・〇一四
	固定	七・八八四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	二四二・九七七	二・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	八・八二七	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
三十八年度	臨時	二〇七・二一六	二・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二五・一二五	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	八・六六〇	二・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二九・八八六・二五八	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
三十九年度	臨時	二〇・五六六・八六三	八・八四〇・〇四〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二四・一九七・九四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	二・八・二四四	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二四・五八一	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
四十年度	臨時	四七・四二一・四	二・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二・九八・二四四	一・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	一八・九二八	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二四・七二一・八	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
四十一年度	臨時	二九・八八六・二五八	一・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	一・〇〇〇・〇四四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	九・六五二・八三	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二九・八四五・八五五	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
四十二年度	臨時	一一・六九五	七・八八四	一四七・三三二・〇一四
	固定	七・八八四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	二四二・九七七	二・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	八・八二七	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
四十三年度	臨時	二〇七・二一六	二・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二五・一二五	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	八・六六〇	二・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二九・八八六・二五八	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
四十四年度	臨時	二〇・五六六・八六三	八・八四〇・〇四〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二四・一九七・九四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	二・八・二四四	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二四・五八一	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
大正元年度	臨時	四七・四二一・四	二・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	二・九八・二四四	一・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	一八・九二八	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二四・七二一・八	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八
二年度	臨時	二九・八八六・二五八	一・〇〇〇・〇〇〇	一四七・三三二・〇一四
	固定	一・〇〇〇・〇四四	二・〇〇〇・〇〇〇	四四・六三二・七五五
	修新	九・六五二・八三	一・〇〇〇・〇〇〇	五一・四〇〇・七六一
	繕設	二九・八四五・八五五	二・〇〇〇・〇〇〇	一八七・五四四・八三八

年度	種別	面積	一町歩當經費	經費計	造林處理費	造林事業費合計
四十年度	倒蔓枝間伐	木	円	円	円	円
四十年度	倒蔓枝間伐	木	二七八・三〇〇〇	一四三五・三五〇		
四十一年度	倒蔓枝間伐	木	九九・四〇八	二三三・〇八〇		
四十二年度	倒蔓枝間伐	木	一九三・四四〇	一三三・九五〇		
四十三年度	倒蔓枝間伐	木	二・五三六・〇五〇〇	一・四四〇・一五〇	二・三四四	三・八二〇
計	倒蔓枝間伐	木	二・三二一・四四〇〇	一・〇〇〇・一五〇	〇・六九二	〇・四四〇
三年度	固定臨時	新修	五、六六一・八八一・三三	三〇〇・六六一・八	一・七七八・一四〇・九五〇・五	一・七七八・一四〇・九五〇・五
四年度	固定臨時	新修	一、〇〇一・九四〇・九九九・八	二六六・四三二・一	一、〇八一・九三〇・六五、二七三・四〇一・四	一、〇八一・九三〇・六五、二七三・四〇一・四
五年度	固定臨時	新修	一、〇〇一・七七六・九九八・一四五・〇九九・一六三	一三五・〇六一・七五、六六〇・九七三・八八一・八	一、〇四〇・九九〇・四一一六、二二九・六八一・一五三・八五三・〇〇一・八	一、〇四〇・九九〇・四一一六、二二九・六八一・一五三・八五三・〇〇一・八
計	固定臨時	新修	一八八、一四九・七七〇	三〇〇・六六一・八八、六六一・八八一・三三	四二、一四三・九七〇一四、一四〇・九・三一一三、九四三・六六九	四二、一四三・九七〇一四、一四〇・九・三一一三、九四三・六六九
三年度	固定臨時	新修	一四〇・一六八一七・七六八二三・三二一	一五一・三四五一五・一四四六二四・九三五	二〇一・五七六・六三〇一五・七七七・九九八一四五・〇九九・一六三	二〇一・五七六・六三〇一五・七七七・九九八一四五・〇九九・一六三
四年度	固定臨時	新修	一八一・一四三五・八九〇	一四三・七四四一五・九七七二七・五一七	一四三・三一九・〇〇〇一七・三〇一・五三五一四五・一〇七・一四五	一四三・三一九・〇〇〇一七・三〇一・五三五一四五・一〇七・一四五
五年度	固定臨時	新修	一七六・七一八・五六〇	二三五・二七五一五・八四〇二七・五一七	二三五・五二二・〇五五九八六・五六六・六五三九八・九八〇・三一九	二三五・五二二・〇五五九八六・五六六・六五三九八・九八〇・三一九
計	固定臨時	新修	一、二〇〇・九八九・〇二七	一六・〇九九二六・〇九九	一四〇・一六八一七・七六八二三・三二一	一四〇・一六八一七・七六八二三・三二一

年度	種別	面積	一町歩當經費	經費計	造林處理費	造林事業費合計
四十三年度	倒蔓枝間伐	木	円	円	円	円
四十年度	倒蔓枝間伐	木	二七八・三〇〇〇	一四三五・三五〇		
四十一年度	倒蔓枝間伐	木	九九・四〇八	二三三・〇八〇		
四十二年度	倒蔓枝間伐	木	一九三・四四〇	一三三・九五〇		
四十三年度	倒蔓枝間伐	木	二・五三六・〇五〇〇	一・四四〇・一五〇	二・三四四	三・八二〇
計	倒蔓枝間伐	木	二・三二一・四四〇〇	一・〇〇〇・一五〇	〇・六九二	〇・四四〇
三年度	固定臨時	新修	五、六六一・八八一・三三	三〇〇・六六一・八	一・七七八・一四〇・九五〇・五	一・七七八・一四〇・九五〇・五
四年度	固定臨時	新修	一、〇〇一・九四〇・九九九・八五、八八一・九七三	二六六・四三二・一	一、〇八一・九三〇・六五、二七三・四〇一・四	一、〇八一・九三〇・六五、二七三・四〇一・四
五年度	固定臨時	新修	一、〇〇一・七七六・九九八・一四五・〇九九・一六三	一三五・〇六一・七五、六六〇・九七三・八八一・八	一、〇四〇・九九〇・四一一六、二二九・六八一・一五三・八五三・〇〇一・八	一、〇四〇・九九〇・四一一六、二二九・六八一・一五三・八五三・〇〇一・八
計	固定臨時	新修	一八八、一四九・七七〇	三〇〇・六六一・八八、六六一・八八一・三三	四二、一四三・九七〇一四、一四〇・九・三一一三、九四三・六六九	四二、一四三・九七〇一四、一四〇・九・三一一三、九四三・六六九
三年度	固定臨時	新修	一四〇・一六八一七・七六八二三・三二一	一五一・三四五一五・一四四六二四・九三五	二〇一・五七六・六三〇一五・七七七・九九八一四五・〇九九・一六三	二〇一・五七六・六三〇一五・七七七・九九八一四五・〇九九・一六三
四年度	固定臨時	新修	一八一・一四三五・八九〇	一四三・七四四一五・九七七二七・五一七	一四三・三一九・〇〇〇一七・三〇一・五三五一四五・一〇七・一四五	一四三・三一九・〇〇〇一七・三〇一・五三五一四五・一〇七・一四五
五年度	固定臨時	新修	一七六・七一八・五六〇	二三五・二七五一五・八四〇二七・五一七	二三五・五二二・〇五五九八六・五六六・六五三九八・九八〇・三一九	二三五・五二二・〇五五九八六・五六六・六五三九八・九八〇・三一九
計	固定臨時	新修	一、二〇〇・九八九・〇二七	一六・〇九九二六・〇九九	一四〇・一六八一七・七六八二三・三二一	一四〇・一六八一七・七六八二三・三二一

年度	造林處理費	造林事業費合計
三十二年度	八、四五八・一一五円	一三五、八四二・三七八円

三十三年度	一五、八三二・一一〇	二七八、八五七・六九〇	
三十四年度	三三、五三九・八七八	四二七、九六八・三一二	
三十五年度	五〇、九六三・七九三	五七一、七四五・一一七	
三十六年度	五七、一二八・六四九	七八一、三三九・三〇六	
三十七年度	五八、二四一・三五五	七一四、一〇七・二一〇	
三十八年度	三四、五一一・六六六	三七一、三四五・八六五	
三十九年度	六〇、〇四五・三五〇	六八六、〇三三・四七三	
四十年度	七八、七五九・二六五	八三九、九八一・三二一	
四十一年度	一〇四、一四〇・〇〇〇	九〇四、〇五八・八三〇	
四十二年度	一一五、三九五・六四〇	九一六、一四五・六四四	
四十三年度	七九、三三四・四八〇	一、〇五六、一八〇・八六〇	
四十四年度	八九、五八〇・〇七〇	九八〇、九二六・〇四〇	
大正元年度	一六一、三〇五・八一〇	一、〇四六、三八二・七九〇	
二年度	一一八、八五九・〇三一	一、一七五、九五九・九九一	
三年度	一四二、七一三・八二〇	一、二一五、六四七・三三九	
四年度	一六九、七二五・二三五	一、三〇三、八九〇・五八五	
五年度	一八四、一六二・二九五	一、二六九、〇九六・六〇五	
計	一、五六二、六九六・五六二	一四、六七五、五〇九・三五六	

第七節　森林土木事業

一　林道及河川

藩制時代ニ在リテハ林制上種々ナル制限アリシヲ以テ多量ノ伐採ヲ爲シ能ハサリシト木材搬出ニハ多クノ場合河川ヲ利用セシトニ依リ集材ノ爲ニ一時的ノ林道若クハ河川ニ設備ヲ爲シタルモノアリシモ長期ニ亘リテ使用スルノ目的ニ依リ林道ヲ開鑿シ或ハ河川ヲ修理シタルモノ極メテ稀ナリ

舊時各地ニ於ケル木材運搬ノ方法ヲ見ルニ河川ヲ利用スル場合ニ於テハ管流又ハ筏流ヲ爲シ或ハ船舟ニ依リ陸路ニ於テハ負荷、地曳、猫車、牛馬又ハ車輛等ヲ用ヒ其ノ他東北地方ニ於テハ積雪ノ際橇ヲ使用シ管流ニ方リテ鐵砲堰ヲ築設セリ又木曾地方ニテハ野良叉手及丹波叉手ヲ築設シ小谷狩ニ方リ堰、修羅及留ヲ設ケ（帝室林野管理局編纂木曾運材法參照）吉野地方ニテハ山出シニ修羅ヲ設ケ（吉野運材法參照）土佐地方ニテハ臨時的路面ヲ設ケテ木馬ヲ用ヒ飫肥地方ニ於ケル辨甲材搬出ニ際シ修羅ヲ用ヒタルカ如キ特種ノ運材法ニ依リタルモノアルモ皆是レ現存セル河川及交通道路ノ外單ニ運材作業ノ一部トシテ臨時ノ施設ヲ爲シタルニ過キスシテ恒久的林道又ハ河川事業ト認ムヘキモノナカリキ

維新後ニ至リ林制一時弛廢シ到ル處ニ多量ノ伐採行ハレ木材運搬ノ爲交通ヲ兼ネテ道路ヲ築設シタルモノナキニアラサルモ特ニ林道トシテ築設シタルモノ殆ト稀ナリ爾後林政ノ確立スルニ及ヒ漸次合理的ノ施業行ハレ從テ河川ヲ利用シ難キ地方ニ於テ伐採ヲ行ヒ且連年多額ノ搬出ヲ爲スニ至リ始メテ林道築設或ハ河川疏通ノ必要ヲ感スルニ至レリ

民林ニ於テハ吉野川大瀧ノ岩石ヲ破碎セルヲ始メ各地ニ於テ河川ノ疏通ヲ圖リタルモノアルモ未タ林道事業ノ發達ヲ見サリシカ明治三十四五年ノ頃ヨリ御料林及國有林ニ於ケル土木事業ノ發展ニ伴ヒ各地ニ於テ林道ヲ築設シ木材輸送ヲ企テタリ卽チ足尾根利間ノ鐵索、尾鷲民有林内ノ軌道及北海道苫小牧、富士製紙會社原料搬出用軌道ノ如キハ何レモ當時ニ於ケル最進歩セル運搬方法ナリキ

國有林ニ於テハ林區制度ノ實施以來各署ニ於テ林道築設又河川疏通ノ必要ヲ認メタレトモ經費ノ出所ナク僅

ニ造林費ノ一部ヲ割キテ施行シ得タルニ過キサルヲ以テ工事ノ程度低ク且箇所數モ極メテ僅少ナリキ然レトモ其ノ實地ニ就キ之ヲ見ルトキハ苦心ノ跡顯然タルモノアリ彼ノ高知縣馬路ヨリ地藏峠ヲ經テ魚簗瀬ニ至ル牛馬道、三重縣深山林道、愛媛縣小田深山面河兩林道ノ如キ卽チ此ノ時代ノ經營ニ依レリ明治三十二年特別經營事業開始ニ方リ三十六年度迄ノ期間ニ於テ造林第二部事業トシテ搬路開通百里其ノ經費一、〇八一、一二九圓河川疏通三萬二千坪其ノ經費一九四、四〇〇圓ヲ豫定シ三十二年度ニ於テハ調査ノ爲未タ工事ニ著手スルニ至ラサリシモ三十三、四兩年度ニ於テ左記ノ施設ヲ了スルヲ得タリ

栃木縣足尾ヨリ詳馬縣追貝ニ到ル林道
高知縣魚簗瀬ヨリ奈半利ニ到ル路線ノ一部
岐阜縣宮林道
奈良縣菩提山林道
岡山縣加茂山林道
熊本縣内大臣林道
青森縣磯松林道
六十里越林道（山形縣ト協同施行）
秋田縣尻合澤林道
宮崎縣小丸川河川疏通

當時各大林區署ニハ林野整理局支局ヲ併置シ各支局ニ於テ造林技手定員中ヨリ土木事業ニ多少ノ經驗ヲ有スルモノヲ擧用シテ工事ヲ擔任セシメタルニ過ギサリシカハ實行ノ成績頗ル不良ニシテ竣工後豫期ノ如ク利用セラレタルモノ殆ント皆無ナルカ如キ狀況ナリキ

次テ土木專門技師採用ノ說起リ三十四年六月之ヲ實現セラルルニ至レリ爾後森林土木事業ニ關スル技術竝事務ニ付一定ノ準繩ヲ設クルノ必要ヲ認メ三十五年十月終ニ林道工及河川工ニ關スル取扱手續ヲ定メテ各署ニ通牒スルコトトナレリ

林道工河川工取扱ニ關スル手續（明治三十五年十二月林發第一八四三號通牒）

第一條　林道工及河川工ヲ起工セントスルトキハ豫察調書ヲ添ヘ設計費用ニ對スル事業豫定案ヲ進達シ認可ヲ受クヘシ豫察調書ニハ左記各項ヲ記載スヘシ

（一）利用區域内ニ於ケル林地ノ見込面積及材積年伐量ノ概略並ニ樹種
（二）市場需用地又ハ貯木場土場等ノ木材集合地及運輸機關トノ聯絡關係
（三）從來ノ運輸方法竝ニ新設搬路選定ノ理由
（四）新設搬路ノ種類、延長、幅員、工事ノ難易及工費ノ概略
（五）損益計算ノ概略
（六）新設搬路ノ關係ヲ察知シ得ヘキ概略ノ位置圖
（七）其他必要ナル事項

第二條　前條ノ事業豫定案ハ前ヘ年度十二月末日迄ニ進達スヘシ但數年度ニ渉リテ施工見込ノモノハ全般ニ關スル豫察調書ヲ作リ尙之ヲ年度別ニ區分スヘシ

第三條　第一條ニヨリ認可ヲ受ケタルトキハ設計書ヲ調製スヘシ設計書ハ左ノ圖書ヨリ成ル

（一）計畫說明書（二）設計圖（三）工事仕樣書（四）工事方法書（五）事業費豫定書

第四條　前條ノ各圖書ハ左記ノ要項ニヨリ之ヲ調製スヘシ

（一）計畫說明書ニハ工事全般ニ關シ左記事項ヲ記載スルモノトス

但一年度内ニ全設計ヲ完了スルモノハ(ヌ)號ノ調書ヲ省略シ數年度ニ渉リ施行スルモノハ(ヌ)號ノ事項ヲ年度別ニ調査スヘシ

(イ) 利用區域内ニ於ケル林地ノ見込面積及材積年伐量並ニ樹種

(ロ) 分水嶺谷筋竝ニ線路及其附近ニ於ケル區劃線其他管理及保護ニ關スル設備トノ關係ヲ記入シタル見取圖

(ハ) 各樹種造材法ノ概略

(ニ) 搬路ノ種類ニヨリ區別シタル延長、幅員、平均勾配、最急勾配、最急屈曲及相互ノ位置

(ホ) 特別ノ裝置ヲ要スルトキハ其數大小及概略ノ構造特別ノ裝置トハ固定ノ鐵鎖、櫓、修羅、木場、留場、綱場及鐵砲堰等ニシテ聯絡ニ要スル工事ヲ云フ

(ヘ) 路線カ國有林野以外ノ土地ニ關係アルトキハ其ノ處理ノ方法

(ト) 竣功後ニ於ケル搬路處理ノ方法

(チ) 基石、土質、傾斜及立木ノ有無ニヨリ搬路開通ノ爲林地保護上ニ及ホス影響

(リ) 第十二條ノ標準ニ從ハサル設計ヲナシタルトキハ其ノ詳細ナル理由

(ヌ) 岩石土砂歩合別土工費(間當リ平均坪數ヨリ計算ス)橋梁費(總延長ヨリ計算ス)及各種構造物竝ニ裝置ノ工費ニ對スル事業概定費

(ル) 運搬費節減額山元材價騰貴額、新設費總額ニ對スル年利(利率ハ當分五朱トス)及搬路修繕ニ關スル年額費用(事業豫定額ノ百分ノ五トス)等ニヨリ計算シタル損益計算

但シ新設費總額トハ一年度内ニ設計完了ノ者ハ設計費、事業費豫定額、用地費及監督費(俸給、旅費、廳費等ノ爲他種目合計額ノ百分ノ二ヲ以テ之ニ充ツ)ノ和ヲ云ヒ數年度ニ渉ル者ハ以上各種目ノ概算總額ヲ云フ

(二) 設計圖ハ林道工ニ於テハ左記ノ諸圖ヨリ成リ河川工ニ於テハ之ニ準シタル諸圖ヨリ成ル

(イ) 實測平面圖

實測平面圖ハ縮尺二千分ノ一ヲ用ヒ路線ハ赤線ヲ以テ表シ各杭點及其ノ符號橋梁其他特種構造ノ位置、路線兩側及起終兩點附近ニ於ル地名、官民有地境界及河川道路人家等ノ見取位置及地形ヲ記入ス

(ロ) 實測縱斷面圖

實測縱斷面圖ハ縮尺横二千分ノ一縱二百分ノ一ヲ用ヒ計畫線(赤)、地盤、杭點ニ於ケル縱線(青)、計畫勾配變更點ニ於ケル縱線(赤)、杭點ノ符號、延距離、基點ヨリノ地盤高及計畫高(赤)、高サト距離ノ比ヲ以テ表シタル勾配(赤)切取深(赤)、盛土高(青)ヲ記入シ一横線ヲ劃シ其横線ノ上ニ橋梁其他構造物ノ位置ヲ記入ス

(ハ) 實測横斷面圖

側斜アル個所ハ適宜ノ縮尺ヲ用ヒ適宜ノ幅員間ノ地盤、中心線、岩石ト土砂ノ區劃土工區劃ヲ記入ス

(ニ) 橋梁其他特種構造物構造圖

仕樣書ヲ以テ工事ノ構造ヲ知ル能ハサルモノハ適宜ノ縮尺ヲ用ヒ構造、寸法材料種類(適宜色別)ヲ記入シ時宜ニヨリ設計ノ材料ニ供シタル近傍ノ地形圖又ハ工程圖ヲ調製スヘシ

(三) 工事仕樣書ニハ單價明細表ノ摘要其他契約書ヲ以テ知ル能ハサル各工事ノ仕樣ヲ記載スヘシ

(四) 工事方法書ニハ施工方法及順序竝ニ其期間ヲ記載シ尚其監督方法ヲ附記スヘシ

(五) 事業豫定書ハ林道工ニ於テハ左記ノ諸表ヨリ成リ河川工ニ於テハ之ニ準シタル諸表ヨリ成ル

(イ) 工費總計表

工事總計表ニハ線路土工費、線路橋梁費、各種構造物工費、工事雜費ニ區分記入シ總計ヲ附シ尚其延長ヲ附記ス

一線路ヲ數工區ニ分チ工費内譯表ヲ作リタルトキハ各工區毎ニ工費小計表ヲ作リ全部ニ對スル總計表ヲ調製スヘシ

(ロ) 工費内譯表

工費内譯表ニハ一種類ノ工事及工事雜費中單價ヲ異ニスルモノヲ區分シ數量、單位、單價、金額及摘要ヲ記入シ總計ヲ附ス

(ハ) 單價明細表

工費内譯表ノ摘要ニヨリ單價ノ内容ヲ知ル能ハサルモノハ單價明細表ヲ調製スヘシ

單價明細表ニハ各使用品及工賃、其種別、使用ノ數量、單價ニ對スル數量、單位、單價、金額ヲ記入シ尚摘要欄ニ用途及數量算出ノ方法等ヲ記入ス

(ニ) 計算表

土坪其他數量積算方法ノ明瞭ナラサルモノハ計算表ヲ調製スヘシ

土坪計算表ニハ斷面番號、斷面間ノ距離、切取斷面積、平均切取斷面積、土質別切取立積、盛土斷面積、平均盛土斷面積、盛土立積及石垣高、石垣平均高、石積面積(仕樣ヲ異ニスルモノアルトキハ種類別面積)ヲ記入シ小計及總計ヲ附スヘシ

第五條　前條ノ設計書中(一)、(二)ノ(イ)及(ロ)、(四)、(五)ノ(イ)及(ロ)ヲ添ヘ前年度十二月末日迄ニ新設費用ニ對スル事業豫定案ヲ進達シ認可ヲ受クヘシ

但(一)、(四)、(五)ノ(イ)及(ロ)ハ美濃用紙ヲ以テ調製シ(二)ノ(イ)及(ロ)ハ薄美濃大判横接ヲ用フヘシ

第六條　左記ノ場合ニ於テハ理由ヲ具シ經伺スヘシ

(一)　起終兩點ニ於テ線路ヲ縮少スルトキ

(二)　道路ノ幅員ヲ縮少スルトキ

(三)　當初ノ計畫ニ比シ利用及保存ノ程度ヲ低下シタル設計ニ變更スルトキ

(四)　事業費豫定額ヲ超過スルトキ

(五)　剩餘金ヲ以テ新設工事ヲ起工セントスルトキ

(六)　認可ヲ受ケタル事業豫定案實行ノ期間ヲ變更シ若クハ之カ實行ヲ見合サントスルトキ

第七條　竣工ノ際ハ工事現場監督員以外ノ官吏ヲシテ檢査セシメ設計書ニ對シ不備ノ點ヲ發見シタルトキハ手直シノ手續ヲ爲スヘシ前項ニヨリ竣工ヲ告ケタルトキハ直チニ造林臺帳ニ登錄スヘシ

第八條　工費金千圓未滿ノ工事ニ關シテハ前各條ノ手續ニヨラス修繕工事ニ準シ取扱フコトヲ得

第九條　修繕工事ニ關シテハ前年度十二月末日迄ニ工事ノ程度ニ應シ第四條ニ準シ調製シタル修繕工事設計書ヲ添ヘ修繕工費ニ對スル事業豫定案ヲ進達シ認可ヲ受クヘシ

新設工費ノ百分ノ二ヲ超過スル修繕費ヲ要スルトキハ特ニ其理由ヲ詳記スヘシ

第十條　毎年度末ニ於テ其年度ノ修繕工費ヲ造林臺帳ニ記入スヘシ

第十一條　天災其他ノ原因ニヨリ修繕ヲ要スル程度ノ破損ヲ來シタルトキハ理由ヲ具シ第四條ノ工費内譯表ニ準シ修繕費見積書ヲ調製シ其都度報告スヘシ

第十二條　林道築造ハ左記各項ノ標準ニ據ルヘシ

第一　林道ノ種類ハ左ノ五種トス

(一)軌道(二)車道(三)牛馬道(四)歩道(五)木馬道

第二　幅員ハ車道九尺、牛馬道六尺、歩道及木馬道四尺トス但シ木馬ニテ牛ヲ使役スルトキハ六尺トス

第三　路面築造ハ土砂切取法ヲ八分トシ法切ヲナシ岩石切取法ヲ二分トシ盛土法ヲ一割トシ土坡打ヲナシ石垣法ヲ三分トス

第四　排水溝ハ涌水若クハ流水ノ虞アル部分ニ限リ道幅以外ニ設置シ其底幅一尺深サ七寸トシ路面ニ沿ヒ直立ニ山手ハ前項ニ從ヒ堰下タルモノトス

第五　路面ハ土砂切取及盛土個所ニ於テハ極均シテ爲スニ止ム

但岩石切取個所ニハ土砂厚二寸以内路面泥濘トナルヘキ個所ニハ五分乃至一寸ノ砂利厚二寸以内ヲ敷クモノトス

第六　車道ニアリテ已ムコトヲ得サル場合ニ限リ搬出ノ方面ニ對シ二十分ノ一迄ノ逆勾配ヲ用フルコトヲ得

第七　甚急勾配ハ車道十二分ノ一トシ牛馬道十分ノ一木馬道適宜トス

但已ムコトヲ得サル場合ニ於テ車道ハ六分ノ一牛馬道及歩道ハ四分ノ一迄ノ勾配ヲ用フルコトヲ得此場合ニ於ケル延長ハ大略左式ニヨリテ算出シタルモノ以下ナルヘシ

$$\frac{(1-S)^2}{S-R}=\Pi$$

S＝最緩勾配
R＝緩長勾配

尙其下方ニ之ト同距離ヲ加ヘタル間ノ平均勾配ハ標準勾配ヲ超ユルコトヲ得ス又車道ニ於テハ急屈曲ト併置スルコトヲ得ス

第八　曲線半徑ハ車道及牛馬道ニ於テハ左式ニヨリ算出シタルモノ以下ナルコトヲ得ス

$$D=\frac{L^2}{4B}$$

D＝曲線半徑(R)
L＝最長搬出材長(R)
B＝其直徑(R)

第九　前項ノ曲線ヲ用ヒス屈折線ヲ用ヒタルトキハ曲線ヲ用ヒタルトキノ中心線カ道路幅員中央ノ三分ノ一内ニアルコトヲ要ス　卽チ一屈折角ハ左式ニヨリテ算出シタルモノヲ超過スヘカラス

$$\cos\frac{\alpha}{2}=\sqrt{\frac{L^2-bA}{L^2}}$$

α＝屈折角
L＝最長搬出材長(R)

但此場合ニ於テハ一折線ノ長ハ左式ニヨリテ算出シタルモノ以下ナルコトヲ得ス

$$z=\frac{L^2}{18}\tan\frac{\alpha}{2}$$

z＝折線ノ長(R)
L＝最長搬出材長(R)
α＝屈折角

第十　水路ヲ横キル場合ニ於テ幅六尺以下ニテ足ルトキハ暗渠ヲ設ケ之ヲ超ユルトキハ橋梁ヲ架ス

第十一　橋梁ノ内幅ハ道路幅ヲ超エサルモノトス

第十二　橋梁ノ動荷重ハ車馬ニ於テハ持放三間迄ハ六百貫トシ三間以上一尺ヲ增ス毎ニ三十貫ヲ加ヘ牛馬道ニ於テハ持放一尺毎ニ三十貫トシ歩道ニ於テハ持放一尺毎ニ二十貫トス

第十三　橋梁ニハ束柱付欄干ヲ用ヰルコトヲ得ス

第十四　設計費ハ一里ニ付百圓以内トス

第十五　工費ハ一里ニ付車道六千圓以内牛馬道二千五百圓以内歩道千圓以内トシ木馬道ハ其幅ニ應シ牛馬道若クハ歩道ニ準ス

第十六　工事單價ハ左記人夫數ノ賃錢ヲ超ユルコトヲ得ス

土石ハ法作リ又ハ土坡打及路面敷均シ共一立坪ニ付人夫二人半

岩石切取ハ用品器具共　一立坪ニ付人夫十人

石垣（控一尺ノ場合）ハ材料運搬共　面一坪ニ付人夫三人半

橋梁（幅九尺ノ場合）ハ橋臺ヲ除キ材料共　長一間ニ付人夫四十人

第十七　工事雜費ハ工費ノ百分ノ二以内トス

明治三十七年五月更ニ林道工事ニ對スル仕樣書ヲ統一スルカ爲次ノ如キ通牒ヲ發セリ

明治三十七年五月
山發第一二二七號　山林局長通牒

三十五年十二月二十三日林發第一八四三號ヲ以テ依命通牒致候林道工及河川工取扱ニ關スル手續第四條第三項ノ工事仕樣書中林道工ニ係ル分別紙ノ通リ樣式相定メ候條爾今右ニ準シ御調製相成樣致度此段及通牒候也

（別紙）

第一項　切取工仕樣

第一條　切取工ハ測量杭ニ據リ縱橫斷面圖ニ從ヒ施工スルモノトス

第二條　切取ヲ分テ土砂、轉石、軟岩及硬岩ノ四種トシ其區分ハ左ノ如シ但種類ノ區分明瞭ナラサルトキハ係員ニ於テ之ヲ判別スルモノトス

一、土砂ト稱スルハ普通ノ土砂ニシテ多少石塊ヲ混スルモ容易ニ切取リ得ヘキモノヲ謂フ

二、轉石ト稱スルハ一個ノ積量八立方尺以上ノ石塊一個以上ノ土砂一立坪中ニ含有スルヲ謂フ

三、軟岩ト稱スルハ普通鶴嘴ヲ以テ切取リ得ヘキ岩石ニシテ火藥ヲ用フルヲ便利トスルコトアルモ其質柔軟ナルモノヲ謂フ

四、硬岩ト稱スルハ爆發物ヲ用ヒサレハ切取リ得ヘカラサル岩石ニシテ其質堅硬ナルモノヲ謂フ

第三條　切取法ハ〇分トス但地質ニヨリ之ヲ變更スルコトアルヘシ

第四條　土砂若ハ轉石ノ場所ニ於テ法切リヲ爲スモ尙墜落ノ虞アル土石アルトキハ係員ノ指揮ニ從ヒ之レヲ取去ルヘシ

第五條　切取ノ個所又ハ湧水、滯水等ノ虞アル個所ニハ係員ノ指揮ニ從ヒ排水工ヲ施スヘシ

第六條　切取ヨリ生シタル土石ハ盛土若ハ石垣ノ材料ニ充用シ若シ剩餘ヲ生シタルトキハ係員指示ノ場所ニ取棄ツヘシ

第二項　盛土工仕樣

第七條　盛土工ハ測量杭ニ據リ從橫斷面圖ニ從ヒ施工スルモノトス

第八條　盛土工ハ係員ノ指示ニ從ヒ丁張ヲ爲シタル後之レヲ施工スヘシ但丁張ニ要スル費用ハ請負人ノ負擔トス

第九條　盛土ハ先ツ素地ニ存在セル竹木ヲ伐採シ其根ヲ堀取リタル後之レヲ行フヘシ

第十條　盛土ハ高二尺毎ニ之レヲ均シ搗固メ若クハ踏固メヲ爲スヘシ

第十一條　盛土法ハ一割トシ土坡打ヲナシ法高一尺五寸毎ニ幅五寸以上ノ筋芝ヲ用ヒ法肩ニハ綠芝ヲ取附クヘシ

但法高三尺未滿ノ盛土ニアリテハ筋芝ヲ附セサルコトヲ得

第十二條　盛土ニ用フヘキ芝ハ良好ナルモノヲ選ヒ枯芝又ハ振ヒ芝等ヲ用フヘカラス

第十三條　不良ナル土砂ヲ用フル盛土ニ於テハ其兩側斜面ニ少クモ厚七寸ノ眞土ヲ用フヘシ

第十四條　盛土ニ使用スル土砂中ニハ樹草塵芥等腐朽シ易キモノヲ混スヘカラス

第十五條　地盤傾斜ノ個所ニ於ケル盛土ハ高三尺毎ニ素地ニ階段ヲ作リ施工スルモノトス

第十六條　橋臺ノ背部及暗渠ノ前後ニ於ケル盛土ハ充分搗固メ係員ノ指示ニ從ヒ施工スルモノトス

第十七條　總テ盛土ニハ高サノ二十分ノ一ノ餘盛ヲナスヘシ

第三項　石垣工仕樣

第十八條　石垣法ハ三分トス

第十九條　石材ハ總テ其質堅硬緻密ナルモノニシテ傷員ノ檢査ヲ經タルモノニ非サレハ用フヘカラス

第二十條　根石ニハ就中大ナル者ヲ選ヒ係員ノ指揮ニ從ヒ根切又ハ根堀ヲナシタル後之ヲ据付クル者トス

第二十一條　石垣ノ積方ハ長手ヲ控ニ使用シ胴付ヲ爲シ石一段ヲ積ム毎ニ裏込ヲ入レ充分ニ搗固ムヘシ

但四ツ目筋通シ毛拔合セ等ヲ許サス

第二十二條　裏込ニハ土砂ヲ混セサル砂利若ハ割栗石ヲ使用スヘシ

第二十三條　裏込ノ厚サハ設計書ニ依ルハ勿論係員ノ指示ニ從フモノトス

第四項　路面築造仕樣

第二十四條　路面ハ中心ヨリ左右ニ三十分ノ一ノ傾斜ヲ付シ凸形ニ築造スヘシ

但山腹片切取ノ場所ニ於テハ路面ヲシテ山手ニ向ヒ傾斜セシムヘシ

第二十五條　敷砂利ハ路幅三分ノ二以上ニ亘リ敷均シ平均二寸ノ厚サヲ保タシムヘシ

第二十六條　砂利ノ大サハ直徑五分以上一寸以下トス
第二十七條　砂利數均シノ際ハ桝立ヲ爲シ係員ノ檢査ヲ經タル上之レヲ使用スルモノトス
第二十八條　側溝ハ路面幅員以外タルヘシ

第五項　道路及暗渠仕樣

第二十九條　橋梁棧道及暗渠ハ設計圖書ニ據リ施工スルモノトス
第三十條　橋臺及橋脚ニシテ第三項規定ノ石垣以外ニ特殊ノ構造若クハ基礎工ヲ要スル場合ニハ總テ係員ノ指揮ニ從フヘシ
第三十一條　材料ハ總テ現場ニ於テ係員ノ檢査ヲ經タルモノニ非サレハ使用スルヲ得ス
第三十二條　材料ニシテ係員檢査ニ合格セサルモノハ現場ニ留置スルコトヲ得ス
第三十三條　橋梁其他ノ材料仕樣ノ各號ニ適合スルヲ要ス
一、木材ハ眞直ニシテ巨節若ハ繁節ナク折損若ハ腐朽ノ兆候ナキモノタルコト
二、丸太ハ皮ヲ剝キタルモノニ限ルコト
三、鐵材ハ其質及製作良好ニシテ指定ノ寸法重量ニ適合スルモノタルコト
四、粗朶ハ元口徑一寸長六尺ヲ以テ標準トシ樹葉ヲ附著セサルモノタルコト
第三十四條　橋杭ノ打込若ハ堰搭ハ係員ノ指揮ニ從フヘシ
第三十五條　橋杭ノ上ニハ横梁ヲ用ヒ行桁及腕木ト枘組合セト爲スヘシ
第三十六條　鑿手及枘組合セハ係員ノ指揮ヲ受クヘシ
第三十七條　枕木ハ橋臺ノ肩ヨリ内方一尺以上ノ餘地ヲ存シ之レヲ据付ヘシ
第三十八條　行桁ノ上面ハ削リ均シ若クハ板ヲ用ヒ凹凸ナク仕立ツヘシ
第三十九條　敷板ハ鉋合セトシ充分締付ヘシ
第四十條　並木ハ充分ニ密接ニ敷並フヘシ
第四十一條　押木栓木ハ敷枝ニ鉋合セトシ其兩端二ケ所ニテ釘付ト爲スヘシ
第四十二條　土檢若ハ棧道ニ於テハ粘土ト砂トヲ等分ニ混シタルモノヲ五寸ノ厚サニ盛リ搗固メ其上ニ厚二寸ノ砂利ヲ敷均スヘシ
第四十三條　總テ取付及組立ハ係員ノ指揮ニ從ヒ之レヲ行フヘシ
第四十四條　本項仕樣ニ明記シナキモノハ草價明細表摘要記載ノ仕樣ニヨリ施工スヘシ
第四十五條　暗渠及排水溝其他ノ構造仕樣ハ前各項ニ規定セル局部ノ仕樣ニ準據スヘシ
第四十六條　膠泥及混凝土ノ混和及使用ニ關シテハ總テ係員ノ指揮ヲ受クヘシ

附則

第四十七條　材料若ハ施工ノ仕樣ニシテ本仕樣書ニ明記ナキモノ又ハ之レカ變更ヲ要スル場合ニ於テハ總テ係員ノ指揮ヲ受クヘシ
第四十八條　本仕樣書ニ就キ疑義ヲ生シタルトキハ總テ係員ノ判定ニ任スルモノトス

此ノ如ク森林土木事業ハ逐次發達ヲ遂ケタルモ日露戰役ノ爲明治三十八年度豫算ニ大削減ヲ加ヘラレ僅ニ事業費剩餘金ヲ集メテ應急事業ヲ施工セルカ如キ悲運ニ遭遇セシモ同年始メテ青森大森區署ニ土木專門技師ヲ在勤セシメ秋田大林區署ヲモ兼務セシメテ專ラ森林土木ニ關スル業務ヲ擔當セシムルニ至レリ高野國有林伐採ノ爲推出九度山間ノ里道ニ始メテ軌條ヲ敷設シ搬出ノ便ヲ計リタルモ亦同年度ニ屬セリ

四十一年三月青森縣津輕半島森林鐵道蟹田大平間ニ機關車ヲ運轉セルハ國有森林鐵道開通ノ嚆矢ニシテ又記念スヘキ一事項ナルヘシ同鐵道ハ明治三十九年ニ著手セルヨリ五ケ年ヲ費シ四十四年ニ至リテ青森、喜良市間（四一哩六）ノ全部ヲ竣工セリ

同年九月林發第三三二號ヲ以テ山林局長ヨリ各大林區署長ニ對シ事業項目ノ取扱方及其ノ經費區分ニ關シテ左ノ通牒ヲ發セリ

明治四十一年九月
林發第三三二號　山林局長通牒

明治三十九年十二月訓令第四一號國有林事業豫定案規程第二十五條造林第二部事業項目ノ取扱方及其ノ經費區分ニ關シテハ自今左記ノ通御取扱相成度此段及通牒候也

記

第一項　林道

林道トハ森林ニ專屬シタル道路其ノ他ノ陸運ニ關スル設備ヲ謂フ

前項以外ノ通路其ノ他ノ設備ニシテ特ニ林道ニ準シタル使用ヲ爲サムトスルモノモ亦林道ト看做ス

巡視ヲ主タル目的トスル林道ハ森林費ヲ以テ支辨シ利用ヲ主タル目的トスル永久的林道ハ特別經營費ノ支辨トス

運材上一時ノ便宜ヲ圖ル爲施設スル枝線、連絡線若ハ其ノ他ノ設備ハ森林費ヲ以テ支辨ス但シ一個年分ノ研伐量ニ對スル作業純益ニ因リ其ノ支出ヲ回收シ能ハサル林道ニ關スル事業ハ特別經營費ノ支辨トス

第一目　設　計

設計トハ測量、製圖及工事施行ニ關スル圖書ノ調製ヲ謂フ

測量、製圖等單純ニシテ特別ノ企畫ヲ要セサルモノハ新設事業施行準備トシテ取扱フモノトス

第二目　新　設

新設トハ新設事業施行準備ヨリ敷地買上、借入材料ノ購入運搬、交通若ハ運搬開始準備及竣工檢査ニ至ル總テノ事業ヲ謂フ

利用ノ方法、程度或ハ範圍ヲ變更スル爲改築或ハ增築ヲ施ス場合ニ於テハ新設事業トシテ取扱フモノトス里道或ハ私道其ノ他森林ニ專屬セサル運搬設備ニ工事ヲ施行シ林道ニ準シ取扱ハムトスル場合ニ於テハ新設事業トス

第三目　修　繕

修繕トハ前號ニ依リ新設シタルモノノ維持復舊ヲ目的トシテ施行スル左ノ事業ヲ云フ

一、官行研伐ヲ行ハサル場合ニ於ケル凡テノ修繕

二、官行研伐ニ行フ場合ニ於ケル非常災害ニ基ク被害復舊ノ爲ニスル修繕及時期ヲ定メ全線ニ亘リ施工ヲ要スル程度ノ大修繕並利用ノ方法程度或ハ範圍ヲ變更セサル改築增築及機關車ノ修繕

器具機械ノ修繕竝官行研伐ヲ行フ場合ニ於ケル當時ノ小破修繕及用法ヲ誤リタル使用又ハ使用上ノ大ナル過失ニ基ク破損ニ對スル修繕ハ當初特別經營費支辨ニ係ルモノト雖森林費ノ支辨トス

第四目　雜

雜トハ借地料移動軌條及各事業共通用品ノ購入竝ニ之カ修繕ヲ謂フ

設計、新設及修繕ニ附隨スル廣告料、臨時雇員給、通信運搬雜役人夫賃等ハ其ノ各目ニ分屬セシメ本目ニ編入セサルモノトス

第二項　河　川

河川トハ林産物ノ水運ニ供スヘキ水路其ノ他ノ水運ニ關スル設備ヲ謂フ

運材上一時ノ便宜ヲ圖ル爲施設スル浚渫、除石工作物ノ除却復舊木止裝置等ハ森林費ノ支辨トス

目ノ區別ハ林道事業ノ區別ニ準ス

第三項　貯木場

貯木場トハ林地ヨリ搬出シタル木材ヲ販賣若ハ製材等ノ目的ヲ以テ貯木スヘキ場所並造林産物運搬中木材ノ中繼ニ供スヘキ工場ヲ謂フ

貯木場ニ於テ永久使用ノ目的ヲ以テスル水陸面ノ施設（常設軌道、起重機、倉庫番小屋及之ニ準スヘキモノヲ包含ス）ニ關スル事業ハ特別經營費ノ支辨トス

第一目　設　計

林道設計ニ準ス

第二目　設　備

設備トハ新設及修繕ニ關スル事業準備ヨリ竣工檢査ニ至ル總テノ事業ヲ謂フ

官行研伐ヲ行フ場合ニ於ケル當時ノ小破、修繕及用法ヲ誤リタル使用又ハ使用上ノ大ナル過失ニ基ク破損ニ對スル修繕ハ當初特別經營費ノ支辨ニ係ルモノト雖森林費ノ支辨トス

第四項　雜　工

雜工トハ造林ニ關スル土木工事ニシテ造林第一部及前三項ニ屬セサル事業ヲ謂フ

國有林ノ利用開發益進捗スルニ伴ヒ土木事業ノ分量モ年ト共ニ增加シ到底低級ナル技術者ヲ以テ之カ實行ニ當ラシムルコト能ハサルニ至リシニ依リ四十二年大林區署ニ各一名ノ專門技師ヲ在勤セシムルコトトシ大ニ森林土木事業ノ發展ヲ計レリ

大正三年三月訓令第五號ヲ以テ新ニ國有林野事業規程ヲ制定セラルルニ及ヒ貯木場事業及砂防事業等ト共ニ土木事業ト稱スルニ至レリ且同年度ヨリ從來森林費ヲ以テ支辨セル巡視歩道ヲ特別經營事業ニ移シテ大ニ增設ニ努ムルコトトナレリ今明治三十二年特別經營事業創設以來大正五年度迄ニ林道ノ新設修繕及河川ノ疏通

ヲ施行セル分量ヲ擧クレハ次ノ如シ

		延長	經費
林道	新設	二、〇九八㍍	六、三一四、五三九円
	修繕	七、七九一	九四六、〇九八
	計		七、二六〇　六三八
河川	新營	五、三一一、一一九㍍立坪	九九　一五四
	修繕	七三、二二六、一二八㍍立坪	五〇、七八八
	計		一四九、八四二

二、貯木場

昔時ニ於ケル木材搬出ノ狀況ヲ稽査スルニ多クハ河川ヲ流下シ更ニ海運ニ由リテ需要地ニ輸送シタルカ故ニ河口海濱等ノ一部ニ木材ヲ繫留シ船舶ヘノ積込又ハ積卸ヲ爲シタルニ過キスシテ特ニ貯木場トシテ設備セルモノ少ナキカ如シ愛知縣ニ於ケル白鳥貯木場ノ如キハ遠ク名古屋城築造ノ際ニ起原シタルモノナリト雖モ貯木場各種ノ設備ヲ爲シタルハ後世ナルヘク東京ニ於ケル本材木町、南茅場町、三十間堀等ノ木場モ亦其ノ始メハ商品トシテ倉庫ニ貯藏スルモノノ外總テ水路内ニ貯木スルニ過キス其ノ他大阪ニ於テハ長堀、立賣堀、阿波座、東西横堀等皆堀ヲ利用シ和歌山、新宮、御坊ノ如キ紀州各地ニ於ケル木材市場其ノ他秋田縣能代ノ如キ高知縣奈半利ノ如キ宮崎縣東海、熊本縣川尻ノ如キ凡テ河口ニ於ケル砂地或ハ河岸ヲ利用シタルニ過キス國有林ニ於ケル產物ノ利用ニ付テモ古來河岸、海濱或ハ堀等ヲ使用シタルコト多ク十四年四月山林局ノ處務規程ヲ制定スルニ當リ分課ヲ定メテ貯木所ノ事務ハ左ノ如ク掌理セシメラレタリ

統計課　山林統計及ヒ木材保蓄發賣等ニ關スル事務ヲ掌理ス

是ニ由リテ各貯木所ハ山林局ニ屬シタリシカ更ニ十五年十月ニ至リ農商務省貯木所ト改稱セリ後十九年貯木場及錦織綱場ノ官制ヲ定メラレタルコト及其ノ後之ヲ廢止シタルコトハ第五節ニ述ヘタルカ如クニシテ爾來新ニ設置セラレタルモノナカリシモ三十二年特別經營事業開始以來林道開通ニ伴ヒ各所ニ之カ設置ノ必要ヲ認メタルモ特別經營計畫中ニ其ノ豫定ナカリシヲ以テ僅ニ林道附屬ノ事業トシテ施設シ得タルニ過キス然ルニ其ノ必要ヲ感スルコト益痛切ナルニ至リシカハ三十六年三月林發第五四三號ヲ以テ計畫事業ニ差支ナキ限リ餘裕金額ヲ充用シ貯木場設備ヲ施行スヘク豫定案編成等ノ手續ハ林道工及河川工ニ準シ取扱フヘキ旨ヲ通牒セリ次テ三十七年特別經營計畫改調ノ際貯木場面積八五九、五一一坪其ノ經費一、七一七、〇〇一圓ヲ豫定シ後三十九年度ニ於テ官行斫伐事業ヲ擴張スルニ及ヒ製材所設置ニ伴フ貯木場ヲ要スルニ至リ其ノ數モ著シク增加スルコトトナレリ四十五年特別經營計畫ノ改調ヲ企ツルヤ面積一、一九九、四六八坪其ノ經費一、七一七、〇〇一圓ノ豫定トナスコトニ内定シ以テ今日ニ至レリ

今明治三十五年以降大正五年度迄ニ特別經營事業トシテ設備セル數量經費ヲ擧クレハ次ノ如シ

	面積	經費
新設	三三四㍍六〇二一	一、一八七、七三〇円
修繕	五九七、〇二〇三	六〇、四四〇
計		一、二四八、一七〇

三、砂防設備

山地ニ於ケル砂防工事ハ古來ヨリ行レタル事業ニシテ山留工事或ハ山シバリ工事等ノ稱アリ維新後林政弛廢シ山林濫伐ノ結果治水上各地トモ一層砂防設備ノ必要ヲ感スルニ至リシカ偶三十年三月法律第二十九號ヲ以テ砂防法ヲ發布セラレシカハ爾後各地ニ於ケル工事ハ砂防法ニ依リ施工スルモノハ主務大臣ノ指定シタル地區内ニ限ルヲ以テ未タ一般林地ニ施行セラルルノ運ヒニ至ラサリシカハ政府ハ明治四十三年三月農商務省令第四號ヲ以テ公有林野造林奬勵規則ヲ制定シ次テ四十四年四月省令第十六號ヲ以テ荒廢地復舊費補助規則ヲ制定シ最荒廢ニ傾キ易キ公有林ノ造林ヲ奬勵シテ治水上重要ノ關係アル林地ノ地盤保護ニ努メタリ

國有林ニ就テハ三十二年特別經營開始ノ際砂防植栽面積五、〇〇〇町歩其ノ經費一、三八八、二八〇圓ヲ豫定シ後三十七年豫定面積ヲ四、七四二町歩ニ其ノ經費ヲ八一八、一〇七圓ニ變更シ今日ニ於テハ既ニ計畫面積ニ對シテ植栽ヲ完了セリ

是ヨリ先足尾國有林ノ荒廢甚シク治水上憂慮スヘキモノアルヲ以テ三十九年五月林發第一五三號訓令ヲ以テ東京大林區署ニ對シ足尾國有林復舊事業ヲ起サシメ向後八年間ヲ期シテ經費六八二、二四五圓ヲ豫定シ大正元年度迄ニ四七三、七八五圓ヲ實行セシカ未タ終結ニ達セサルヲ以テ大正二年度ヨリ其ノ殘事業ヲ特別經營ニ移シ之ヲ整理スルコトトセリ然ルニ足尾國有林ノ外砂防植栽事業ハ總テ植栽ヲ目的トシテ進行シ稀ニ堰堤及石垣等ヲ施工セルモノアルモ多クハ楷段工ヲ施行スルニ過キスシテ未タ荒廢セル國有林ニ對シ砂防ノ施設ヲ完ウスルニ至ラス則チ工木工事ヲ要スルモノニ付テハ未タ施設ノ途ナク唯足尾國有林及已ムヲ得サルモノニ限リ大正二年度以來林道河川及貯木場ノ經費ヲ割キテ施設ヲ爲シタルモノアリ雖經費十分ナラス前途憂慮ニ堪ヘサルモノアリシヲ以テ大正三年十月各大林區署土木主任ヲ山林局ニ會シ設計程度ニ付十分協議ヲ遂ケタル結果大正五年度ヨリ同十年度ニ至ル六年間ヲ期シテ全國有林ニ對シ總額二百六萬圓ヲ投スルノ計畫ヲ起シ大正五年度ニ於テ二十萬圓ノ豫算ヲ得砂防設備トシテ各地ニ土木工事ヲ施行スルニ至リ爾後繼續シテ今日ニ及ヘリ今左ニ年度割豫定ヲ掲クレハ次ノ如シ

國有林崩壞砂防設備年度割豫定表　（△ハ前々年度、×ハ前年度著手ノ箇所ニ施行ノ分）

種類	五年度		六年度		七年度		八年度		九年度		十年度		計	
	數量	經費	數量	經費	數量	經費	數量	經費	數量	經費	數量	經費	數量	經費
堰堤（大）	二〇個	二〇、〇〇〇円	四〇	二二〇、〇〇〇円	三〇	九〇、〇〇〇円	三〇	二〇、〇〇〇					二二〇個	三二〇、〇〇〇円
同（中）	二〇個	二〇、〇〇〇	×二〇個	二〇、〇〇〇	×二〇個	七〇、〇〇〇	×二〇個	二〇、〇〇〇	×二〇	二〇、〇〇〇			二四〇個	二四〇、〇〇〇
同（小）	二〇個	二〇、〇〇〇	×二〇個	七〇、〇〇〇	△二〇×九〇	七五、〇〇〇	△四〇×九〇	八〇、〇〇〇	△二〇×二〇	二〇、〇〇〇	△二〇	二〇、〇〇〇	二〇〇個	三〇〇、〇〇〇
石垣	二、〇〇〇坪	二〇、〇〇〇	×一、〇〇〇坪	二〇、〇〇〇	△一、〇〇〇×一、〇〇〇	二五、〇〇〇	△二、〇〇〇×一、五〇〇	五五、〇〇〇	△二、〇〇〇×二、〇〇〇	四五、〇〇〇	△二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二四、〇〇〇坪	二四〇、〇〇〇
張石	二、〇〇〇坪	一〇、〇〇〇	×一、〇〇〇四、〇〇〇	二五、〇〇〇	△一、〇〇〇×一、〇〇〇	二五、〇〇〇	△一、〇〇〇×一、〇〇〇	三〇、〇〇〇	△二、〇〇〇×二、〇〇〇	一〇、〇〇〇	△二、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二四、〇〇〇坪	一一〇、〇〇〇
積苗工	一〇町	五、〇〇〇	×一五四〇	二七、五〇〇	△一五×一〇	二七、五〇〇	△一五×一〇	二五、〇〇〇	△一五×一五	二五、〇〇〇	△一〇	一〇、〇〇〇	二四町	一一〇、〇〇〇
網狀工	五町	五、〇〇〇	×一〇一〇	二〇、〇〇〇	×一〇五	二〇、〇〇〇	×一〇五	二五、〇〇〇	×一五五	二〇、〇〇〇	△一〇	一〇、〇〇〇	一一〇個	一一〇、〇〇〇

杭柵	枠	水路工	監督工夫	雇員	監督小屋	通信運搬	雑用品	旅費	計	俸給
	一、〇〇〇間	一、〇〇〇間	二〇人	二〇人	一〇個					一四人
	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇	一八〇	二〇〇	九、六二〇	一九三、〇〇〇	七、〇〇〇
×一〇〇〇間	×五〇〇 二、〇〇〇	×五〇〇 二、〇〇〇	五〇	五〇	二〇					二六人
一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	二二〇	二〇〇	三〇、三八〇	四八六、三〇〇	二、二五〇
△一〇〇〇 ×二〇〇〇	△五〇〇 ×一、〇〇〇	△五〇〇 ×一、〇〇〇	五〇	五〇	二〇					二六
三、〇〇〇	二八、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	二二〇	二〇〇	三〇、三八〇	四八六、三〇〇	二、〇〇〇
△二〇〇〇 ×五〇〇	△一〇〇〇 ×一、〇〇〇	△一〇〇〇 ×一、〇〇〇	五〇	五〇	一〇					二四
二、五〇〇	二七、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	二二〇	二〇〇	三〇、三八〇	四八六、三〇〇	七、〇〇〇
△二〇〇 ×一、〇〇〇	△一〇〇 ×一、〇〇〇	△一〇〇 ×一、〇〇〇	一〇	一〇						八
四〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇	三、〇〇〇	一〇	二〇	二〇〇	九、二四〇	一〇一、九〇〇	四、〇〇〇
一、二〇〇	一二、〇〇〇間	一二、〇〇〇間	一〇〇人	一〇〇人	六〇人					一〇人
一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三〇、三八〇	一一〇、〇〇〇	二、〇〇〇

尙從來ニ於ケル砂防植栽ノ分量ヲ示セハ左ノ如シ

年度	経営費				森林費			
	新植面積	工事費	総経費		新植面積	工事費	総経費	
三二	六、六五九、一六三	—	三二、九五三、九八三	—	—	—	—	—
三三	一七、六六二、三五		三九、一三〇、〇四三		—	—	—	—
三四	二九、九八〇、八〇二	二〇、九八三、五五〇	七二、七九一、〇八九		三〇、八〇〇町	三、六五五、〇四六円	三〇、六五五、〇四六	—
三五	四三四、四〇〇七	二、二三二、〇九七	九五三、二二三、八二九		四二、九四〇	八五五、七四二	八五五、七四二	—
三六	四三八、五三二	四、九七七、二九	一〇二、七五五、二二七		六四、九六一、〇八八	四、九七七、二九	一〇二、七五五、二二七	—
三七	五五二、二〇二五	八、一八四、四五七	九、二二〇、七五五		一、〇〇二、〇〇	二、〇〇二、〇〇	九、二二〇、七五五	—
三八	一〇四、一九一九	三、六二二、七三〇	三八、一〇九、七二二		〇、六二二、〇〇	三、六二二、〇〇	三八、一〇九、七二二	—
三九	三四九、六六二	三、七四八、二三九	五〇、〇二五、三五四		—	—	—	—
四〇	二六九、九五一七	三六、五三二、三八六	二、六一四、一七五		—	—	—	—
四一	八八、八九九、〇一八	一五、九九九、〇一八	九、八八八、六〇三		—	—	—	—
四二	一一、八五二四	六、五九六、三五六	二七、一五四、一四〇		—	—	—	—
四三	八一、一九〇〇	一九、三一八、六七七	三三、二四五、八二一		一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	—
四四	七〇、三七二五	二二、一〇三、〇五五	六一、八四九、六一〇		一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	—
大正元	四〇五、四四〇	五〇、三二八、四五九	六九、二四五、二五〇		二、二二〇、〇〇〇	二、二二〇、〇〇〇	二、二二〇、〇〇〇	—
二（繰定）	三五五、九八〇八	四五、七九九、八七〇	六九、二四五、六〇八		—	—	—	—
三	三二八、八三二	三九、〇七一、八七〇	六一、九八四、〇〇〇		—	—	—	—
四	三七七、二〇〇	三六、四五三、〇〇〇	五三、八四二、〇〇〇		—	—	—	—
計	四、四九七、二九〇三	三五四、四七八、五八六	八二一、二四六、〇二二		八二一、二四六、〇二二	九、〇一四、九一七	二一、四六四、一六四	一、九五一、三九八
一ヶ年平均	二六四、五四二〇	二〇、八五一、六六二	四八、三〇八、五八九		五、四三三	九、九九五	二七、一六一、三九八	一、九五一、三九八

第四編　御料及民有林野ノ經營

第一章　御料林野ノ經營

第一節　管理

宮内省内ニ始メテ御料局ヲ置カレタルハ明治十八年十二月ニシテ當時未タ經營的ニ林野ノ經營ヲ爲スカ如キコトナク主トシテ帝室ノ御使用ニ供スル土地ヲ管理セルニ止マリキ明治二十二年ニ至リ本州諸府縣ニ於ケル大面積ノ官有山林原野竝鑛山等ノ御料地ニ編入セラルルニ伴ヒ頓ニ局務ヲ擴張シ本局ノ下ニ佐渡、生野兩支廳ヲ設置シテ佐渡竝生野兩鑛山ノ事業ヲ經營セシメ又相模、尾張、美濃、飛驒、信濃、甲斐及駿河等ノ御料林野ヲ管理經營スル爲メ木曾、静岡兩支廳ヲ設置セリ而シテ明治二十三年ニ至リ岩瀬事務所ヲ廢シ同年日向諸縣御料地ノ設定ト共ニ諸縣事務所ヲ置キ又伊勢、志摩兩國ノ各山林原野ノ管理經營ノ爲メニ度會事務所ヲ設立シ更ニ北海道御料地ノ編入ニ伴ヒ札幌支廳ヲ設ケ之レカ管理經營ヲ掌ラシメタルハ何レモ明治二十三年中ナリキ此他猶同二十二年ヨリ二十三年中ニ編入セラレタル前記以外ノ本州各山林原野ハ各關係地方廳ニ委託セシム越エテ明治二十五年ニ至リ木曾支廳ヲ廢シ名古屋支廳ヲ設ケテ木曾支廳管轄區域ヲ静岡支廳ト分チテ之カ管理經營ヲ司トル明治二十九年佐渡、生野兩鑛山ヲ賣却スルト共ニ佐渡及生野兩支廳ヲ廢止セリ明治三十年佐渡、東京、前橋、宇都宮、盛岡、青森ノ六事務所ヲ設置シ以テ明治二十二、三年以來各縣廳ヘ委託セシ御料地ヲ各事務所ノ所管ニ移シテ管理經營ヲナスニ至レリ明治三十一年前橋事務所ヲ宇都宮事務所ニ合シ三十二年新ニ京都事務所ヲ置又三十四年豐住貯材所ヲ設ケ名古屋支廳ニ屬スル白鳥、桑名兩貯木所ト相竝ムテ御料林ノ貯材及賣却ヲ掌理セシム明治三十六年再ヒ木曾支廳ヲ設置シ信州木曾谷一圓竝ニ上下伊那郡、諏訪郡ノ各御料地臺帳面積約四十七萬町歩此實測面積約十七萬町歩ニ對スル御料林野ノ管理經營ヲ司ラシム三十九年甲府支廳ヲ新設シ静岡支廳ノ一部ヲ割キテ之カ所管トス明治四十一年青森、盛岡、宇都宮、佐渡、及東京ノ五事務所ヲ廢シ青森及東京ノ兩支廳ヲ設ケ各支廳ニ其ノ所管ヲ分合セシメ又度會事務所ヲ廢シテ名古屋支廳ノ所管トナシ其他ニ京都事務所ヲ京都出張所ト改名スル等此年ヲ以テ凡テ事務所ノ名稱ヲ廢止スルト共ニ各支廳ノ管轄區域著シク増大スルニ至レリ越エテ明治四十四年度山梨縣下ノ御料地約四十萬五千餘町歩ノ内約三十萬町歩ヲ山梨縣々有財産トシテ下賜セラルルニ及ヒテハ既ニ甲府支廳ノ存立ヲ要セサルニ至リシヲ以テ其ノ年十月該所管地ヲ東京支廳ニ合併シ甲府支廳ヲ廢止セリ其ノ後大正三年八月ニ於テハ各支廳竝ニ本局直轄出張所ノ一大改廢ヲ行ヒ以テ今日ニ至リタルモノニシテ現今ニ於ケル各支局竝ニ事務所ノ名稱及其ノ主管御料地ノ面積ヲ掲クレハ左ノ如シ

部局名	臺帳面積	實測及見込面積	備考
札幌支局	六五一、六七三町	九四三、八一三町	
東京支局	三五八、一二八	二四六、六〇六	
名古屋支局	四〇一、六七四	一五九、三〇五	
木曾支局	四七〇、四五〇	一七〇、一八六	
京都事務所	六二九	四五六	
計	一、八八二、五五四	一、五二〇、三六六	

而シテ明治二十二年御料林野ノ經營ニ著手セシ以來御料局ニ關スル官制ノ變遷ヲ述フレハ左ノ如シ

官内省官制（明治二十二年七月二十三日宮内省達第十號）

第三十四條　御料局ニ左ノ職員ヲ置キ世傳御料及主管ニ屬スル財産會計ヲ督理ス

御料局長　一人　一等二等
局務ヲ總理シ局員ヲ監督ス

御料局主事　一人　奏任
局務ヲ掌理ス

御料局理事　三人　奏任
支廳長ニ任ス其職制ハ別ニ之ヲ定ム

御料局屬　判任

御料局技師　二十八人　奏任
御料局ノ實業ニ從事ス

御料局技手　判任

御料局技手補　判任四等以下

其ノ後十數回ニ亙リ同官制ハ多少改正ヲ加ヘラレタルモ大綱ニ於テハ變スルコトナカリシカ明治四十年十月三十一日御料局ヲ廢シ帝室林野管理局ヲ設置シテ御料ノ土地及林野ヲ管理スルニ至レリ而シテ同日皇室令第九號ヲ以テ帝室林野管理局官制ヲ制定セラレ其ノ後四十二年五月、四十三年三月、四十三年十二月、大正三年八月等數次ニ亙リテ多少ノ改正ヲ爲シタルモノ卽チ現行ノ官制ナリ

帝室林野管理局官制（明治四十年十月三十日皇室令第九號）

第一條　帝室林野管理局ハ宮内大臣ノ管理ニ屬シ土地及林野ノ管理經營ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條　帝室林野管理局ニ左ノ職員ヲ置ク

長官
主事
主事補
屬

第三條　長官ハ勅任トス局務ヲ掌理シ所部職員ヲ監督ス

第四條　主事ハ九人奏任トス内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得庶務ヲ分掌ス

第四條ノ二　主事補ハ九人奏任トス主事ヲ助ク

第五條　屬ハ判任トス庶務ニ從事ス

第六條　帝室林野管理局ニ技師及技手ヲ置ク
技師ハ專任四十二人奏任トス内二人ヲ勅任ト爲スコトヲ得技術ノ事ヲ分掌ス
技手ハ判任トス技術ニ從事ス

第七條　帝室林野管理局ノ事務ヲ分掌セシムル爲支廳ヲ置ク其ノ職制ハ勅裁ヲ經テ宮内大臣之ヲ定ム

附則

第八條　本令ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條　本令施行ノ際別ニ官記ヲ交付セス御料局長ハ帝室林野管理局長官ニ御料局主事ハ帝室林野管理局主事ニ御料局屬ハ帝室林野管理局屬ニ御料局技師及御料局技師補ハ帝室林野管理局技師ニ御料局技手及御料局技手補ハ帝室林野管理局技手ニ任セラレタルモノトス

帝室林野管理局ノ新設ニ際シ御料ニ屬スル土地及林野ヲ整理セムカ爲臨時職員ヲ置カレタリ之ニ關スル官制次ノ如シ

帝室林野管理局臨時職員官制（明治四十年十月三十一日皇室令第十二號）

御料ニ屬スル土地及林野ノ整理ニ關スル事務ニ從事セシムル爲帝室林野管理局ニ臨時左ノ職員ヲ置ク

屬　十八人

技手　五十三人

本令ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際別ニ官記ヲ交付セス御料局臨時特設員中御料局屬ハ帝室林野管理局屬ニ御料局技手及御料局技手補ハ帝室林野管理局技手ニ任セラレタルモノトス

御料局又ハ帝室林野管理局ノ下ニ支廳又ハ支局ヲ置キ支廳又ハ支局ノ下ニ更ニ出張所ヲ置キテ御料林野ヲ管理スルコト尚國有林野ノ管理ニ關シ山林局大林區署小林區署ヲ設クルト類似セリ今國有林野組換當時ニ於ケル支廳職制ヲ見ルニ左ノ如シ

御料局支廳職制（明治二十二年九月六日宮内省達第十六號）

第一條　御料財産ヲ管理スル爲メ須要ノ地ニ御料局支廳ヲ置キ支廳ノ下ニ出張所ヲ置ク其位置竝ニ管轄區域ハ宮内大臣之ヲ定ムヘシ

第二條　御料局支廳ニ左ノ職員ヲ在勤セシム

理事

技師

屬

技手

技手補

第三條　支廳管内廣濶ナルトキハ監督ヲ置キ技師屬又ハ技手ヲ以テ之ニ充テ出張所其他ノ業務ヲ監督ス

第四條　支廳長ハ御料局長ノ命ヲ承ケ其部内ノ財産及一切ノ業務ヲ掌理シ所轄官吏ヲ監督ス

第五條　技師屬技手技手補ハ各其主務ニ從事ス

第六條　出張所長ハ屬又ハ技手技手補ヲ以テ之ニ充ツ

第七條　支廳及出張所ノ處務規程ハ宮内大臣之ヲ定ム

第八條　支廳ノ會計ハ其業務ノ都合ニヨリ御料局長ニ於テ宮内大臣ノ認可ヲ經テ特別會計規則ニ據ルコトヲ得其規則ハ宮内大臣之ヲ定ムヘシ

第九條　支廳長ハ業務ノ都合ニヨリ特ニ傭員ヲ置クコトヲ得

當時ニ於テハ木曾、静岡、名古屋、札幌等ニ支廳ヲ置クノ外諸縣、度會、佐渡、京都、東京、宇都宮、盛岡、青森等ニ御料局事務所ヲ置キ御料地ノ管理經營ニ從事セシメタリ明治四十年御料局ト共ニ其支廳ヲ廢セラルルニ至リ帝室林野管理局支廳ヲ置キテ其職制ヲ次ノ如ク定メタリ

帝室林野管理局支廳職制（明治四十年十一月一日宮内省令第七號）

第一條　帝室林野管理局支廳ノ名稱位置及管轄區域ハ左ノ如シ

名稱	位置	管轄區域
札幌支廳	北海道札幌區	膽振國、石狩國、天鹽國、釧路國、日高國
東京支廳	東京府東京市	盤城國、岩代國、上野國、下野國、常陸國、上總國、下總國、武藏國、相模國、甲斐國、佐渡國、伊豆國田方郡ノ内熱海村、宇佐美村、網代村、多賀村
名古屋支廳	愛知縣名古屋市	尾張國、三河國、美濃國、飛驒國、伊勢國、志摩國
静岡支廳	静岡縣静岡市	駿河國、遠江國、伊豆國田方郡ノ内熱海村、宇佐美村、網代村、多賀村ヲ除ク
木曾支廳	長野縣西筑摩郡福島町	信濃國
青森支廳	青森縣津軽郡大野村	渡島國、陸奥國、羽後國、陸前國、陸中國

第二條　各支廳ニ於テハ其ノ管轄區域ニ屬スル土地及林野ノ管理經營ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條　各支廳ニ支廳長ヲ置ク帝室林野管理局主事ヲ以テ之ニ充ツ

支廳長ハ廳務ヲ管理シ所部職員ヲ監督ス

第四條　各支廳ニ帝室林野管理局主事補技師屬及技手ヲ分屬セシム

第五條　各支廳ノ事務ヲ分擔セシムル爲出張所ヲ置キ前條ノ職員中ヨリ之ニ在勤セシム

各出張所ノ名稱位置及管轄區域ハ之ヲ告示ス

第六條　各支廳ニ分屬セシメ又ハ各出張所ニ在勤セシムル職員ノ配置ハ帝室林野管理局長之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

帝室林野管理局直屬ノ出張所ニ就テハ別ニ職制ヲ定メラレシコト次ノ如シ

帝室林野管理局出張所職制（明治四十一年四月十日宮内省令第四號）

第一條　帝室林野管理局出張所ノ名稱及位置ハ左ノ如シ

豐住出張所　東京府東京市
京都出張所　京都府京都市
大阪出張所　大阪府大阪市
箱根出張所　神奈川縣足柄下郡箱根町
日光出張所　栃木縣上都賀郡日光町
熱田出張所　愛知縣名古屋市

第二條　豐住大阪及熱田ノ各出張所ニ於テハ木材ノ貯藏處理ニ關スル事務ヲ分掌シ京都出張所ニ於テハ山城大和攝津播磨但馬ノ五ヶ國所在ノ土地及林野ノ管理經營ニ關スル事務ヲ分掌シ箱根及日光ノ各出張所ニ於テハ湖魚養殖ニ關スル事務ヲ分掌ス

第三條　各出張所ニ所長ヲ置ク

所長ハ本局所屬ノ高等官又ハ判任官ノ中ヨリ之ヲ命ス

第四條　各出張所ニ本局所屬ノ屬技手ヲ在勤セシム其ノ配置ハ帝室林野管理局長官之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年八月各支廳ヲ改メテ支局トシ其ノ管轄區域ヲ次ノ如ク改メタリ

帝室林野管理局支局及事務所ノ名稱位置及管轄區域（大正三年八月十五日宮内省告示第二十四號）

札幌支局　北海道札幌區

東京支局　東京市

名古屋支局　名古屋市

木曾支局　京都事務所　京都市

分課

御料局及支廳ノ分課ハ屢次改正セラレテ今日ニ及ヒタルモノナルモ明治二十一年九月國有林野ノ一部ヲ御料林野トシテ組換ヘタル當時ニ於テハ御料局ニ諸務、會計、地籍ノ三課ヲ置キ諸務課ニ文書、議案、興產ノ三掛會計課ニ主計、收支、主簿ノ三掛、地籍課ニ圖書、測量、製圖ノ三掛ヲ置キ山林ニ對シテ未タ特別ノ課又ハ掛ヲ設ケサリシモ九十餘萬町歩ノ組換ヲ爲シタル結果之カ管理事務ヲ激增シタルヲ以テ明治二十二年四月一日分課規程ヲ改メ御料局ニ第一部第二部第三部及直轄御料地掛ヲ設ケ第一部ハ庶務地籍及測量製圖ノ事ヲ掌リ第二部ハ會計及鑛山ノ事ヲ掌リ第三部ハ卽チ山林及殖產ノ事ヲ掌ルコトトセリ而シテ同年八月二十八日更ニ分課規程ヲ改メ諸務、會計、測量、鑛山、山林ノ五課及會計檢查掛ヲ置ケリ二十三年六月二十四日會計檢查掛ヲ廢シ設計課ヲ增設シ二十九年十月三十日鑛山課ヲ廢シ三十年六月十九日臨時土地整理課ヲ設ケ同年八月十日地籍課ヲ廢シ山林、測量二課ノ分掌ヲ改正ス其ノ後三十一年、三十九年、四十一年及大正元年ニ於テ多少ノ加除改正ヲ爲シ大正三年八月十五日更ニ之ヲ改正シテ庶務、地籍、林務、工務、會計ノ五課ヲ置キ外ニ臨時業務ヲ整理スルカ爲測量課及農務課ヲ置ク是卽チ現在ノ分課制度ナリ

支廳ノ分課ハ各支廳ニ於テ適當ニ之ヲ定メ屆出ツルノ制度ナリシヲ以テ統一的ナラサリシハ勿論其ノ制定ノ

陸奥、羽後、陸中、陸前、岩代、磐城、上野、下野、常陸、上總、下總、武藏、佐渡、甲斐、伊豆、相模及駿河國ノ內駿東富士二郡

遠江、三河、尾張、美濃、飛騨、伊勢、志摩及駿河國ノ前記二郡ヲ除キタル各部

信濃國

山城、大和、攝津、播磨、但馬ノ五ヶ國

年度モ亦多少ノ差異アリ明治三十年八月二十一日靜岡支廳屆出ノモノヲ見ルニ次ノ如シ

靜岡支廳處務細則

第一章　分　課

第一條　庶務課ニ左ノ五掛ヲ置ク

林野掛、調査掛、土地整理掛、文書掛、統計掛

第七條　會計課ニ左ノ三掛ヲ置ク

主計掛、出納掛、用度掛

然ルニ名古屋支廳ヨリ明治三十三年七月屆出ノモノヲ見ルニ次ノ如シ

庶務課ニ左ノ五掛ヲ置ク但事業掛ハ之ヲ第一第二ノ二部ニ分ツ

一　事業掛
二　統計掛
三　文書掛
四　土地調査掛
五　臨時土地整理掛

中　略

會計課ニ左ノ三掛ヲ置ク

一　主計掛
二　出納掛
三　用度掛

後　略

次ニ札幌支廳業務分掌ヲ見ルニ左ノ如シ

御料局札幌支廳業務分掌規程（明治三十一年三月十二日庶第三五四號札幌支廳屆）

第一條　御料局札幌支廳ニ部ヲ置キ課掛ノ所屬ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一部
　林業課
　臨時農業課
　臨時土木課
第二部
　庶務課
　會計課

御料局直轄ノ事務所ニ於テモ亦適宜ニ事務ノ分掌ヲ定メテ屆出テ度會事務所ハ林業庶務會計ノ三掛ヲ、東京事務所ハ庶務、會計ノ二掛ヲ置ク等劃一ノ制ヲ採ラス明治四十年御料局ヲ廢シテ帝室林野管理局ヲ設置セラルルニ及ヒ諸般ノ制度ニ一大革新ヲ試ミ支廳ノ分課ニ就テモ其ノ統一ヲ計リ四十三年十二月十五日第四三六四號長官達ニ依リ帝室林野管理局支廳分課規程ヲ定メ其ノ第一條ニ於テ「帝室林野管理局支廳ニ業務課、會計課及文書掛ヲ置ク」ト規定シ第二條以下ニ於テ各課ノ事務分掌ヲ定メ大正三年八月訓令第三十號ニ依リ業務、文書、會計ノ三課ヲ置クコトニ改正シ以テ今日ニ及ヘリ

處務規程

御料局ニ關スル處務規程ハ明治十九年六月局長權限內事項トシテ定メラレタルモノニシテ當時ニ在リテハ其ノ事務單ニ事業ヲ目的トセサル土地ノミニ屬セシヲ以テ何等ノ不便ヲ感セサリシモ其ノ後御料林野ノ設定ニ伴ヒ該規程以外ノ事項ヲ發生スルニ至リシカハ是等ハ其ノ時々ノ伺定若ハ達等ニ依リテ處理セラレシカ大正二年二月訓令第四十五號ヲ以テ帝室林野管理局處務規程ヲ制定シ長官ノ專決事項、官內大臣ニ具申若ハ經伺

スヘキ事項、報告事項等ヲ定メ尚支局、事務所及出張所ノ處務規程ハ大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムルコトトセリ支廳及事務所ノ處務規程ニ付テハ御料局ト略同樣ノ沿革ヲ有セリ卽チ明治二十二年三月本局令第一五號ヲ以テ從前ノ例ニ依リ事務取扱フヘキ旨木曾支廳ニ達セラレ四月第三九號ヲ以テ木曾支廳ヨリ前例ヲ屆出テ同年八月ニ至リ始メテ內事課甲第五四五號ヲ以テ御料局木曾靜岡支廳竝同出張所處務規程及木曾靜岡支廳監督服務條規ヲ定メラル二十三年三月內事課甲第四八號ヲ以テ札幌支廳監督服務條規ヲ定メ同年七月同支廳處務規程ヲ定メ尚御料局長ヨリ札幌支廳出張所長處務規程及監督服務規程ハ當分ノ內北海道廳林務課派出所首席者處務規程及同派出所事務監督員服務概則ヲ適用スヘキ旨該支廳ヘ達セラル

二十四年三月札幌支廳出張所處務規程ヲ定メ三十九支廳處務規程及監督執務條規ヲ更定シ四十一年六月本局出張所處務規程ヲ定メ四十三年十二月更ニ支廳處務規程ヲ改正シ大正二年十二月又更ニ支廳及出張所ノ處務規程ヲ改メ大正三年八月十五日長官達ヲ以テ現行（大正六年）ノ帝室林野管理局支局及事務所處務規程ヲ創定シ支局長及事務所長ノ所部職員ニ關スル專行事項、管內及管外ニ出張スルノ件、長官ニ具申スヘキ事項、長官ニ經伺スヘキ事項、報告スヘキ事項、事務所長ノ長官ヘ經伺スヘキ事項等ヲ定メラル

第二節　施業

存廢區別

御料林野モ亦國有林野ヲ組換ヘタル儘ニテハ之カ管理經營ヲ爲スニ不便少カラサレハ二十五年御料局長ヨリ名古屋、靜岡兩支廳竝ニ度會事務所ニ達シテ永久御料トスヘキモノト否ラサルモノトノ區別ヲ立テ其ノ措置方案ヲ建テシメタリ當時ノ規程ヲ擧クレハ左ノ如シ

（二十五年十一月二十四日第一〇一九號甲局長ヨリ名古屋靜岡兩支廳竝ニ度會事務所ヘ達）

御料地實況調査心得

別紙ノ通相定候條來二十六年度中成功ノ積ヲ以テ調査スヘシ

（別紙）

第一條　本調査ハ各廳所ニ於テ其所轄內御料地ノ實況ヲ檢案シ併セテ諸般ノ關係ヲ審査シ永久御料トスヘキモノト否トヲ區別シ且其措置方案ヲ具スルモノトス其目的ヲ分チテ左ノ各項トス

一　御料地中絕對的ノ林地ヲ選定シ森林經濟ノ基本ヲ建ツルコト

二　現在保存林適否ヲ調査シ竝ニ將來保存林ヲ設クヘキ林野ヲ選定スルコト

三　第一項ニ屬セサル御料林野ハ現在ノ地目ニ關セス最モ適當ニ使用スヘキ方案ヲ規畫スルコト

四　御料林野ノ內收利多カラス又ハ管理ニ不便ナリト認ムルモノハ特ニ處分方案ヲ建ツルコト

五　社寺境外ノ上地林ハ委託林トスルノ適否利害ヲ審案シ其委託スヘキモノハ區域ヲ選定スルコト

六　林野以外ノ御料地ハ各使用ノ目的ヲ定メ其不用ニ屬スルモノハ處分方案ヲ建ツルコト

第二條　御料地現在ノ狀況又ハ將來施設ノ目的ニ於テ左ノ各項ニ該當スルモノハ永久存置スルモノトシ其他ハ總テ存置セサルモノトシテ調査スヘシ

但シ存置ヲ要セサルモノハ其價格ヲ調査スヘシ

一　森林經濟ニ基キ一所又ハ數所ノ林野ニ於テ施業區ヲ設ケ永久保續ノ林業ヲ施行スルニ足ルヘキモノ

二　國土保安水源涵養防風防砂風致魚附目標等ノ如キ保安林トナルヘキモノ

三　道路河渠等ニ沿ヒ木材ノ運搬貯藏保管等ノ用地ニ供スヘキモノ

四　管理又ハ執業ニ要スル官舍其他建物ノ敷地ニ供スヘキモノ

五　面積狹少ニシテ各所ニ點在シ又ハ民有地ト境界交互錯雜スルモ所產ノ物品ニ就キ著シキ利害ヲ收メ又ハ特殊ノ需用アリテ保護ヲ加フヘキモノ

六　宅地耕地牧場竹林物乾場漁業場等ニ適シ相當ノ收益アルヘキモノ

七　御料地内ニ御陵墓其他國史上著名ノ墳墓舊蹟アリト云フ傳説アルモノ

八　前諸項ノ外地方ノ狀況等ニ依リ特ニ存置スヘキ必要アリト認ムルモノ

第三條　御料地存否ノ得失遽ニ判定シ難キモノハ假ニ存置スルモノトシテ調査スヘシ

第四條　本調査ハ各廳備付ノ臺帳ニ依リ實地ニ就キテ之ヲ行フヘシ其臺帳ニ脱落誤謬アルモノハ特ニ調査ノ上併セテ其臺帳追加訂正ノ手續ヲナスヘシ

第五條　本調査ハ二十六年十二月迄ニ完了シ之ヲ局長ニ報告スヘシ

第六條　本調査ノ報告ハ左ノ各種トス

一　存置ヲ要スル御料地調査

二　存置ヲ要セサル御料地調査

三　存置ヲ要セサル御料地一筆圖

四　御料地存否區別一覽圖

五　御料地存否區別一覽表

第七條　前條ノ各報告ハ別紙第一乃至第五ノ雛形ニ依リ御料地存否區別一覽圖及表ヲ除クノ外ハ左ノ種目毎ニ別冊トシ冊中更ニ出張所ヲ以テ區別スヘシ

第一　御料林

一　供用林（一等林、二等林、三等林、未定林、員外林、元官有山林）

二　保存林（禁伐林、風致林）

三　部分林

第二　御料原野

一　原野（草生地、秣場、野地、柴草地、萱野、蒲生地、芝地等）

第三　雜種地

一　廳舍及官舍敷地並附屬地

二　林業上ノ用地（苗圃、網場、杭所場、木場等）

第八條　存置ヲ要セサル御料地一筆圖ハ一箇所毎ニ調製スヘシ其既製ノ圖面ナキモノ又ハ之アルモ實地ト差異アルモハ見取圖ヲ以テ之ニ充テ一定ノ縮尺ヲ用ヒサルモ妨ケナシ

第九條　御料地存否別一覽圖ハ縣國郡圖市町村圖等ヲ參照シ一定ノ縮尺ヲ用ヒ每出張所別紙ニ調製スヘシ其區域狹少ナルモノハ適宜之ヲ放大ニスルモ妨ナシ

本調査ハ同年直ニ著手シ二十九年ニ至リ内地ノ各御料地ニ付テ調査ヲ終了セリ然レトモ更ニ明治三十三年一月二十日第二二一號ヲ以テ御料局主事ヨリ東北ノ各事務所ニ對シテ左ノ照會ヲ發シ御料地ノ整理ニ努メタリ

御管内各御料地整理ニ關シ取調方客年八月御出京ノ節局長御示達相成候義モ有之候處左記ノ各項ニ據リ御取調ノ上至急調書御進達相成度

調書事項

一　普通御料地ヨリ世傳御料地ニ組換ヲ要スル箇所反別及理由ノ概要

二　普通御料地トシテ利用上存置ヲ要スル箇所反別及理由ノ概要

三　現在ノ保安林（社寺上地ヲ除ク）及公共用（治水護岸等ノ如キ）トシテ存置ヲ要スル御料地ノ箇所反別及理由ノ概要

四　實況調査後ニ於テ社寺ノ上地タルコトヲ發見シタル御料地ノ箇所反別上地社寺名及其關係事項

五　不要存置見込ノ御料地ニシテ拂下處分ヲ要スル箇所反別及理由ノ概要

境界踏査

御料地ニ對スル境界踏査ハ明治二十六年一月二十日第三四八六號ヲ以テ御料地境界踏査内規ヲ定メラレシ後ニ始マリ明治三十二年十二月十四日從來ノ内規ヲ廢シ第六五二二號ヲ以テ御料地境界踏査規程ヲ定メ今日ニ及ヘリ同規程ハ九章七十條ヨリ成リ其ノ第一條ニ於テ（一）御料地ト他ノ所有地トノ境界（二）世傳普通及社寺上地ニ係ル御料地間ノ境界ヲ確定スルタメ踏査ヲ行フコトヲ規定シ尚御料地内ニ於ケル國郡市町村及大字界ハ本規程ニ準シテ踏査スヘキコトトセリ而シテ其ノ業務進捗ノ狀況ハ御料林野整理ノ節ニ於テ述ヘタルカ如ク各地區々ナリシト雖モ三十八年ニ至リ大體ノ調査ヲ終了セリ其ノ後明治四十四年十二月二十九日宮内省令第十一號ヲ以テ御料林野疆界査定規則ヲ制定セラルルニ及ヒ從來ノ踏査規程ヲ廢シ越エテ四十五年三月

二十五日第一四三〇號ヲ以テ御料林野疆界査定施行手續ヲ定メ長官ヨリ支廳及京都出張所ヘ達セラル

測量

御料地ノ測量ニ關スル規程ハ境界踏査ノ規程ニ次キ明治二十七年五月二十八日第一二一七號ヲ以テ御料地測量規程ヲ定メ御料局長官ヨリ本局及地方部局ヘ達セラレタルモノヲ以テ最初ノモノトスヘシ同規程ハ五章六十八條ニ分タレ三角測量、細形測量、計算、公差等ニ關スル事項ヲ規定セルモノニテ爾來今日（大正六年）ニ至ル迄同規程ニ依リ測量業務ヲ遂行セリ

施業案編成

施業案ノ編成ニ從事セルハ明治三十二年三月御料林施業案編成準則ヲ制定シテ御料局長ヨリ地方部局ヘ達セル以後ニ屬セリ同準則ハ百五十四條ヨリ成リ森林區別、森林測量、林値調査、森林ニ關スル一般事項ノ調査、森林圖ノ調製、原簿ノ調製、作業級及作業法、輪伐期、循環期及更新期、施業期及斫伐額、斫伐ノ順序、造林、報告書ノ調製方等ヲ規定シタルモノニシテ此ノ外同年同月施業案調査員心得ヲ定メテ執務ニ關スル事項ヲ統一スルコトニ努メタリ爾來著々業務ノ進捗ヲ計リ明治四十三年五月訓令第十六號ヲ以テ御料林施業規程ヲ定メ同日訓令第十七號ヲ以テ御料林施業案編成及檢訂手續ヲ制定セラルルニ及ヒ前記準則及心得ヲ廢止セラレタリ而シテ大正五年度迄ニ北海道ノ一部ヲ除ケハ始ト之カ編成ヲ完了スルニ至レリ

林産物ノ處分

林産物ノ處分ハ多クハ從來ノ慣例ニ依リ取扱ヒ來レルモ明治三十二年御料地事業豫定簿編成心得ヲ制定セラルルニ及ヒ始メテ本業務ニ關スル各種ノ例規ヲ統一スル事ヲ得タリ今其ノ豫定簿ノ種類ヲ擧クレハ左ノ如シ

第一　收入ニ關スル豫定簿
　一　木竹收額豫定簿
　二　雜種物收額豫定簿
　三　農地雜産物收額豫定簿
　四　貸地豫定簿
　五　農地貸下豫定簿
　六　貯材收額豫定簿
　七　造材收額豫定簿
　八　農産物收額豫定簿
　九　木材保安收入豫定簿
第二　經費ニ關スル豫定簿
　一　造林豫定簿
　二　造林附帶工事豫定簿
　三　營農豫定簿
　四　官行伐木豫定簿
　　甲　造材及運材ノ部
　　乙　貯材ノ部
　五　官行間伐豫定簿
　六　木材保安豫定簿
　七　土本豫定簿

卽チ産物ノ處分ニ付テハ立木處分ト官行斫伐トニ依リ造材シ進ミテ運材及貯材迄モ實行シテ然ル後處分スルモノトノ二樣アリシヲ知ルヘク貯材ハ主トシテ熱田及豐住兩所ニ於テ施行セリ尙其ノ實行ニ關シテハ御料地事業實行報告手續ヲ翌三十三年四月ニ制定シ各般ノ成績ヲ報告セシムルコトトセリ爾後明治三十九年四月大

正二年八月等數次ノ改正ヲ加ヘテ今日ニ及ヘリ現行ノ豫定簿種類卽チ次ノ如シ

第一　收入ニ關スル豫定簿

一　木竹收額豫定簿
二　雜種物收額豫定簿
三　貸地豫定簿
四　建物貸與豫定簿
五　農產物收額豫定簿
六　造材收額豫定簿
七　製品收額豫定簿
八　貯藏產物收額豫定簿
九　木材留置收入豫定簿
十　運材收入豫定簿

第二　支出ニ關スル豫定簿

十一　造林豫定簿
十二　營農豫定簿
十三　造材及運材豫定簿
十四　製品豫定簿
十五　產物貯藏豫定簿
十六　木材留置豫定簿
十七　營繕豫定簿
十八　物件買上豫定簿

今明治三十年以降大正三年ニ至ル御料林經營ニ關スル收入及支出ヲ擧クレハ次ノ如シ

年度	收入	經費	純收入
明治三十年	九〇〇、九三五円	五四二、二三四円	三五八、七〇一円
明治三十一年	一、一〇五、四〇四	六八七、五七八	四一七、八二六
明治三十二年	一、〇一〇、二七八	六三三、七八四	三七六、四九四
明治三十三年	一、三三三、六五二	七二九、二四八	六〇四、四〇四
明治三十四年	一、一一四、二二四	八二三、四七三	二九〇、七五一
明治三十五年	一、二五七、七九〇	八五二、四三二	四〇五、三五八
明治三十六年	一、三一六、七二五	八六五、七七一	四五〇、九五四
明治三十七年	一、〇八三、四九二	九〇七、四八二	一七六、〇一〇
明治三十八年	一、一七八、九九七	八三七、六八三	三四一、三一四
明治三十九年	一、四六八、三二一	一、〇二六、九〇〇	四四一、四二一
明治四十年	二、一四九、五九八	一、〇六七、七三〇	一、〇八一、八六八
明治四十一年	一、九九一、五二三	一、一六八、二四四	八二二、二七九
明治四十二年	二、〇八一、六一四	一、三六八、九〇九	七一二、七〇五
明治四十三年	二、四二四、四〇八	一、五七四、九三八	八四九、四七〇
明治四十四年	三、〇七九、六五一	一、五五一、四一〇	一、五二八、二四一
大正元年	三、四六二、九五八	一、七五一、三〇八	一、七一一、六五〇
大正二年	三、六六二、三〇一	二、〇四〇、九三二	一、六二一、三六九
大正三年	三、七九七、七四八	二、一〇〇、八三三	一、六九六、九一五
大正四年	四、三〇九、六六一	一、九七〇、七五〇	二、三三八、九一一
大正五年	五、一七一、五八四	一、九〇七、八九三	三、二六三、六九一

第二章　民有林野ノ經營

民有林野ノ監督及指導竝之ニ基ケル整理ノ狀態ニ就テハ第二編ニ記述セルカ如クニシテ輓近之カ經營上稍々見ルヘキモノナキニアラサルモ舊藩以來特種ノ發達ヲ爲セル吉野、天龍、尾鷲等二三ノ林業地ヲ除ケハ公有、社寺有及私有ノ林野ヲ通シテ特筆スヘキ事項ナク從テ全ク組織的林業ト見ルノ價値ナキモノノミナレハ唯左ニ私有林ノ發達セル著名ナル地方ノ林業經營ノ狀態ヲ略記スルニ止メム

第一節　大和吉野郡ニ於ケル民有林ノ經營

吉野郡ハ三巴狀ヲ爲セル山脈ニ依リ吉野川、十津川、北山川ノ三流域ニ分タレ各區域ニ於ケル林業ハ古來特殊ノ發達ヲ爲シタルヲ以テ本郡ノ林業ハ之ヲ吉野林業、北山林業及十津川林業ノ三系統ト爲スコトヲ得ヘシ就中吉野林業ハ往昔ヨリ最發達セルモノニシテ其ノ生產額モ他ノ林業區域ヲ凌駕シ所謂吉野杉材ノ原產地トシテ其ノ名高シ

吉野林業ノ營マルル區域ハ吉野川流域ニシテ東西九里南北七里ニ亙リ之ヲ五郷ニ分ツ

川上郷　川上村
小川郷　高見村　小川村　四郷村　國柄村ノ内二大字
中庄郷　北龍門村　中龍門村　龍門村　國柄村ノ一部
中庄村　吉野村　大淀村　上市町　下市町ノ一部
黒瀧郷　黒瀧村
西奥郷　下市町ノ一部　白銀村　秋野村　丹生村　賀名生村　宗檜村

民有池面積三五、一四七町歩餘ニシテ内山林原野ハ三〇、七六六町歩餘ニ達ス而シテ吉野ノ地タル古來鬱蒼タル原生林ヲ以テ蔽ハレ地勢嶮峻ニシテ交通不便ナリシカハ住民ハ僅ニ近隣ノ耕地ニ粟、稗、黍等ヲ作リテ生計ヲ立ツルニ過キスシテ豐富ナル林產物ハ敢テ之ヲ顧ミルモノナク徒ニ禽獸ノ巢窟タルニ止マリキ

文祿年間豐太閤海内ヲ平定スルニ及ヒ大阪及和歌山ニ城郭ヲ築キケレハ吉野川下流附近ニ於ケル之ノ二大都市ハ年ト共ニ繁榮シ更ニ二條城ノ築營並都市ニ於ケル橋梁ノ架設等大ニ土木ヲ興シタレハ木材ノ需要歲ト共ニ進ミ延テ材價ヲ騰貴セシメ吉野地方ニ於テモ自家用材ノ剩餘ヲ出スヲ以テ足レリトセス遂ニ人工ニ依リテ森林ヲ養成スルニ至レリ是卽チ經濟的ニ杉、扁柏ノ殖林ヲ爲シタル起源ニシテ吉野林業全書ノ著者カ各郷杉、扁柏殖林ノ起源トシテ記載セルモノ等ヲ參照シ各郷ノ經濟的林業ノ始期ヲ擧示スレハ左ノ如シ

郷名	年號	距大正六年年數
川上郷	文龜	四一六年
西奥郷	寛永	二九三
黒瀧郷	慶安	二六九
小川郷	元祿	二二九
池田郷	同	二二九
國樔郷	同	二二九
中庄郷	寶永	二一三

瀧門郷	安永	一四五
北山郷	寛永	二九三
十津川郷	寛文	二五六

爾來杉、扁柏ノ植林ハ次第ニ發達セシナラムモ山林ノ所有者ト之ヲ經營スル資本家トハ必スシモ一致セサルカ爲其ノ發達ハ遲々タリシカ如シ然ルニ借地林業ノ制度興ルニ迨ヒ此ノ不調和ヲ一掃シテ竟ニ今日ノ隆運ヲ見ルニ至レリ今本制度ノ起源ヲ繹ヌルニ永祿年間ニ始マレリトノ說最多ク川上郷以外ノ林業地ニ在リテハ何レモ經濟的林業發達ノ初期ヨリ此ノ制度行ハレタリト云フ

本制度ハ立木所有者ト土地所有者トヲ異ニスルモノニシテ卽チ他人ノ土地ヲ借受ケ此處ニ林業ヲ營ム制度ナリ古ハ之ヲ歩口山歩一山ト云ヒ今日ハ多ク立木一代又ハ地上權山ト稱セリ而シテ借地林業ニ於テハ立木ヲ土地ト分離シテ賣買シ又ハ債權ノ擔保ニ供セシ習慣ハ數百年前ヨリ行ハレタルカ如ク要スルニ立木ノ所有者ハ之カ伐採ニ際シテ其ノ賣買價格ノ幾部ヲ歩口金ト稱シテ地主ニ與ヘタルモノナリ今其ノ借地契約ノ方法ヲ見ルニ大要左ノ如シ

第一　民法制定以前

一、借地期間

イ、立木一代限

借地期間ヲ植付後ヨリ伐採迄トシ伐期ノ定ラサル以上ハ此ヲ不確定ノ存續期間ト見ルヘキモノナリ

ロ、年　限

借地期間ヲ數十年又ハ數百年ト定メ一定ノ期間ヲ附スルモノヲ云フ

ハ、年限內立木一代限

此ハ前二者ヲ析衷シタルモノニシテ一定ノ年限ヲ設クト雖若シ其ノ年限內ニ立木ヲ伐採シタルトキハ跡地ハ直ニ返還セシムルモノナリ

ニ、立木二代限

植付後伐採シ其ノ跡地ニ植栽シテ再ヒ伐採スル迄ヲ期間トスルモノニテ（イ）ト同樣不確定ノ期間ナリ

ホ、永久限

借地期間ヲ定ムルコトナク永久ニ使用セシムルモノヲ云フ

二、地　代

イ、賣買代價

殖林地借受ノ際借地人ヨリ地主ニ支拂フモノニシテ之ヲ賣買代價ト稱ス其ノ額ハ土地ノ便否地味ノ良否、借地期間ノ如何ニ依リテ差異アリ前拂地代ナリ

ロ、歩口金　山役金

立木伐採ノ際豫メ定メタル伐木價格ニ對スル或歩合ノ金額ヲ借地人ヨリ地主ニ支拂フモノニシテ之ヲ歩口金又ハ山役金ト云フ其ノ額ハ地方ニ由リテ一樣ナラス且之ニ皆伐間伐共ニ仕拂フモノト皆伐ノ際ノミ支拂フモノトアリ又別ニ前年末僅少宛ノ金額ヲ支拂フモノ及伐採ノトキ價格ノ如何ニ拘ラ

ス若干金額ヲ支拂フモノトアリ

第二　民法制定以後

一、借地期間

イ、立木一代限

舊慣上行ハルルモノニシテ民法第二百六十八條ニ依ルモノ

ロ、定　期

地上權ノ存續期間ヲ一定期間ニ確定スルモノヲ云フ之ヲ年期山ト稱ス

ハ、年期內立木一代限

是ハ前兩者ヲ折衷シタルモノニシテ一定ノ年限ヲ定メ置クト雖若シ其ノ年限的ニ立木ヲ伐採シタルトキハ跡地ハ直チニ地主ニ返還セシムルモノナリ斯ク地上權ノ存續期間ヲ定メナカラ不確定ナル立木一代ニ重キヲ置キタルモノニシテ之ヲ定期ノ存續期間迄存立セシムルトキハ（ロ）ニ屬シ其ノ以前ニ伐採スレハ立木一代限ト同シキナリ而シテ地上權ノ存續期間ヲ定メナカラ立木一代ニ重キヲ置クハ法律上矛盾ノ甚シキモノト云ハサルヘカラス斯ノ如キハ成立シ得ルヤ否疑問ナリ又立木二代限永代限ハ地上權トシテ設定スルヲ許ササルニ至レリ

二、地　代

イ、前拂地代

立木一代ノ借地ニアリテハ大抵一萬本植付ノ土地（實測面積一町歩）ニ付百圓乃至三百圓ナリトス

ロ、後拂地代

古來歩口金又ハ山役金ト稱シ次ノ場合アリ

(A) 伐木價格ノ $\frac{2}{100}$ 乃至 $\frac{10}{100}$ ヲ支拂フモノ

(B)(1) 皆伐ノ際支拂フモノ

(2) 皆伐間伐共ニ支拂フモノ

(C) 毎年僅少宛支拂フモノ

皆伐ノ際其ノ價格ニ拘ハラス一定ノ金額ヲ支拂フモノ

而シテ前拂地代ト後拂地代トノ兩法ヲ併用スルコト普通ニシテ前者貴ケレハ後者廉ニ後者貴ケレハ前者ヲ廉トス然レトモ時ニ其ノ一法ノミニ依リ地代ヲ拂フモノナキニアラス近時經濟上ノ要求ト人智ノ進歩トニ由リテ歩口金ノ增額ヲ望ム者益多ク遂ニ後拂ヨリモ前拂ヲ要求シ全ク後拂ナキ借地林業ヲ行フモノアルニ至レルハ吉野林業ノ特色ヲ破壞スヘキ第一歩ナラサルカ

保護制度　吉野林業ニアリテハ殖林家ハ遠隔ノ地ニ居ルカ又ハ山林所有者ノ住居地ト山林所在地ト其ノ處ヲ異ニセルニ拘ハラス能ク完全ニ保護スルヲ得タルハ實ニ次ノ制度ニ因ルナリ

一、借地林業制度

借地林業ニ於ケル歩口金卽チ後拂地代ハ殖林ノ利益ヲ借地人ト地主トニ分收スルモノナレハ若シ其ノ山林ニシテ災害ニ罹ル時ハ借地人ノ損害タルノミナラス地主モ亦多大ノ損失ヲ招クヘシ元來歩口金ハ借地料ナルモ伐木ノ際其ノ木材ノ價格ニ應シテ一定ノ部合ヲ分收スルモノナルカ故ニ部分林ノ性質ヲ帶ヒ從テ歩口金ハ地

代ナルト同時ニ管理又ハ保護ノ報酬タルナリ而テ地主ハ時ニ個人タル事アレトモ多クハ大字又ハ區ナルカ故ニ歩口金ハ村又ハ區ノ共有財産ニシテ林木ノ生育シテ備畜ヲ増加スルト共ニ年々其ノ財産ヲ増殖スル事トナルヘシ斯クテ村、區費ヲ償ヒ剰餘アレハ各戸ニ配分スルヲ以テ地元住民ハ相一致シテ森林ヲ巡視警戒シテ深厚ナル注意ヲ拂ヒ遂ニ今日ノ如キ旺盛ナル愛林ノ念ヲ涵養シテ吉野林業ノ特色ヲ發揮スルニ至レルモノトス

二、山守制度

山守ハ吉野ニ於ケル唯一ノ管理保護ノ機關ニシテ植林家ハ村又ハ區毎ニ一人二人又ハ三人ノ山守ト稱スル監守人ヲ置ク山守ハ地元住民中ニテ最信用ト德望トアルモノヲ選ミ是ニ保護撫育等一切ヲ囑託スルコトヲ慣習トス故ニ山守ハ山林保護ニ全責任ヲ帶ヒテ監守ニ從事シ之ニ對スル報酬ハ借地林業ト同シキ制度ヲ執リ山林ノ皆伐又ハ皆伐間伐ニ際シ若クハ山林賣却ノ時ニ方リ該價格代金ノ百分ノ二以上百分ノ五ヲ給與ス故ニ監守料ハ歩口金ト同樣ノ制度ナリ山守ハ林主ニ代リテ山林ヲ巡視シ植栽手入間伐皆伐等ニハ勞働者ヲ指揮監督シテ山林ノ修理、間伐ノ期節ヲ失セサル樣ニ留意シ盜伐火災ヲ未前ニ防キ一朝非常ノ炎變アレハ臨機應變ノ處置ヲ取リテ保護監守ノ責任ヲ完フス往昔山守ハ慣習上其ノ職ヲ世襲的ニ子々孫々ニ傳ヘ一人ニテ廣大ナル山林ノ監守ヲ爲スカ故ニ其ノ得ル所ノ利益安全ニシテ且莫大ナリ從テ其ノ職務ニ忠實ニシテ殖林家ト均シキ尊敬ヲ受ケ比較的村區民ノ上位ニ立チ常ニ林主ト住民トノ間ニ介在シテ兩者ノ信賴ヲ受ケ完全ニ保護的職務ヲ遂行スルヲ得借地林業制度ト相待チテ吉野林業ヲ盛ナラシムルニ至レルモノトス

材木組合

吉野ニ於ケル材木組合ノ起源ハ同地方ニ於テ天然林ヲ伐採シテ搬出シタル時代ニ始マリシモノノ如ク當時ニアリテハ各郷ニ總代ヲ置キテ事務ヲ掌理シ木材ノ檢査及河川ノ修理ヲ行ヒタルカ如シ其ノ後漸次事業ヲ擴張シテ貯木場ノ設置、河川ノ浚渫、水害ノ防禦等ヲ爲スニ至リ永祿年間ノ頃ヨリ材木改所ヲ作リテ川上諸方產出ノ流材ヨリ口銀ヲ取立テタリ是レ實ニ吉野ニ於ケル木材課稅ノ始ニシテ材木組合ノ濫觴ナリ當時川上郷和田村、中庄郷樫尾村南村ノ郷士等相謀リ私立團體ヲ形成シテ之ヲ施行シ口銀ハ曾木役又ハ白木口銀ト稱シタリ

文祿四年豐太閤ノ時五條代官（宇智郡五條町）藤田又右衞門ヲシテ材木口役ト稱シテ輸出木材ニ課稅セシムルコトトナリ卽チ吉野飯具ニ派出所ヲ設ケテ流材ノ檢査ヲ爲シ之ニ賦課シ同時ニ白木口銀ヲ廢止セリ其ノ後慶長年間德川氏ノ時材木ノ十分一ヲ年貢トシテ伐出ノ際ニ取立テ內幾分ヲ百姓ノ助成トスヘキ旨ヲ達セラレ降テ寛永年間代官小野總右衞門口役銀取立方ヲ改正シ夫ヨリ紀州侯和歌山城ニ移封ノ頃ヨリ口木ト稱シ之ヲ見取一割ト唱ヘテ徵稅セリ厥後寛永年間代官本田平八郎吉野材木運上銀ト稱シテ之ヲ徵セリ又文化年間ニ至リ口役銀ハ公儀ヨリ取立ツルコトトナレリ

以上ノ口役銀（通上銀）ハ官民相議シテ一部ヲ官收トシ一部ヲ民間ニ與ヘテ組合ノ費用ニ充用セリ此ノ制度ハ明治維新後迄繼續シタリシカ明治八年地租改正ノ際材木通上銀（口役銀、材木口銀）ハ廢止セラレタリ然ルニ同九年三月ニ至リ改メテ私立團體ト爲シテ材木方總代ヲ置キ各郷ヨリ產出ノ木材ニ對シ賣上代金ノ百分ノ五ヲ開產金ト稱シテ徵收シ之ヲ道路ノ改築、河川ノ浚渫等ニ要スル經費ニ充テタリ是レ現今ニ於ケル組合ノ基礎ヲ爲セルモノナリ

後明治十九年ニ至リ大阪府知事ノ認可ヲ得テ吉野郡材木產業組合規約百十ケ條ヲ作リテ吉野材木產業組合ト稱シ爾來吉野村飯具ニ本部ヲ各郷ニ支部ヲ置キテ組合ノ事務ヲ管掌スルニ至レリ明治二十七年更ニ規約ヲ改

正シ奈良縣知事ノ認可ヲ受ケテ開産金ヲ廢シ各村ニ於テ之ヲ特別税トシテ徴收シ町村財政ニ編入セリ後明治三十三年法律第三十五號重要物産組合法ノ發布セラルルヤ之ヲ改メテ法人組織トシ同三十五年七月遂ニ農商務大臣ノ認可ヲ經テ各郷ノ支部ハ獨立セル吉野材木同業組合ヲ設立シ同年十一月再ヒ其ノ筋ノ認可ヲ受ケテ從來ノ本部ヲ各郷ノ聯合會トシ吉野材木同業組合聯合會ノ名稱ノ下ニ由緒深キ飯具ニ聯合會事務所ヲ置キタリ今本組合ノ目的及業務ヲ述フレハ次ノ如シ

一、聯合會ノ目的

本會ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ノ增進ヲ圖リ吉野材木ノ聲價ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

二、聯合會ノ業務概目

イ、各組合ヲ監督シテ其ノ事務ヲ統一スルコト

ロ、各組合ノ地區外ニ屬スル河川ノ浚渫ヲ爲シ其ノ他運輸上ニ關シ共通ノ利便ヲ圖ルコト

ハ、各組合ノ地區外ニ屬スル水難ノ防備及其ノ救護ヲ爲スコト

ニ、各組合共通ノ貯木場ヲ設備シ及其ノ管理ヲ爲スコト

ホ、各組合共通ノ利益トナルヘキ事業ヲ施設シ又ハ之ヲ保護奬勵スルコト

ヘ、販路ノ擴張ヲ圖ルコト

ト、各組合共通ノ問屋ヲ指定スルコト

チ、各組合間及組合ト個人間ニ生シタル紛議ノ調停又ハ仲裁判斷ヲナスコト

リ、其ノ他本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル事項ヲ行フコト

三、各組合ノ目的

當組合ハ組合員共同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ノ增進ヲ圖リ吉野材木ノ聲價ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

四、各組合ノ業務概目

イ、粗製濫造ヲ防遏スル爲貨物ノ檢査ヲ爲スコト

ロ、貨物製作ノ尺度容積ノ標準ヲ定ムルコト

ハ、共同林道ノ開修ヲナスコト

ニ、樽筏ヲ流通セシメ得ヘキ程度ニ於テ河川ノ浚渫ヲ爲シ及堰溜樋門ノ設備ヲナスコト

ホ、貯木場及繫留場ノ設備ヲ爲スコト

ヘ、水難ノ防備及救護ヲ爲スコト

ト、問屋及運送業者ヲ指定シ貨物保管並販賣ノ手數料及貨物取扱ニ關スル方法等ヲ協定スルコト

チ、販賣、運送上ニ有利ナリト認ムル事業ヲ保護奬勵スルコト

リ、營業上ニ關スル紛議ヲ調停シ又ハ仲裁判斷ヲナスコト

ヌ、勞力者ノ保護取締ヲ爲スコト

ル、其ノ他組合ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル事項

以上略述シタル借地林業、山林保護及材木組合ノ三制度ハ吉野林業ノ發達ヲ促シ今日ノ盛況ヲ示スニ至リシ大原因ニシテ造林利用ニ關スル技術ニ付テモ其ノ進歩見ルヘキモノアリ常ニ全國ノ模範トシテ其ノ盛名ヲ馳セタリ今四十年ヨリ大正元年ニ至ル六ケ年ニ產出セル木材ノ價格ヲ見ルニ年々約百五十萬圓内外ニ達シ其ノ販路ハ和歌山、灘地方、大阪、中國、四國、九州等ニシテ就中灘地方ハ其ノ重ナル消費地ナリ

年次	杉	檜	酒樽	樽丸	計
明治四〇	一、一九四、四五三円	二三五、三六六円	一九、〇〇〇円	五三、八〇〇円	一、五八八、八一九円
四一	六四八、七〇五	一六二、一七六	二三、三四二	六〇八、四〇〇	一、五五二、六三三
四二	六四六、五三〇	一六一、六三三	二一三、三九九	六〇九、〇八八	一、五四四、六四七
四三	六〇二、〇〇八	一五〇、五一〇	二五九、六九六	七三七、〇四〇	一、六四九、二八四
四四	五九四、九五六	一五一、二四〇	一七六、四〇〇	五三二、八四〇	一、四四五、四三六
大正元	五七六、九一七	一四四、二九	一八七、九五〇	四七一、三〇〇	一、三九〇、三九六

造林方法　種子ヲ採取スヘキ母樹ノ選定、種子採取ノ期節及方法、種子調製及精選、播種床替等ニ至ル迄大抵杉扁柏林ノ造成ニ關スル模範トシテ廣ク一般ニ紹介セラレ今ヤ世人ノ周知スル所ナレハ敢テ之ヲ記セサレトモ要スルニ我國ニ於ケル造林技術ノ泉源タリシモノト稱スルヲ得ヘシ而シテ當地方ノ最特徴トスル所ハ密植主義ニシテ一町歩約一萬本ヲ植フルヲ普通トス然レトモ近年各地方ニ於ケル造林事業ノ發達ニ伴ヒ間伐材ノ生産モ亦從テ多額ニ上リ吉野地方ノ專占ヲ許ササルニ至リシヨリ多少疎植ノ傾向ヲ示シ一町歩六千本乃至八千本ヲ植栽スルノ狀態ナリ

撫育法　下刈ハ稍丁寧ナリ又技打ハ密植ノ結果屢々之ヲ行ハス杉ハ一回扁柏ハ三回位ヲ普通トス其ノ施行年次季節等大抵次ニ示スカ如シ

區別	年次	回數	季節	工程	工賃	備考
杉枝打	九年目或ハ十年目	一	二月或ハ十月頃	二五工	一七、五〇〇円	一工賃金約七十錢
同	十年目	同	同	三〇	二一、〇〇〇	
檜枝打	十五年目	同	同	一本二台七屋		
	十八年目	同	同	一〇		
	二十二年目	同	同	一五		
	三十年目	同	同	二〇		
	四十年目	同	同	二五ー三〇		

吉野ニ於ケル間伐ハ最集約ニシテ北村林學士ノ調査ニ依レハ間伐年度、本數歩合等次ノ如シ

間伐回數	林齢	總本數	主林木	間伐木數	總林木數ニ對スル間伐木數ノ%	備考
一	一二	八、五九九	六、八七五	一、七二四	二〇、〇	
二	一四	六、八七五	五、四五七	一、四一八	二〇、六	
三	一七	五、四五七	四、一六六	一、二九一	二三、七	
四	二〇	四、一六六	三、一九一	九七五	二三、四	
五	二四	三、一九一	二、四五三	七三八	二三、一	
六	二九	二、四五三	一、八八五	五六八	二三、二	
七	三五	一、八八五	一、四五一	四三一	二二、九	
八	四二	一、四五四	一、一三〇	三二〇	二二、三	
九	五〇	一、一三〇	八八八	二四二	二一、四	
一〇	五九	八八八	七〇七	一八五	二〇、四	
一一	七〇	七〇七	五五八	一四九	二一、一	
一二	八二	五五八	四四八	一一〇	一九、七	
一三	九六	四四八	三六一	八七	一九、四	
一四	一一二	三六一	二九二	六九	一九、一	
一五	一三〇	二九二	二三八	五四	一八、五	
皆伐	一五〇	二三八	一九五	四三	一八、一	

森林利用　吉野ニ於ケル森林産物ノ主ナルモノハ杉、檜ノ丸太材樽丸酒樽其ノ他天然林、開拓ニ依リテ産スル樅桐ノ角及板ニシテ副産物トシテハ杉檜ノ樹皮及種子等トス今古來ヨリ慣用シ來レル材種ノ名稱等ヲ擧クレハ左ノ如シ

材種別名稱	直徑 末口	元口	中央	長サ	一玉材積（六尺）	備考
東木	〇、七寸	二、七寸	一、七寸	一四尺	〇、〇三二	
二サシ	一、一八	三、一八	二、一八	一〇	〇、〇二三	
三サシ	一、一八	四、二	三、一〇	八	〇、〇一八	平均
二小	二、二八	四、八	三、一八	七	〇、〇一六	
三小	三、二八	五、二	四、〇	一四	〇、〇八六	
二小中	四、〇〇	六、〇〇	五、〇〇	二一	〇、一四八	
三小中	四、〇〇	六、六	五、八	一四	〇、一五九	
二中	五、〇〇	七、〇	六、〇〇	二一	〇、二六四	
三中	五、〇〇	七、〇	六、〇〇	二一	〇、二五三	
細	六、七	八、一	七、四	一四	〇、四一二	
十	八、〇	九、四	八、七	一四	〇、三七〇	
八	一、〇〇	一、二	一、〇六	一四	〇、五九七	
六	一三、三	一四、五	一三、九	一四	〇、六〇二	
四	二〇、〇	二一、〇	二〇、五	一四	〇、八三二	
				一四	一、二三六	
				一四	二、一二五	
				一四	四、六二一	

次ニ伐木ニ關スル工程費用ヲ示セハ左ノ如シ

種別	一日工程		一本伐木賃	一石伐木賃	一日賃金	備考
東木	本数	石数				
一五〇	三、四〇	〇、六銭	二六、八銭	九〇銭		
二サシ	一〇〇	八、五二	〇、八	九、四	八〇	
三サシ	八〇	一一、九〇	一、一	七、四	八八	
二小	八〇	一五、一七	一、〇	五、三	八〇	
三小	六〇	一八、九四	一、四	四、四	八四	
二小中	四〇	二四、七七	二、〇〇	五、三	八〇	
三小中	四〇	二四、七七	二、〇〇	三、三	八〇	
二中	二五	一八、三六	三、〇〇	四、一	七五	
三中	二五	二九、七〇	三、〇〇	二、五	七五	
細	一五	二七、〇〇	五、〇〇	二、八	七五	
十	一二	三四、四二	六、〇〇	二、一	七二	
八	六	一五、二五	一四、〇〇	三、三	八四	
六	四	二八、八八	二〇、〇〇	二、七	八〇	
四	二	三一、九四	四五、〇〇	二、八	八〇	
平均		二〇、九六		五、九		

丸太ノ内一二回間伐材ヨリ製スル錢丸太五六回目ノ間伐ヨリ製スル洗丸太等ハ從來吉野地方ノ特産タリシモノニシテ洗丸太ハ大阪地方ニ清木（キヨギ）ト稱シ二間半以下ノモノハ床柱ニ三間以上ノモノハ椽桁又長押等ニ用ヒラレ風流人ノ嗜好ニ適セリ今其ノ木取寸法等ヲ示セハ次ノ如シ

末口	長サ	一工ニ付仕上ケ得ル工程	一工賃金	大阪ニテノ價格一本	備考
四寸乃至四寸五分	一丈	二〇本—二五	四〇	〇、三〇—一、五〇	
	二間	一五—一六	同	一、二〇—三、〇〇	
	二間半	一二—一三	同	二、〇〇—四、〇〇	
	三間	九—一〇	同	三、〇〇—五、〇〇	

	四間五間	六―七四―五	同同	四、五〇―七、〇〇五、〇〇―一〇、〇〇		

錢丸太ハ大阪地方ニ於テ天井桧木庇桧木又ハ格子ヲ作ルニ使用セリ其ノ大サ等次ノ如シ

末口直徑	長サ	一束ノ本數	一束ノ重量	川上ヨリ大阪迄ノ運賃	備考
一、五	一四尺	八―九	一〇貫	二五錢	
一、〇	一〇	一二―一六	一〇	二五	
〇、八	八	三〇	一〇	同	
〇、七	七	三〇	一〇	同	

運材方法　陸上運材法トシテハ釣出シ、肩上ケ持、肩上ケ曳、背負出シ、地車出シ、木馬出シ、修羅出シ、車輛運搬等ヲ併用セラル又水路運材法トシテハ管流及筏流ノ二法ニ依レリ而シテ筏流ハ吉野地方ニ最多ク用ヒラルル運材法ニシテ上流又ハ支流ノ川幅狹ク水量少ナキ處ニアリテハ堰ヲ築設シテ水流ヲ停滯セシメ斯クテ一時ニ堰ヲ開キテ水量ヲ增シ漸次下方ニ流下セシムルノ方法ヲ採レリ筏ハ上床下床ノ二樣ニ區別シ上床ハ幅四尺トシテ上流ヲ下ルニ用ヒ下床ハ幅八尺トシテ下流ヲ下ルニ用フ又筏ノ名稱及柵ミ方等次ノ如シ

筏ノ名稱	上一床本數	柵ミ方
二小サシ	一〇〇―一二五	五重　一重二〇―二五トシ下三重ハ元チ先ニシ上二重ハ末チ先トス上荷三―五本
三小サシ	一〇〇―一二五	同
二小	五六―六四	四重　一重一四―一六本下二重元先上二重末先上荷二―三本
三小		三重　同
二小中		二重　一重一重一〇本宛下二重元先上一重末先上荷一本
三小中		二重　同下一重元口先上一重末口先上荷一本
二中		一重　同六本併ヘテ柵ミ上荷一本
三中		六本　同五本上荷ナシ
六本結		四本　同
五本結		三本　同一重三本
四本結		二本　同上荷ナシ
三本結		同
二本結		

而シテ筏一鼻ハ二間ナレハ十五床（上床）トシ長三十間トナリ三間床ナレハ八床ニ二間床三ヶ附加シ計十一床トシ又三十間ノ長サト爲スコト普通ナリ

北山林業ノ行ハルル區域ハ北山川流域ニ於ケル一帶ノ山地ニシテ北山川ハ源ヲ大臺ヵ原山及伯母峰ニ發シ南下スルコト二十餘里ニシテ紀伊國川合ニ至リ十津川ニ合シ熊野川トナリ新宮港ニ注ク古來此ノ間ヲ二郷ニ分チテ上組及下組ト呼フ

上組　西原、小瀨樣本（小瀨ト樣本トハ昔ハ二村ナリシカ今ハ合併シテ小樣ト云フ）川合、白川

下組　上池原、下池原、池峰、寺垣內、裏田、佐田、上桑原、下桑原

大瀨、前鬼山

明治二十一年町村制實施後ハ上組ヲ上北山、下組ヲ下北山村ト改稱セリ今該地方ニ於ケル人造林ノ起源ヲ繹

スルニ杉ハ二百十五年檜ハ百四五十年前ニアルカ如シ又本林業地ニ於テモ材木組合ノ制度アリシモ規模小ニシテ經營ノ資力ニ乏シク到底吉野材木組合ニ比スヘクモアラス而シテ造林樹種ノ杉、扁柏タルコトハ吉野地方ト異ナラサルモ市場遠隔ニシテ搬出不便ナルト制度ノ相異ナルトニ依リ吉野林業ニ比較スレハ極メテ粗放ニシテ造林ヲ始トシ間伐、主伐、造材及運材等ニ至ル迄悉ク其ノ趣ヲ異ニセリ

十津川郷ニ於ケル林業ハ北山郷ト大同小異ナルヲ以テ之ヲ省略ス（以上吉野郡ノ林業沿革ハ主トシテ市島西垣兩林學士ノ調査ニ依レリ）

第二節　紀伊國尾鷲地方ニ於ケル民有林ノ經營

紀伊國ハ往古木ノ國ト稱シ鬱蒼タル美林ニ富ミ我國ニ於ケル林業ノ先進地トシテ其ノ名天下ニ布ク尾鷲地方ハ卽チ奥熊野ト稱セル地方ノ一部ナリ古昔ハ天然林多キヲ以テ敢テ人工ニ依リ樹木ノ保護繁殖ヲ計リシコトナカリシモ今ヲ距ルコト二百八十餘年前寛永年間ニ至リ始メテ杉、扁柏ノ植栽ヲ行ヒ玆ニ人工造林ノ端緒ヲ開ケリ然レトモ當時尙天然林ノ繁殖區域廣大ニシテ人工ノ造林ハ僅ニ一部ノ地ニ過キス

尾鷲ノ地タル東方熊野浦ニ面シ海運ノ利頗ル多ク當時交通機關ノ不備ナリシ時代ニアリテモ能ク船舶ノ力ヲ借リテ林產物ヲ容易ニ東京、兵庫、大阪地方ヘ輸送セリ故ヲ以テ此ノ地方ニ於ケル林產物ハ早クヨリ市場ニ顯ハレ年ヲ追ヒテ需用ヲ增シ從テ原產地ニ於ケル造林モ亦擴張シ從來廣漠タル天然林ハ漸次整然タル杉、扁柏ノ人工林ト化セリ而シテ初メ人工造林ノ行ハレシ頃ニハ樹種ハ主トシテ杉ニ限ラレシモ中ニ就キ往々杉樹ノ生育不良ノ場所アリシヲ以テ之ニ扁柏ヲ混シテ養成スルヲ利トシ嘉永年間以後人工林ハ悉ク此ノ混淆林ニ變セラレ以テ今日ニ及ヘリ

斯クテ此ノ地方ニ於ケル造林用樹種ハ杉、扁柏、松ノ三者トナリ之カ混淆ノ部合ハ扁柏ハ杉ヨリ多ク其ノ產出量ハ扁柏ハ遙ニ杉ヲ凌駕スルニ至レリ左レハ尾鷲ノ林業ハ扁柏ヲ以テ代表セリト云フモ不可ナカルヘシ殊ニ其ノ造林方法ノ如キモ昔ハ概ネ疎植ニシテ六七十年ノ伐期ヲ以テ更新セシト雖木材需用ノ增加ト材價ノ騰貴トニ由リ近時栽植本數ヲ密ニシ伐期モ四五十年ニ短縮スル等施業方法モ亦漸ク集約トナレリ今其ノ林業經營ニ關スル重要事項ヲ擧クレハ次ノ如シ

林業夫ノ組織　尾鷲地方ニ於ケル林業ハ其ノ起因頗ル遠ク從テ之カ經驗ニ富メルモノ甚多シ而シテ林業上主要ナル實務ニ當ルモノハ皆地方人民ニシテ常ニ森林ノ貴重ナル所以ヲ目擊スルヲ以テ自然ニ愛林ノ思想湧起シ樂ミテ其ノ業ニ從ヘリ而シテ近時林業發達ノ結果深山幽谷ニ於ケル森林利用ノ途開ケ諸方ヨリ林業夫トシテ來リ投スルモノ少ナカラス卽チ木挽夫ハ伊勢地方ヨリ木馬運搬及先山ノ仕事ヲ爲スモノハ土佐地方ヨリ木材擔出シ運搬ヲ爲スモノハ藝州地方ヨリ來ルモノ多シ是等ノ人夫ハ之ヲ土著ノ林業夫ニ比シ業務ヲ忽ニスルノ風アルヲ以テ監督ヲ嚴ニスルノ必要アリ是ニ於テ林主ハ各種ノ業務ヲ監督セシムル爲所有山林面積ノ廣狹ト事業ノ種類トニ應シテ數名ノ小頭ヲ置ケリ是等ハ何レモ數代恩顧ノ常傭人夫中品行方正ニシテ著實且經驗ニ富ミタル者ヲ選ヒテ之ニ充ツルコトトセリ而シテ其ノ執ル所ノ業務ハ或ハ人夫ノ役割ヲ定メテ之ヲ監督シ或ハ請負業ノ出來高ヲ檢シテ賃銀ヲ定メ或ハ伐木ヲ爲スニ先チ立木ノ材積ヲ見積リ時々山林ヲ巡視シテ被害ノ有無ヲ檢スル等ノ事ヲ行ヘリ其ノ他每夕執業地ヨリ歸レハ必ス傭主ノ宅ニ集リテ其ノ日ノ成績及人夫ノ姓名、員數、賃銀等ノ報告ヲ爲シ且翌日施行スヘキ順序ヲ定ムルヲ常トス又常傭夫ハ隨意ニ雇立ニ就キテ勞銀

ノ仕拂ヲ求メ雇主ハ之ヲ小頭ノ報告人名ニ對照シテ之カ支拂ヲ爲セリ而シテ出來高拂ノ事業ニアリテハ小頭ニ於テ成績ノ檢閲ヲ遂ケ證明ノ爲支拂請求ノ切符ヲ發行シ人夫ハ雇主ノ許ニ至リテ支拂ヲ受クルコトトセリ小頭ノ下ニハ各種ノ人夫アリテ所要ノ事業ニ當ラシム

尾鷲港山林物産改良組合　本組合ハ業務ノ著實ヲ旨トシ山林物産ノ製法ヲ改良シ販路ノ擴張ヲ圖ルヲ以テ目的トシ尾鷲南浦尾鷲中井浦天滿矢ノ濱村向井村大曾根浦ニ於テ木材、木皮、薪炭等ノ商業ヲ爲スモノヲ以テ組織ス又組合規則ハ六十二條ヨリ成リ目的ヲ達スルニ必要ナル事項ヲ規定セリ其ノ他組合役員處務規程、組合會議細則等ヲ定メテ執務ノ便ヲ圖レリ

第三節　天龍川沿岸ニ於ケル民有林ノ經營

天龍川筋ニ於ケル林業發達ノ由來ハ記錄ノ徵スヘキモノナク漠トシテ考フヘカラスト雖彼ノ秋葉神社植林ノ模範ト地方人口ノ增加及交通ノ利便トハ相待テ之カ開發ヲ促進シタルモノノ如シ卽チ一ハ南方平坦ノ地ヨリ漸次北方ニ及ヘルモノニシテ周智盤田ノ兩郡ニ屬シ一ハ西北方三河國ニ接スル交通ニ便利ナル部分ナリ其ノ始メ木材ノ需用少ナキ時代ニ於テハ山間僻陬ノ常トシテ住民ハ燒畑耕作ヲ爲シテ食ヲ得ルノ傍僅ニ天然生樹木ヲ伐採シテ之ヲ販賣シタルニ過キサリシカ德川氏覇府ヲ江戸ニ開キテ大ニ土木ヲ起スヤ頓ニ木材ノ需用ヲ來シ從テ大ニ林業ノ發達ヲ見ルニ至レリ今此ノ地方ニ於ケル二百年以前ノ建築ヲ見ルニ其ノ用材多クハ欅椎ニシテ松、雜木等ヲ混用シ欅ハ柱梁等ニ椎ハ床板、板ノ間ニ松ハ上道具ニ使用セラレタリ蓋シ二百年前ニハ杉、扁柏等ノ建築ニ適スル樹木乏シク爲ニ附近一帶ニ繁生セル欅、椎雜木等ニ依リシモノナルヘシ又現ニ秋葉神社ニハ樹齡四百三四十年ニ達スル杉ノ大木アリテ其ノ種子ハ遠ク紀州熊野邊ヨリ傳ヘタリトノ口碑ニ徵スルモ當時此ノ地方ニ杉ノ繁殖ヲ圖ルモノ少ナカリシヲ推知シ得ヘシ然ルニ其ノ後江戸地方ニ於テ「コケラ」板ノ需用多キヲ加フルニ至リ之ニ應セムカ爲處々ニ杉林ノ植栽ヲ見ルニ至レリト云フ

明治十七年農商務省ニ於テ林產物共進會ヲ開催セシ時盤田郡龍川村ヨリ天正年間（約三百四十年前）ニ植栽ノ人工木材ヲ出品セシ事アリ又同地方ニハ現ニ樹齡百五六十年ノ人工林ヲ存スル等ノ事實ニ徵スルモ既ニ三百年前ニ於テ幾部分ノ植林ヲ開始シ百五六十年前ヨリ漸ク盛トナリシヲ知ルヘシ然レトモ其ノ初期ニ於テハ唯自家用ノ目的ヲ以テ交通ノ便ナル地方ノ雜木林中ニ燒畑ヲ行ヒ其ノ跡地等ニ自然生ノ苗木ヲ植栽シタルニ過キス後江戸深川ニ材木市場ヲ開キ天龍川口掛塚港ヨリ帆船ヲ以テ江戸ニ輸送スルニ及ヒ始テ收利ノ目的ヲ以テ杉、扁柏ノ植栽ヲ行ヒ天保年間（七八十年前）ヨリ大ニ地方民ノ注意ヲ喚起シ更ニ維新後木材需用ノ盛ナルニ及ヒ燒畑漸次減少シ杉、扁柏ヲ植栽シテ森林ニ復舊シ雜木林ノ如キ伐採後直ニ杉、扁柏ノ人工林ニ改良セル等著々改善ノ步ヲ進メ竟ニ今日ノ如ク本邦三大美林ノ名聲ヲ博シテ每年百萬圓以上ノ用材ヲ出シ天龍川本支流域十四ケ村ニ於ケル杉、扁柏林面積ハ約四萬二千六百四十七町步現在蓄積千五百八十四萬五千尺締ニ達セリ而シテ天龍川ノ上流ニ溯ルニ從ヒ幼齡林大區域ヲ占ムルノミナラス益新植林ヲ增シツツアルヲ以テ本流域ノ杉扁柏林ノ面積及備蓄材量カ年ト共ニ劇增スルコトヲ知ルヘシ又彼ノ有名ナル金原明善翁ノ造成セシ瀨尻八百町步ノ御料地及ヒ千二百町步ノ疏水財團林竝同氏所有福澤京丸等各數百町步ノ大植林ハ何レモ此ノ流域ニ在リテ嶄然頭角ヲ顯ハセリ古來此ノ地方ニ於ケル植林ノ方法ハ專ラ生育ノ迅速ヲ期セムカ爲ニ疎植ヲ主トシテ七八尺乃至八九尺ノ距離ヲ存セシカ輓近ニ至リテ多少密植法ヲ行ヒ六七尺距離ノ植栽ニ改メタルモ既往成立ノ材質ハ概

シテ不良ノ傾向アルヲ免レス且ツ輓近木材ノ要用增加スルト林業經濟ノ逼迫トニ依リテ適當ノ伐採期ヲ待ツノ遑ナク從テ二十五年乃至三十五年ニ達スレハ卽チ之レヲ伐採スルヲ以テ多クハ楯材、板材板割材等ノ小材ヲ出スニ過キス然カモ尙ホ其ノ林業上ノ利益莫大ナルヲ以テ地方住民皆之レニ依リテ生計ノ資ト爲スニ至レリ

第四節　京都地方ニ於ケル民有林ノ經營

臺杉林

臺杉作業ヲ以テ著名ナル所謂北山トハ京都市ノ西北約三四里ニ在ル葛野郡小野郷、中川、梅ヶ畑村ノ總稱ニシテ臺杉ノ栽培地ハ此ノ北山一帶及愛宕郡鷹ヶ峰村、北桑田郡細田、黑田、周山、山國ノ各村ニ亙リ其ノ面積凡ソ四百二十餘町歩ニ達ス就中栽培盛ニシテ良材ヲ產スルヲ北山一帶殊ニ中川村ヲ最トス是レ蓋シ臺杉ヲ目シテ北山臺杉ト稱スル所以ナルヘシ

栽培ノ起原ヲ稽フルニ桓武天皇延曆十三年平安奠都ノ際北桑田郡山國郷（現今ノ山國村及黑田村）ヲ御杣御料地ト定メラレ內裡御造營ノ用材ヲ伐採シ大堰川ニ依リ筏トシテ京都ニ搬出セラレタリ是レ實ニ該地方林業進展ノ起源ニシテ爾來京都ノ繁榮ニ伴ヒ大ニ木材ノ需要ヲ增加シ從テ造林ノ必要ヲ感スルニ至リ後小松天皇應永年間ニ於テ杉ノ臺木作（株杉ト稱ス）ヲ始メ茶ノ湯ノ倍々流行シタル室町時代ニ及ヒ茶室ノ建築用材トシテ臺杉丸太ノ需用盛ナリシカハ倍々斯業ノ發展ヲ來タシ應仁兵亂ノ後ニ於テモ次第ニ需要ヲ增加シ漸次本林業ノ區域ヲ擴張スルニ至レリ殊ニ中川村ニテハ今ヨリ二百十餘年延寶五年土地ノ福岡伴右衞門ナルモノ自己所持地ニ白杉苗若干ヲ挿植シ北山丸太ヲ養成シタルヲ中興トス現今尙該村及其ノ附近ニ於テ三百餘年ノ臺株ノ存スルヲ見レハ其ノ起源ノ遠キヲ推知セラルヘシ

北山杉ノ種類及材質　北山杉ニ四種アリ枝葉ノ特徵及材質左ノ如シ

一本白（ホンシロ）　葉柔軟附著粗ニシテ色淡ク抽穗、枝張リ共ニ惡シク材質堅緻色白クシテ光澤アリ枝跟ノ恢復良好ナリ磨丸太ニ仕上龜裂ヲ生スルコト少ナク柱用トシテ最適ス材質ヨリ謂ヘハ本種ヲ第一位トス

一峰山白（ミネヤマシロ）　葉ハ綠黑色ニシテ短剛枝ノ附著密蘂枝多ク生ス生長力ハ本白ニ比シ稍良好ナリ枝跟ノ恢復緩漫故ニ柱用トシテ不適當ナリ

一鬼灯白（ホヽヅキシロ）　葉細長色淡ク幼時ニ於ケル上長生育ハ本白ニ倍セルモ穗先少シク歪ムカ故ニ丸太用トシテ不可ナリ材質ハ堅緻色澤共ニ前二者ニ劣リ專ラ垂木用トシテ栽培セラル

一柴原（シバハラ）　葉ノ附著粗ニシテ剛硬普通ノ杉ト大差ナキモ抽穗稍良好ナリ材質ハ四種ノ中最劣リ丸太トシテ使用セラル

栽培法　苗木育成ニ播種插木ノ二法ヲ用ユ播種法ニ用ユル種子ハ主トシテ柴原ヨリ採取ス他ノ種類ハ結實少キカ爲實用ニ適セス此ノ法ニ依リ蕃殖セシモノハ材質色澤共ニ惡シク且變節スルモノアルヲ以テ當事者ニ賞用セラレス然レトモ普通ノ伐期ヨリ十數年長期ノ伐採期ヲ採用スルトキハ挿木ニ讓ラサル良材ヲ得ルコトアリ

挿木法ニ在リテハ五月中旬（八十八夜前後）元氣旺盛ナル母樹ヨリ三年枝ヲ長サ一尺乃至一尺二寸ニ切斷シ先端ヨリ四五ノ支枝ヲ殘シテ他ノ枝葉ヲ除去シ枝ノ基部ニ於ケル裏面ノ側ヲ一二寸ノ長サ丈ケ少シク木質ヲ削ルカ如ク殺キ鬚根ノ發生ヲ助長ス（若シ殺キ方深ク心材部ニ及フトキハ却ツテ鬚根ノ發生ヲ阻害ス）而シ

テ其ノ部分ヲ赤粘土ニテ堅ク包握シ畑地ヲ耕耘シテ此ニ併列シ土ヲ覆フ其ノ他日覆施肥除草等ニ關シテハ一般ノ挿穂ノ取扱ニ異ナラス而シテ二ケ年間据ヘ置キ三年目ニ一町歩三千五百本内外ヲ標準トシテ山地ニ移植ス

植栽後ニ於ケル手入其ノ他ハ丸太仕立ト垂木仕立トニ依リ異ナリ丸太仕立法ニ在リテハ植栽後八九年ヲ經テ樹幹一間餘ニ伸長シタル時ヲ見計ヒ第一回ノ枝打ヲ行フ其ノ方法ハ先ツ地上ヨリ二尺許リノ間ニ於テ尤モ健全ニシテ四方ニ平均ニ生育スル枝ト頂端ヨリ一尺七八寸ノ間ニ於ケル枝梢トヲ殘シ其ノ中間ノ枝ヲ鋸ヲ用ヰテ幹ニ沿ヒ平滑ニ切リ拂フ下部ニ殘存セル枝ハ臺杉栽培上最必要ナルモノニシテ第一回ノ伐採後幾回トナク幹ヲ生立セシムル臺礎トナルナリ方言之レヲ「トリキ」ト稱ス此ノ如ク普通ノ枝打ヨリ過度ノ枝打ヲ爲スハ

(一)樹幹本末ノ直徑差ヲ可成少ナカラシムルコト　(二)「トリキ」ニ充分ナル日ヲ與ヘ其ノ枯損ヲ防クコト

(三)同化作用ヲ少クシテ肥大生長ヲ鈍カラシメ緻密ノ材ヲ作ルコト等ノ目的ニ依レルモノトス「トリキ」ハ常ニ周圍ニ平等ナラシムル樣適宜ニ剪定ノ枝打ハ爾後三ケ年ヲ隔テテ四五回以後ハ四年毎ニ之レヲ行ヒ伐採ノ前年若クハ當年ノ春期ニ於テ樹液ノ未タ流動セサル時期ヲ見計ヒ各枝梢ノ先端ヨリ二三尺枝ヲ殘シテ其ノ他ヲ切拂ヒ樹液ヲ少クシテ色澤ヲ良好ナラシムルノ作業ヲ施行ス之ヲ枝締ト稱ス伐採ハ春四月又ハ秋八月ノ兩期トシ就中八月ヲ以テ尤モ適當トシ此ノ時期ニ伐採セルモノハ色澤殊ニ鮮麗ナリ

伐採齡ハ新植後大約三十年目ニシテ伐採後ノ臺株ハ其ノ翌年ヨリ盛ニ萠茅シテ生長益々旺盛トナルカ故ニ三四年ヲ經過セル後適當ナルモノ三四本ヲ殘存シ他ヲ伐リ拾テ同時ニ第一回ノ枝打ヲ行フ以後第一回ト同一ナル方法ヲ繰返スモノナルモ伐採ハ同時ニ行ハスシテ材幹ノ周圍一尺二三寸長四五間ニ達セルモノヨリ漸次ニ擇伐ス成立セシムヘキ樹幹ハ三回目ニハ四五本トナシ臺株百年前後ノモノハ普通八九本稀ニハ十數本ヲ成立セシムルコトアリ伐採後ハ直チニ杉又ハ檜ノ心材ヲ以テ製シタル篦ヲ以テ幹材ヲ損セサル樣剝皮シ且ツ伐採セル當日ニ於テ必ス剝皮ヲ了スル樣作業ス磨木ハ山地ノ伐採全部終了セシ後ニ於テ行フモノニシテ丸太ノ乾燥後ハ日程ノ都合ニ依リ適宜室内ヨリ取出シ清水ニ一時間以上浸漬シ龜裂ノ全部復舊スルヲ待ツテ白砂(中川村菩提ノ瀧ノ砂ニアラサレハ充分光澤出テスト云フ)ニテ色澤ノ出ツル迄一樣ニ磨キ上クルモノトス琢磨終レハ清水ニテ水洗ヲ爲シ屋外ニ立テ掛ケ水分ノ去ル迄乾燥セシメ全ク乾燥セハ屋内ニ運ヒテ可成密著シテ貯材ス

垂木丸太　大體ノ作業丸太產出ノモノニ等シキモ其ノ伐期ハ大抵十五年乃至十七八年ニシテ枝打ハ新植六七年目ヨリ隔年ニ行ヒ幹圍六寸餘長丈餘ニ達スレハ伐採スルモノトス

販路　本材ハ元京都ヲ以テ唯一ノ需要地トシタルニ過キサリシカ近來交通ノ便開クルニ從ヒ販路次第ニ擴張シテ西ハ九州東ハ東京ニ及ヘリ使用ノ方法ハ北山丸太(方言白杉丸太)ハ書院或ハ茶室ノ柱又ハ桁用ニ供シ垂木丸太(方言カイフ)ハ軒先ノ垂木天井椽ニ用フ

又該材ヲ運搬スルニ京都ニ出スニハ小野鄕村及梅ケ畑村ニテハ陸路、車ヲ以テスルモ中川村ニテハ婦人ノ頭上ニ載セテ鷹ケ峰村ニ出シ車ヲ以テ京都ニ出ス大阪ヲ經ルモノハ高瀨川ニ由リ東京、名古屋ヘハ汽車若クハ船舶ニ由レリ

二　竹林

京都府下ニ於ケル竹林ノ起原ニ付テハ之ヲ知ルニ由ナシト雖傳フル所ニ依レハ今ヨリ二百有餘年前靈元天皇

ノ御代ニハ山城國乙訓、葛野、宇治、久世等ノ各郡ノ一部ニテ盛ニ栽培セラレタルモノニシテ當時既ニ酒造家ノ要スル桶樽等ノ箍用ニ供セラレタルコト頗ル多量ナリシト云ヘハ其ノ以前ヨリ相當ニ經營セラレタルコトヲ推知スヘシ然ルニ維新後ニ至リ一時衰微ノ域ニ陷リシカ次第ニ交通開ケ各種工藝ノ進歩ニ伴ヒ殊ニ電燈ノ炭素線ニ用ヒラルナト一層需用ノ增加ヲ來シ加フルニ價格ノ昇騰ヲ見シカハ日ヲ追フテ栽培面積ヲ增加シ明治四十年ノ調査ニ依レハ府下竹林ノ總面積二千七十一町歩餘ニ達シ伐採額二十五萬八千二百六十九束此價格十七萬三千六百餘圓ニ上レリ

同地方ニ於テ養成セラルル竹ノ種類ハ其ノ數多クシテ之レヲ細別スレハ幾十種ニ上ルヘシト雖モ大別スレハ苦竹（眞竹）淡竹（葉竹）江南竹（孟宗竹）女竹ノ四種トナスヲ得ヘク而カシテ苦竹ニハ白皮竹、布袋竹、實竹、淡竹ニハ黑竹、斑竹、江南竹ニハ龜甲竹、佛面竹等ノ變種ヲ存ス、此ノ中黑竹ハ明治二十年頃ヨリ培養セラレ殊ニ輓近外國向竹材トシテ年々栽培セラレ竹材竹器ノ輸出品トシテハ貿易品中首位ヲ占ムルニ至レリ

竹材ノ販路ハ種類ニ依リ異ナルモ其ノ大部分ヲ占ムル苦竹ニアリテハ地方ニ於ケル仲買人ノ手ヲ經テ京都、大阪、神戸地方ノ竹商人ニ賣買スルヲ常トス近時工藝品製造ノ隆盛ニ伴ヒ竹製品及之カ原料トシテ内地ハ勿論諸外國ニ輸出セラルルコト多シ之ヲ阪神地方ニ搬出スルニハ桂川、淀川河岸迄ハ荷車ヲ用ヒ夫ヨリ筏ヲ組ミテ輸送スルヲ常トス

竹林ノ經營方法ハ最進歩シ竹種ト適地トノ關係、新ニ竹林ヲ仕立ツル場合ニ於ケル開墾方法、母竹ノ選定、植栽時季及本數植栽方法、植栽後ノ手入及保護其ノ他成林ニ對スル施肥、土入、除草、筍ノ取扱、竿ノ採收及利用、伐竹時期、病蟲害ノ驅除等ニ至ル迄他ノ地方ニ於ケル竹林經營ニ際シ凡テ其ノ範ヲ當地方ニ採ルコト尚杉扁柏林ノ經營ニ關シテ吉野地方カ他ノ模範タルト同一ノ狀態ヲ呈セリ

第五節　東京地方ニ於ケル民有林ノ經營

京都地方ニ臺杉作業及竹林作業ノ發達ヲ見阪神ノ大需用地アルカ爲吉野林業ノ勃興ヲ見タルカ如ク東京地方ニ於テモ德川氏幕府ヲ江戸ニ開キシ以來逐次林業ノ發達ヲ爲シタルハ需給關係上必至ノ勢ト稱スルヲ得ヘク就中西川多摩川及高井戸地方ニ於ケルモノ最著名ナルヲ以テ是等ノ地方ニ於ケル民林經營ノ狀況ヲ左ニ略說スヘシ

一　西川地方ニ於ケル民有林ノ經營

西川材ノ產地ハ埼玉縣下荒川ノ支流ナル入間川流域ニ屬スル地區全部ニ亙リ就中名栗地方ヲ中心トセリ今其ノ林業ノ起源ヲ探ヌルニ遠ク江戸幕府ノ開設ト同時ニ起リタルモノノ如ク古來漠々タリシ關東平原地ニ對シ江戸ノ開城ヲ見ルニ至リ從テ無數ノ邸宅一時ニ增設セラルルニ當リ附近山地ニシテ運搬便利ナル地ヨリ盛ニ木材ノ搬出ヲ見ルニ及ヒ先ツ多摩川沿岸ノ山林ヲ始メ荒川ノ支流タル入間川筋高麗川筋ノ如キ水運ノ便アル山地ヨリ木材ノ供給ヲナスノ止ムナキニ至リ茲ニ西川林業ノ素因ヲナシタリ然レトモ當時ニアリテハ漸ク天然林ノ伐採搬出ニ止リ未タ人工ヲ以テ植樹スルノ狀況ニ至ラス其ノ後次第ニ伐採利用ヲ逞フシテ天然林木ノ缺乏ヲ來シ遂ニ人工植樹ヲナスニ至リタリ卽チ寛文年間（今ヨリ二百五十年前）ニ至リ漸ク人工植樹ヲナスモノアルヲ見降テ元祿ノ頃（今ヨリ二百二十年前）此等人工林ノ伐採搬出ヲナシタルヲ知ル、當時今日ノ入

間郡水富村ニ當リテ木流通シナル堰所ヲ設ケタルモノアリテ今尚其ノ痕跡ヲ見ル然レトモ其ノ當時多クハ管流ノミヲ行ヒ未タ筏流ハ起ラサリシカ如シ其ノ後次第ニ筏流シノ方法モ備リ筏數モ多ク且ツ林地ノ利用大ニ開發シタルヲ以テ寶暦年間（今ヨリ百六十年前）ニ至リテ林地ニ貢租ヲ課セラルルニ至リタリ次テ明和九辰年中（今ヨリ百四十年前）當時ノ代官伊奈半左衞門ヨリ筏運上ヲ命セラレタルモ其ノ前後ニ當リテ當入間川流域ニアリテハ所々ニ用水堰アリテ筏流シニ際シ堰代及橋木代ト稱シテ筏一枚ニ付百五十文宛ノ出金ヲナシ漸ク通行シ得ルノ狀態ニテ當時一箇年筏出數二千枚位ナリシヲ以テ合計二百五十兩ノ堰代ヲ出ササレハ通行シ難ク且ツ所々ニ惡漢アリテ筏ノ通行ヲ妨害シ搖リ同樣ノ所業ニ及ヒ酒代ヲ掠取ル等ノ故障アリテ容易ニ運材ヲナス能ハサリシカハ伊奈半左衞門ノ觸ニ對シテハ之ヲ辭退シタリト云フ降リテ安政年間ニ至リ卯年ノ大地震ト同時ニ出火アリタル際終ニ運上ヲ命セラレタリ而シテ此ノ大災害ノ爲多大ノ木材ヲ需用スルコトトナリタルヲ以テ本地方ニテモ其ノ川筋取締ノ件ニ關シテ當入間川筋一體ニ於ケル材木商ノ主立チタルモノヨリ江戸活綱ノ敷ナル喜兵衞ナルモノニ依賴シ喜兵衞ハ更ニ之ヲ材木三間屋行事中ノ總代タル忠藏藤七宗助ニ對シテ之ヲ願ヒ右三間屋ヨリ御奉行所ニ對シテ之ヲ歎願シ終ニ安政三辰年三月十二日ニ運上仰付ケラレ之カ請書ヲ呈出シ同時ニ材木御冥加御上納金トシテ材木荷主ノ大小ニ對シ淺見才次郎ノ金二分二朱ヲ始メ夫々ニ上納ナシ爾後引續キ明治ノ御代トナリ御上納ヲ廢セラレタリ明治六年ニ至リ東京府ヨリ筏ノ長サ幅竝繫泊時間制限ノ布告アリタルニ對シ當地方人民ハ之カ爲メ大ナル不便ヲ感シ時ノ熊谷縣令ニ對シ之カ制限ノ解除ヲ申請スルニ至リタリ當地方ニテ從來川下ケシタル筏制限ハ長サ五間ヨリ十三間ニ至リ幅六尺ニテ荒川落合迄乘下ケ夫ヨリ相經メ長十五間ヨリ幅二間位ニ仕立テ川下ケシ來リタルモノニテ東京府ノ規則ニ從ヒ五間以下トスルトキハ杉丸太ノ如キモノハ用材トシテ充分ナル效果ナキ旨歎願シ尙繫泊時間ニ關シテモ繫泊一時間トノ布告ナルモ當地ヨリ千住ニ著スル迄休泊ハ時宜ニヨリテハ五六日ヲ要シ大風雨ノ際ニテハ十日モカカルコトアルヲ以テ之ニ從テ行フトキハ當地住民ノ生活ニ關スル大事ナル旨歎願シ終ニ從前通リ川下ケ差支ナキコトトナリ連續今日ニ至リ益々林業ノ發達進歩ヲナシツツアリ

部分林制度　部分林制度ノ起源ニ至リテハ記錄ノ見ルヘキモノナキカ爲詳ナラサルモ按スルニ百五六十年前ヨリ此ノ制度ヲ行ヒタルカ如シ是當地林業發達ノ一因ニシテ現在ハ民法ニ依リ地上權ヲ設定シ同時ニ部分林設定ヲ爲セリ地上權ノ存續期間ハ區々ニシテ一定セサルモ四十年前後ノモノ最多ナリ部分法ハ元五割ツツトスルモノ多カリシモ近來ニ至リ土地ノ良好ナル林地ニ於テハ伐期價格ノ四割ヲ地主ニ支拂ヒ土地ノ不良ナル所ニテ偶々五割ノ法ニ依ルモノアルニ過キス

組合制度　本地方ニ於テ組織セル組合ハ材木業者ノ同業組合ナルヲ以テ林業ノ間接機關タルモ材木業者ハ同時ニ有力ナル林業家ナリシニ依リ本組合制度ハ直チニ林業ノ興廢ニ影響シ林業ト本組合トハ離ルヘカラサル關係ヲ有セリ而シテ天保九戊年四月當地筏業者協議ノ上材木冥加代二貫文ヲ共同シテ上納シ其ノ後末年ニ至ル迄十ヶ年間共同上納ヲ繼續シ又壬及午ノ兩年ニ於ケル江戸大火ノ際ニ於テモ共同シテ筏下ヲ爲シ御普請方ヘ木材ヲ賣却シ且冥加ノ爲足代杉三百本ヲ上納シタル等ハ實ニ本組合ノ起源ト稱スルヲ得ヘシ爾來相提携シテ事ニ當リ明治維新後二十三年ニ至リ埼玉縣甲第十七號布達（明治十九年二月十二日發布）ニ基キ材木商同業者一同協議ノ上組合規則ヲ編成シ農商務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノニシテ近來社會ノ進歩ト共ニ本組合モ亦大ニ其內容ヲ改善シ明治三十八年重要物產同業組合法ニヨル法人組合トナシタリ卽チ武州西川材木商同業組合ト稱シ事務所

ヲ入間郡飯能町ニ置キ入間郡ノ内飯能町、加治村、原市場村、元加治村、水富村、南高麗村、柏原村、霞ケ關村、秩父郡ノ内名栗村、吾野村大字南、東京府西多摩郡ノ内成木村、小曾木村ノ一町十ヶ村一大字ハ其ノ組合ノ地區ニシテ是レ等町村ニ屬スル杉、扁柏林ノ面積ハ約五千百餘町歩ニ達セリ

林業ノ特色　人工植林ニ付古キ歴史ヲ有スルモノノ一ニシテ諸般ノ設備頗ル發達シ其ノ特色トスル所ハ杉、扁柏ノ小角物ヲ生産スルニアリテ東京市ヲ距ルコト僅ニ二十里内外ニシテ且水運陸運共ニ至便ナレハ其ノ經營方法自ラ集約ナルモ雪害ニ罹ルノ虞アルヲ以テ植栽本數ハ比較的少ク大凡一町歩三千四五百本ヲ普通トセリ伐期ハ普通三十年乃至四十五年ニシテ造林方法ハ西川材木組合ニ於テ次ノ如ク定メタリ

材種	實長	幅	厚
一、角材			
一丈角	十尺五寸		
二間角	十四尺		
二間半角	十七尺五寸		
三間角	二十一尺		
大貫	十二尺五寸	三寸八分	八分
中貫	同	二寸二分	六分
三寸貫	同	一寸八分	四分
二、板類			
材種	實長	幅	厚
二間板割	十二尺五寸	正寸	八寸二分
杉板平板	六尺二寸	同	一寸二分
杉松板五分板	同	同	四分
杉松四分板	同	同	三分
杉松六分板	同	同	五分
松板棒		一寸六分	一寸三分
同敷居		三寸八分	一寸八分
杉皮	二尺四寸	一尺二寸	一寸八分
松板二寸角		二寸二寸	

造林、手入、間筏、保護及管理ノ方法ニ至リテモ亦見ルヘキモノ少ナカラサルモ林業ノ發達セル他ノ地方ニ類似セルモノ多キヲ占ムルヲ以テ之ヲ省略スルコトトセリ

二　青梅地方ニ於ケル民有林ノ經營

東京市場ニ於テ青梅材トシテ取扱ハルル足場丸太、小角、小丸太等ノ産地ハ西多摩全部ニ亙ルモ就中氷川、古里、三田、吉野ノ諸村等青梅町附近ヲ以テ其ノ中心トスルヲ得ヘク（是等四ケ村ニ於ケル杉扁柏人造林ノミニテ四千百數十町ニ上レリ）北東一帶ハ直チニ西川材生産地タル入間川流域ニ接セリ林業發達ノ起源ニ至リテハ蓋シ西川地方ト大差ナカルヘク林業經營ノ方法ニ至リテモ亦西川地方ト大同小異ニシテ大凡三十年乃至三十四五年ヲ伐期トシ秋川地方ニ在リテハ三十年ヲ超ユルコト甚タ稀ニシテ早キハ十八九年普通二十五年前後ヲ以テ伐採セリ而シテ伐期ニ於ケル平均目通周圍ハ一尺五寸内外ニシテ上等地ハ二十年中等地ハ二十五年下等地ハ三十年前後ニテ此ノ太サニ達ス一町歩ノ植付本數ハ三千五百本乃至六千本ニシテ西川地方ニ比シ

密植ナルハ交通運搬ノ一層便利ナルト到ル處ニ相應ノ鋸工場ヲ存スルカ故ニ製材容易ナルトニ依ルヘシ從テ其林利ノ多大ナルコト他ニ多ク類例ナク明治四十年頃ノ調査ニ依ルモ青梅產杉扁柏材ノ年々輸出セラルルモノ多摩沿岸ヨリ約十七萬圓秋川沿岸ヨリ約十萬圓ニ達シ樹皮其ノ他ヲ加フルトキハ優ニ三十萬圓ノ收穫ヲ擧ケツツアリ

三　豐多摩地方ニ於ケル民有林經營

東京市ノ西部近郊一帶ハ所謂四谷丸太ノ產地ニシテ豐多摩郡高井戸地方ヲ中心トシ北多摩、荏原ノ諸郡ニ亙レリ一ケ年ノ產額三萬圓內外（大正三年調査）ニ過キサレハ之ヲ青梅西川等ニ比スレハ其ノ產額ノ寡少ナルコトヲ言フヲ俟タサルモ其ノ生產地ハ武藏野平原ノ中央ニ位シ山嶽丘陵ノ起伏セルモノナク道路四通八達セルヲ以テ資材搬出ノ爲特別ノ設備ヲ要セス直コ之ヲ車馬又ハ汽車ニ託シテ市場ニ輸送シ得ルヲ以テ販賣上ノ利便ハ青梅地方ニ比シ更ニ一段ノ上位ニアリ從テ其ノ經營ノ方法ハ最集約ヲ極ム今其ノ造林及利用ニ關スル大體ヲ錄スレハ左ノ如シ

四谷丸太生產地ノ面積　前記三郡ニ於テ田畑ノ間ニ孕在セル杉林ノ總面積ハ約二百五十町歩ニ上ルヘシ

植栽地　一般畑地ニシテ麥類ノ農作物ヲ爲シタル跡地ヘ植付クルカ否ラサレハ杉ノ伐採跡地トス畑地ニ植附クルモノハ別ニ地拵ヲ要セサルモ伐採跡地ニ在リテハ一々切株及細根ヲ掘取リ赤土ニナルマテ深ク掘返シ之ヲ細碎シテ殆ト畑地同樣ト爲ス地拵後直ニ植栽スルモノアルモ大抵ハ一年間前作ヲ行ヒ相應ノ收利ヲ得尙植栽ノ當年及翌年ニモ前作ヲ爲シ雜草ノ發生ヲ防クコト普通ナリ

植栽ノ時期及本數　通常三月下旬ヨリ四月下旬マテトスルモ稀ニハ十月ニ秋植ヲ爲スモノアリ其ノ植栽本數ハ十年末滿ノ伐期ニ據ルモノハ一町歩當リ一萬四千四百本（二尺五寸ニ三尺ノ長方形）乃至一萬八百本（二尺五寸ニ四尺ノ長方形）植トシ十五年末滿ノ伐期ニ依ルモノハ一町歩一萬二百八十六本二十五年ハ同シク八千八百六十本トス

枝打　杉材ハ全ク小丸太ヲ出タスノ目的ナレハ枝打ハ幼時ヨリ頻繁ニ行ヒ其節痕ヲ除去シ肌膚ヲ平滑ニシ努テ完滿ノ圓材ニ仕立ツルモノナレハ大抵植付後五六年ヨリ著手シ二十五年頃マテハ年々間斷ナク之ヲ行フ

造材　其ノ用材ハ京都ノ北山丸太嵯峨丸太ニ稍同シケレハ多數ハ榛材ニ製作セラレ足場丸太、電柱等ニ使用セラルルモノハ甚タ稀ナリ普通四谷丸太又ハ磨丸太ト稱スルハ椽桁、丸柱、面皮柱等ノ總稱ニシテ最モ價格ノ高キモノハ其ノ伐期三十五年ヨリ五十年マテノ間ニ在リ本材ハ冬季ニ伐採シ竹篦ニテ幹ヲ傷ケサル樣外皮ヲ剝離シ次ニ鐵篦ニテ削リ更ニ鮫革ヲ以テ磨上ケ光澤ヲ發セシメ尙背割ト稱シ圓材ヲ幹軸ノ方向ニ挽割リ鋸目ノ所々ニ楔子ヲ挿入シ材ノ乾燥收縮スルニ從ヒ尙深ク楔ヲ打込ミ外面ノ缺裂ヲ防ク若シ又夏季ニ伐採シタルトキハ剝皮琢磨スルモ光澤ヲ發セサレハ最外年輪ノ一層又ハ二層ヲ削リ前記ノ方法ニヨリ製材ス椽桁ハ三十五年以上五十年生マテノ材ヲ用ヰ材長二間ヨリ七八間ニ至ルモノヲ得、丸柱ハ二十五年生以上ヨリ取材シ長一丈ニ切リタルモノ、面皮柱ハ三寸ヨリ五寸ノ角材トシ四隅ニ丸身ヲ存ス此材ハ一丈物ヨリ二間ノ杭ニ至ルマテ本末細大ノ不同ナキ樣作リ得ヘキ完滿材ナラサルヘカラス故ニ四谷丸太中ノ最モ高價ナル良材トス

第六節　宮崎縣飫肥地方ニ於ケル杉林ノ經營

日向國宮崎郡ノ一部及南那珂郡ノ全部ハ到ル處トシテ鬱然タル杉人工林ヲ見サルナク北郷村ノ如キハ百年以

上ノ高林亭々トシテ天ヲ摩スルモノアリ是レ世ニ船艦用トシテ有名ナル飫肥杉ナリトス

舊記ノ傳フル所ニ依レハ今ヲ距ル三百三十餘年前卽チ天正十一年伊藤祐隆飫肥ニ封セラルルヤ食祿二萬八千石ニ過キサリシカ當時ノ軍律トシテ五萬石以下ノ藩主ハ戰場ニ於テハ常ニ五萬石以上ノ大名ノ旗下ニ屬セリ文祿ノ役祐隆ハ黑田長政ノ旗下トシテ出征セシカ軍功ノ擧カラサリシコトヲ遺憾トシ五萬石以上ノ旗頭タラント欲シ高上ケヲ爲スノ計畫ヲ爲シ屢領內ノ檢地ヲ行ヘリ然レトモ未タ其ノ目的ヲ達成スルニ至ラス降テ慶長六年ニ至リ藩臣落合某山縣某ノ二人合意ノ上藩廳ト何等ノ交涉ヲナサス京都伏見ニ於テ祿高六萬石ノ披露ヲ爲セシカハ家老等之ヲ聞キテ驚愕措ク所ヲ知ラス卽チ相計リテ速ニ檢地ノ上高上ケモ爲スノ外策ナシトシ同九年奉行三名ニ命シテ檢地セシメタル結果五萬七千八十石ノ增高トナリ其ノ旨披露スルニ至レリ然レトモ此增高ハ窮策ノ結果ナリシヲ以テ其ノ實之ニ協ハス上下共ニ窮之ニ陷リシカハ之カ救濟策トシテ林地ヲ選ミテ杉ノ插穗造林ヲ爲スニ決セリ然レトモ伐採ノ權ハ藩主ニアルノミナラス猥リニ伐採ヲ許ササリシヲ以テ其ノ挿付ハ微々トシテ振ハス是ニ於テ舊制ヲ改メテ杉林二部一山ノ法ヲ設ケ其ノ收益ヲ藩ト造林者トノ間ニ二分スルノ方法ヲ以テ挿付ヲ奬勵セラレタリ然ルニ二分一ノ分收ニテハ上ニ厚ク下ニ薄キヲ以テ之ニ從事スル者漸次減少セシカハ更ニ三部一山ノ制ニ改メ山方奉行ヲ置キ其ノ下ニ山方、山守等ノ吏員ヲ設ケ杉山帳簿ヲ備ヘテ管理保護ニ當ラシメ以テ杉ノ挿付ヲ奬勵セシカハ殖林事業次第ニ隆盛ニ赴キ到ル處ノ山林原野ハ悉ク杉ヲ挿付クルニ至リ廢藩置縣後以上ノ杉山ハ悉ク之ヲ國有部分林トシテ其ノ分收部分ヲ二官八民乃至三分一官三分二民ト定メ其ノ經營ヲ繼續シテ遂ニ今日ノ盛況ヲ見ルニ至レリ

飫肥杉ニハ赤杉黑杉ノ別アリ赤杉ハ樹幹赤味ヲ呈シ心材赤褐色ヲ爲ス生長速ニシテ材質輕ク軟ニシテ船艦用材トシテ賞用セラル黑杉ハ心材黑色ヲ呈シ材重ク質良好ナラス且ツ赤杉ニ比シテ插付後十二三年間ハ生長早キモ其ノ後ハ遲緩トナルカ故ニ插穗ハ赤杉ノミヨリ採取セラル

造林方法　插穗ノ造リ方ハ敢テ特別ノ點ナキモ其ノ出來上リタルモノヲ適宜ノ束トナシ一週間內外清キ流水ニ浸シ然ル後插付クルヲ普通トシ明治三十年頃ヨリ畑地ニ插付ケ三四年間据置キ苗木ヲ養成シテ山地ニ移植スルモノ多ク現今ニ在リテハ主トシテ此方法ニ依レリ伐採跡地ハ二三年間前作(木場作ト稱ス)ヲ爲シタル後插植スル習慣ナレハ地拵ヲ要セス山地插植ハ從來九尺方形乃至二間方形等頗ル疎植スルノ習慣ナリシモ現今ハ稍密植ノ方針ニ傾キツツアリ然レトモ每町歩二千本乃至三千本植栽ヲ普通トシ長方形植栽ヲ爲セリ

手入及間伐方法　插付後二三年間ハ間作ヲ爲シ其ノ後每年又ハ二三年每ニ刈拂ヲ爲シ原野ニアリテハ二年目又ハ三年目ヨリ年々杉ノ成育上障碍トナルヘキ萱草ヲ八月頃踏ミ倒又ハ場合ニ依リテハ刈拂フコトトセリ是ヲ方言木拂ト稱セリ十四五年ニ至リ第一回ノ除伐ヲ爲シ爾後伐期(五六十年目)ニ達スル迄適度ニ之ヲ繰返シ主伐ニ際シテ一町歩數百本ヲ殘存セシムル樣取扱ヘリ

伐期及造材法　地味ノ肥瘠ニ依リ差アリト雖多クハ插付後三年間ハ生長除々ナレトモ其ノ後十ケ年位ハ每年二尺乃至四五尺ノ伸長ヲ爲シ四十年若クハ六七十年ニシテ伐採シ得ルニ至ル而シテ伐採ノ季節ハ秋ノ彼岸ヨリ春ノ彼岸迄ノ間トス是レ春ノ彼岸後ハ皮部剝離シ辨甲トシテ賞用セラレサレハナリ元來飫肥杉ハ辨甲トシテ造材セラルルモノナレトモ運搬不便ノ山奧ニアリテハ板ニ製スルコトアリ又小材ハ皮付ノ儘丸太材トシテ出スモアリ辨甲ハ四尋(目通周圍三尺八寸以上四尺五寸以下ノモノ)ヲ最小限トシ夫ヨリ五尋六尋ト進ミ十二尋モノヲ最大トス而シテ辨甲ヲ採リタル殘餘ノ末木ニシテ周圍三四尺ナルトキハ末辨甲ト稱シテ尙一ツノ辨

甲ヲ採ルコトアリ辨甲ハ材ノ通直ナルモノハ適宜兩側ヲ削リ他ノ兩側ハ皮肌ヲ殘留スルヲ常トスルモ若シ材楕圓形ヲ爲ストキハ其ノ直徑ノ小ナル方ノ兩側ヲ削リ又楕圓形ニシテ且直徑小ナル方ニ屈曲セルモノニアリテハ俗ニ褄切ト稱シ直徑ノ大ナル方ノ兩側ヲ切落スモノトス是レ屈曲セル方面ヲ切落ストキハ木纖維ヲ切斷シ船材トシテ使用ニ耐ヘサルニ依レリ

備考　飫肥杉ハ大部分部分林ニテ生產セラルルモノナルヲ以テ之ヲ民有林ト看做スコト能ハサルハ勿論ナルモ今日ニアリテハ部分林以外純粹ノ民有林ニ於テ其ノ育成ヲ計ルモノ亦頗ル多ク且部分林ニ於テモ其ノ經營ハ主トシテ人民ノ施業ニ俟ツモノナルカ故ニ便宜本章ニ於テ之ヲ述フルコトトセリ

第七節　甲斐國南巨摩郡萬澤村地方ニ於ケル民有林ノ經營

萬澤村ハ山梨縣ノ南端富士川ノ右岸ニ位シ其ノ南境ハ直ニ靜岡縣ニ接シ東ニ白鳥山（五七六米突）西ニ貫ケ岳（九四三米突）ノ聳立スルアリ其ノ支脈連亙シテ主要ナル兩河川ヲ形成シ此他無數ノ溪流ヲ存スルコト眞ニ萬澤ノ名ニ背ムカス今同地方ニ於ケル林業ノ沿革ヲ探ヌルニ其ノ始メ用明天皇ノ頃捕鳥部ノ萬等此他ニ據リシ當時ハ耕作スヘキ田畑ナケレハ山ヲ開キ樹木ヲ燒キ以テ耕作ヲ爲セシモ元ヨリ林業ニ關シテ見ルヘキノ事蹟ナク降テ元龜天正ノ頃已ニ二百ノ戶數ヲ存スルニ至リシカハ盛ニ山ヲ開キ燒畑ヲ行ヒ地味瘠惡トナレハ之ヲ棄テテ他ニ移リ其ノ跡地ハ自然ニ樹木ヲ生シテ再ヒ森林ヲ形成シ轉々輪囘シテ燒畑ヲ反覆セシニ依リ該地方固有ノ林相タル常綠濶葉樹林ハ衰滅ニ傾キ其ノ間「ハンノキ」「ヤマハンノキ」「ナラ」「クヌキ」等ノ落葉濶葉樹類ノ繁茂ヲ見ルニ至レリ而シテ人口增加スルニ從ヒ燒畑ノ面積次第ニ擴大シ從來ノ如ク燒畑跡地ヲ自然ニ放棄シ其ノ恢復ヲ待ツカ如キ粗放ノ取扱ヲ爲ストキハ地籍ノ缺乏益々大ナルヲ覺リ終ニ燒畑跡地ニ前記ノ落葉濶葉樹種ヲ植栽シ其ノ成林ノ時期ヲ急速ナラシムルヲ計リ以テ三極栽培ヲ開始シ樹木ヲ伐採シテ跡地ヲ燒キ先ツ蕎麥ヲ作リ次年ニ粟ヲ栽培シ翌年此地ヲ全ク耕シテ芋ヲ植ヱ更ニ其翌年ニ至リ三極ヲ植ヱ同時ニ其ノ間ニ「ヤマハンノキ」ヲ植栽シ其ノ落葉ヲ以テ三極ノ肥料ト爲スノ方法ヲ採ルニ至レリ斯ノ如クシテ三極ノ收穫衰フルトキハ全ク「ヤマハンノキ」ノ純林ヲ形成セリ

今ヨリ二百年前寶曆ノ頃ニ至リ村民ノ經濟的思想次第ニ發達シ「ハンノキ」ノ如キ利用價値ノ少キモノヲ植栽センヨリハ更ニ進ムテ一層有利ナル樹種ヲ造林スルヲ勝レリトシ何所ヨリカ杉扁柏ノ苗ヲ持來リテ三極ノ間ニ植付クルコトヲ開始セリ（或ハ云フ駿河地方ノ植林ヲ見テ初メタリト）然レトモ當時ニ於ケル杉扁柏ノ植栽ハ唯溪間肥沃ノ僅小ナル面積ニ限ラレタリ爾後人口ノ增殖ニ比例シテ土地ノ利用益々集約トナリ杉扁柏ノ殖林モ次第ニ隆盛ニ赴キタルニ明治初年ニ至リ人心一變シ眼前ノ小利ニ走リ速ニ收穫ヲ得ルモノ卽三極ノ如キモノノ栽培ヲ利トシ杉扁柏ノ如キ比較的長期ヲ要スル事業ヲ迂遠ナリトシ甚シキハ未タ利用ノ時期ニ達セサル幼齡林ヲ伐採シテ薪材トナシ專ラ三極ノ栽培ニ熱中スルニ至リ當地方ノ林業ニ一頓挫ヲ來タセリ然ルニ世運ノ進展ニ伴ヒ地主小作人トノ關係ヲ生シ地主ハ三極畑トシテ小作人ニ貸付スルモ其ノ收利極メテ少ク尙又人夫ヲ雇傭シテ自營スルモノトスルモ勞銀昇騰ノ爲利益ノ多キヲ見ルコト能ハス比較的耕作手數僅少ニシテ人夫ノ使用一時的ナル杉扁柏林經營ノ最有利ナルヲ覺リ明治十四五年頃ヨリ又盛ニ其植栽ヲ行フニ至レリ今現今ノ施業法ヲ見ルニ先ツ林地ヲ代採スルトキハ地主ハ之ヲ小作人ニ貸付シ（中產者ハ自ラ行フ）小作人ハ之ヲ燒キ拂ヒ先ツ蕎麥ヲ播キ翌年粟ヲ作リ次年之ヲ耕シテ里芋ヲ作リ第四年目ニ至リ此地ニ杉又ハ扁柏（或ハ兩樹ノ混植）ヲ植栽シ同時ニ其ノ間ニ三極ヲ

植ヱ又「ヤマハンノキ」ヲ混植シ農作物ハ小作人ノ所得トナル此間別ニ小作料ヲ徴收セス唯地主ヨリ提供セル杉扁柏ノ苗木ヲ植栽シ又年々二回三椏栽培ノ爲草刈ヲ施行スルノ義務ヲ負擔スルモノトス已ニ樹木繁茂シテ三椏發育シ能ハサルニ至レハ林地ヲ地主ニ返付シ其ノ伐採後又同一ノ事ヲ繰返セリ即地主ハ三年間ノ耕作及三椏ノ培養ヲ爲サシメ其ノ小作料トシテ林木ノ植栽又下刈ヲ施行セシムルノ理トナリ苗木ヲ提供スルノミニシテ他ニ何等ノ造林資本ヲ要セス知ラス知ラスノ間ニ新植事業ヲ完了スルノ組織ナリ或ハ小作人ニシテ苗木ヲモ負擔セシムルモノアルモ不良苗木ヲ用ヒ且ツ植栽距離ヲ大ナラシムル等却テ地主ノ不利トナル場合多キカ故ニ一般ニ前記ノ方法ニ依リ又時トシテ植栽ノ半數ヲ地主ニテ負擔スルコトアリ植栽後十二三年ニ至レハ「ヤマハンノキ」ヲ伐採シテ杉扁柏ノ生長ヲ促進セシメ二十四五年ニ至リテ主伐スルモノトス而シテ近年養蠶ノ發達ニ伴ヒ伐跡地ヲ開墾シテ桑苗ヲ植付ケ十年位ニ至リ桑衰フレハ其ノ間ニ杉扁柏ヲ植付ケ逐次林地トナスモノ少ナカラス

當地方產出ノ木材ハ東京地方ニ於ケル粗雜ナル建築用材、四日市製紙場ニ於ケル包裝箱用材、駿豆地方ニ於ケル梨樹棚掛用材及密柑箱用材等トシテ利用セラルルコト多ク富士川ニ接シテ舟筏ノ便最良好ナルカ爲伐期ハ從前ノ如ク三十年以下ニシテ其ノ林業ノ發達セル地域ハ比較的狹少ナルモ其ノ施業ノ集約ナルト方法ノ類例少ナキトニ依リ特ニ之ヲ記述スルコトトセリ

附錄

注意

一、林野ニ關スル統計ハ概ネ本編ノ各節中ニ之ヲ記載セリト雖右記載以外ノモノニシテ特ニ重要ナリト認ムヘキモノヲ茲ニ蒐集シテ本附錄トセリ

一、面積表ノ如キハ年次ニヨリ若干ノ差異アルモ必スシモ其ノ若干數タケ實際增減シタルモノト見ルヲ得サルモノアリ卽チ臺帳面積ヲ以テ統計シアリタルモノカ次第ニ實測面積ニ改メラレタル等ノモノアレハナリ

一、伐採材積表中落葉松、花柏ノ如キ數量ノ記載ナキ年次アルモ右ハ全ク伐採ノ事實ナカリシニアラスシテ其他トアル中ニ算入セリ是等ハ統計組織ノ變遷等ニヨルモノトス

一、森林被害表中價額アリテ之ニ對スル材積ナキハ一件毎ノ材積不明ナルカ或ハ單位以下ニ屬スルモノナリトス

森林統計

第一 林野面積

一、御料林野面積累年比較

年度	保安林		供用林		原野		計	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
		一町		一町		一町		一町
明治二九	—		二〇、一九九	二、〇八六、七二九	一四、八一二	一三〇、六三四	三五、〇一一	二、二一七、三七三
三〇	五、六三二	四、八六六	一四、九九四	二、〇七四、六九六	一三、四九六	一六七、〇〇二	三四、一三二	二、二四六、五二四
一	五、六三〇	四、八二七	一四、九九一	二、〇七四、六〇三	一三、三六八	一六六、七七九	三三、九八九	二、二四六、二〇九
二二	五、六三九	五、〇四四	一四、〇四一	二、〇七一、三二八	一三、一三〇	一六六、五五九	三二、八一〇	二、二四二、九三一
三三	五、五七九	四、五九〇	一二、六四六	二、〇八七、一九六	一〇、六八〇	一五七、一七四	二八、九〇一	二、二四八、九六〇
三四	五、六七九	五、〇三一	一三、〇六〇	二、〇七五、三六四	一〇、二二八	一三六、八五三	二八、九七七	二、二二七、二四八
三五	六、四〇六	五、一三四	一四、八六八	二、〇九八、五三二	七、六三四	一三五、四四九	二八、九〇八	二、一三九、二二五
三六	六、四三八	二三、二二四	一四、五九八	一、四二七、九〇三	七、二〇三	一一一、六七九	二八、一九九	一、五六二、七九六
三七	六、六九〇	六七、九六六	一四、四九九	一、三八三、四九二	六、九一六	一一一、六七二	二八、一〇五	一、五六二、一三〇
三八	六、二一七	六七、八二〇	一四、六七二	二、〇三一、八二九	七、〇九八	一三八、三〇二	二八、〇六六	二、一三七、九五二
三九	五、七八六	六七、三四二	一四、九三八	二、〇四一、七九七	七、〇五六	一三七、五七八	二七、七八〇	二、二四六、六七七
四〇	五、〇二八	六六、九五五	一四、〇八七	二、〇三五、九六六	六、九八六	一三六、九九七	二六、〇九一	二、一三九、八八二

二、國有林野（農商務省所管）面積累年比較

年度	保安林		供用林		原野		計	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
四一	四、四七〇	六八、一三六町	一四、〇四三	二、〇二四、九一町	五、五〇二	一五〇、八六二町	二四、〇一五	二、一四三、九〇九町
四二	三、六三四	八三、七三三	一三、三四三	二、〇〇七、〇一三	五、二五五	一五〇、七三八	二二、二三三	二、二四一、四八三
四三	二、四七一	八三、三四一	一三、四四三	一、九九九、九七六	五、一八二	一五〇、一五九	二〇、〇九六	二、二三三、四七六
四四	一、二四八	一〇、五三七	九、八七〇	一、七九〇、七〇九	四、四六〇	一四八、二三五	一五、五七八	一、九四九、四八一
大正元	一、〇一九	一〇、五五四	九、〇三九	一、七八七、三三九	五、三〇九	一四七、六九八	一五、三六七	一、九四五、五九一
二	六四一	一〇、八〇一	八、三六九	一、七八五、二八〇	四、六三二	一四六、七五八	一三、六四二	一、九四二、八三九
三	六四九	一〇、七三二	八、二五二	一、七八三、二七〇	四、六八七	一四四、五五八	一三、五八八	一、九二八、五五〇

年度	森林		原野		計	
	箇所	反別	箇所	反別	箇所	反別
明治一八	九五、一三八	五、六三五、二五七町	五七八、二七六	三、〇一二、〇一六町	六七三、四一四	八、六四七、二七三町
一九	一二六、〇〇二	六、八九三、八八一	五七六、五八四	二、八二五、七七一	六九二、五八五	九、七一九、六五二
二〇	一三〇、九八七	六、八三〇、八三五	五八八、五三八	二、六七二、九七〇	七一九、五二五	九、五〇三、八〇九
二一	一三四、三二八	七、四五一、〇七五	四八四、九二三	二、三九五、三七九	六一九、二五一	九、八四六、四九四
二二	二六、一〇二	八、〇一三、二二八	三四九、六七五	一、〇二五、二七五	五六五、七七六	九、〇三八、五〇三
二三	一九〇、七九八	七、五九一、九二二	四九四、五〇八	八七二、〇五〇	六八五、三〇六	八、四六四、九八二
二四	二二〇、二三〇	七、六四五、八〇五	四七〇、八一九	八八三、六一一	六九一、〇四八	八、四五九、四一六
二五	二二一、一四一	七、六〇七、八一二	四四七、七八七	七八七、二七九	六六八、九二八	八、三九五、〇九一
二六	二二六、九八二	七、六四六、七七九	四四二、四四〇	七八三、五二六	六九九、四二三	八、四一〇、三〇五
二七	二三八、一七七	七、六五八、五七一	四四〇、二三一	七六〇、三九〇	六六八、四〇九	八、四一八、九六一
二八	二三七、三七〇	七、六五二、一八一	四三八、七一八	七四五、五二五	六六六、〇八八	八、三九七、七〇六
二九	二三八、五八九	七、六五一、七五六	四三六、五〇〇	七四二、二四二	六六五、〇八九	八、三九三、九九八
三〇	二三三、七一三	七、六七三、九九九	四五一、八九一	七四七、七〇五	六八五、六〇四	八、四二一、七〇四
三一	二四〇、六二〇	七、七〇九、〇二六	四六二、〇四四	六五二、九〇七	七〇二、六七四	八、三六一、九四三
三二	二四一、〇七二	七、六〇八、一七三	四五〇、〇八九	六四五、一三〇	六九一、一六一	八、二五三、三〇三
三三	二二四、六四六	七、五八〇、二〇八	四六四、〇三二	六六三、一二六	六九八、六七八	八、二四三、三三四
三四	二二九、〇〇五	七、五八九、六二六	四五七、一四九	六二四、八七七	六六八、一五四	八、二一四、五〇三
三五	二〇八、九三五	七、五三六、六四五	四四三、一一八	四八七、七五〇	六五一、〇五三	八、〇二四、三九五
三六	二一六、一二四	七、四四〇、三七三	四三五、三八八	四九九、一〇六	六五一、五一二	七、九三九、四七九
三七	二〇八、三〇九	七、三三七、〇二一	四二九、三七二	四八三、五七六	六三七、六八一	七、八二〇、五九七
三八	一九七、九四九	七、二八一、六〇三	四一五、九一一	四六七、三二〇	六三八、八六〇	七、七四八、九二三
三九	一八六、五一八	七、二二二、四九二	三九七、〇七四	四三六、四九七	五八三、五九二	七、六五八、九四九
四〇	一八五、〇六三	七、〇九〇、六九四	三七一、三四五	三九四、〇七六	五九六、四〇八	七、七四八、七〇〇
四一	一七二、七二三	七、一五九、四九九	三三六、一三九	二八〇、二三七	五〇八、八六二	七、四三九、七二六
四二	一三五、一五六	六、四一二、〇一八	三〇八、一九〇	二四六、五七〇	五四三、三四八	六、六五八、五八八

年次	森林		原野		計	
	箇所	反別	箇所	反別	箇所	反別
四三	一三八、〇八四	五、四七七、九五七町	二八六、五五八	二〇二、八九五町	四一四、六四二	五、六八〇、八五二町
四四	九七、九一二	四、三五五、五五三	二四七、六二九	一四九、六六六	三四五、五四一	四、五〇五、二一九
大正元	九三、七〇二	四、二九二、一四九	一八〇、六〇九	二二四、六三三	二七四、三一一	四、四一六、七八一
二	六九、一九八	四、一七四、一〇七	一六一、〇一一	一一、四五二	二三〇、二〇九	四、三八五、五五九
三	六〇、七二九	四、二七一、五一〇	一四一、七一二	一〇〇、九六七	二〇二、四四〇	四、三七二、四七七

三、公有社寺有私有林野面積累年比較（北海道ヲ除ク）

年度	公有			社寺有			私有			計		
	森林	原野	森林	森林	原野	森林	森林	原野	森林	森林	原野	森林
明治二三	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
二四										七、三〇四、八四九	一、〇五八、五三三	七、二八九、〇九三
二五										六、六三八、八五二	一、〇四一、〇三六	七、一〇六、八六二
二六										七、二九三、六四七	一、〇五一、六五三	七、四八五、六七二
二七										七、二九九、九五三	一、〇五二、四七二	七、四三〇、一二九
二八										七、三一五、三九〇	一、〇五四、三七二	七、四二九、九〇三
二九										七、三四六、四九一	一、〇五六、三六二	七、四八二、四二二
三〇										七、二八九、〇九三	一、〇七九、三〇一	七、五一〇、二〇〇
三一										七、二五二、七七一	一、〇六六、八九一	七、四八五、六七二
三二										七、二〇七、四二一	一、〇六〇、四三二	五、六二九、〇三六
三三										七、一七四、一〇七	一、〇六六、四三二	七、四三〇、一二九
三四										七、一四一、〇一一	一、〇六三、四八二	七、四三九、九〇三
三五										七、一一一、四五二	一、〇五六、二五九	七、四八二、四二二
三六										七、〇〇〇、九六七	一、〇五八、七六一	七、五一〇、二〇〇
三七										七、〇〇二、八九五町	一、〇七二、八三八	七、五八九、八九〇
三八										六、三九九、一〇〇	一、〇四一、〇三六	七、九五三、七六三
三九										六、三四五、五四一	一、〇五一、六五三	八、〇八六、四八九
四〇										六、二七四、三一一	一、〇五一、四八二	八、〇四八、六五〇
四一										二、〇三〇、二〇九	一、〇五三、四八二	八、〇一七、五四九
四二										二、〇二、四四〇	一、〇五六、二五九	七、九七、九二六
四三										五、六八〇、八五二町	四、五〇五、二一九	七、八四、一二九
四四										四、四一六、七八一	四、三八五、五五九	七、七四、一二九
大正元										四、三七二、四七七	四、三七二、四七七	七、七四、一二九
二										四、三七二、四七七	四、三七二、四七七	七、七四、一二九
三										四、三七二、四七七	四、三七二、四七七	七、七四、一二九
四										四、三七二、四七七	四、三七二、四七七	七、七四、一二九

四、公有社寺有私有林野推定面積

（大正六年八月調）

府縣	公有	社寺有	私有	合計
東京	三九、八七五町	三、六四七町	八五、二五〇町	一二八、七七二町
京都	一九七、八二〇	四、一九一	一七五、九〇〇	三七七、九一一
大阪	二一、七〇〇	四、五一四	六一、七一六	八七、九三〇
神奈川	三八、八二二	二、四一四	九五、五七七	一三六、八二二
兵庫	二六六、七二〇	一二、三二五	三七五、二一五	六五四、二五〇
長崎	八〇、一七一	一、二三九	一九八、九七七	二八〇、三八七
新潟	二九一、六七四	八、〇一九	四三四、〇五九	七三三、七五二
埼玉	一三、六二六	五、二〇三	一六〇、六二三	一七九、四五〇
群馬	二五、六九六	五、三七九	二二〇、一〇八	二五一、一八三
千葉	一七、八三四	六、四五〇	二六三、一四九	二八七、四三三
茨城	九、五九四	四、一一八	三〇五、四二三	三一九、一三四
栃木	三三、一五三	三、七三六	三一〇、三七〇	三四七、三五九
奈良	五五、七六九	二、三一六	二六四、〇五一	三三二、一四六
三重	一三一、一七八	三、四六八	二七八、〇七三	四二二、七一九
愛知	四四、〇九〇	四、九三七	二一二、六七三	二六一、一七〇
静岡	一三五、二四六	八、三九五	三八七、八四七	五二一、四八八
山梨	二一四、三二七	三、〇三〇	一三〇、一四四	三四七、三九二
滋賀	一一九、七〇〇	一二、三九七	一八〇、〇六九	三一二、一六六
岐阜	二九八、四七一	七、六九六	四六八、一六一	七七四、三二八
長野	五〇七、九五八	六、四二〇	二七〇、二一五	七八四、五九三
宮城	一八五、六七〇	二、一七二	二四八、二九一	四三六、一三三
福島	二〇〇、七〇九	四、四三〇	四六九、〇〇三	六七四、一四一
岩手	一七〇、二三六	二、四八一	八〇二、五八八	九七五、三〇五
青森	一八、七八二	八九〇	二一九、五一一	三三九、一八三
山形	一七〇、一七九	二、五〇三	二三五、七七二	四〇八、四五四
秋田	三七二、九七七	一、一一一	二〇七、二九二	五八一、三八〇
福井	六九、五四一	五、八〇七	二五六、〇二一	三三一、三六九
石川	二七、八九八	二、六四九	二八一、二五五	三一一、八〇二
富山	五一、五二四	二、一六九	一八八、一二五	二四一、八一八
鳥取	一三五、七一〇	一、九七八	一五七、三四七	二九五、〇三五
島根	五五、八一三	七、六四五	四六三、七二六	五二七、一八四
岡山	一八一、四九六	八、四六六	三二七、四四七	五一七、四〇九
廣島	一三五、七一〇	四、三四八	五四五、八四八	六八五、九〇六
山口	一五七、〇六〇	五、〇九六	三一八、五〇九	四八〇、六六五
和歌山	一〇九、〇一九	四、七二〇	二九八、四四〇	四二一、一七五
徳島	五二、四五六	三、二三六	二八四、五一二	三四〇、二〇四

五、保安林所有別面積累年比較

府縣	公有	社寺有	私有	合計
香川	三〇、八七八町	二、五九五町	六六、八七六町	一〇〇、三四九町
愛媛	九四、六七〇	四、一〇九	三一〇、八六一	四〇九、六四〇
高知	五六、三二七	五一六	三九九、一三六	四五五、九七九
福岡	九〇、七四三	一、一〇九	一八八、八一二	二八〇、七六四
大分	一六六、九四〇	四、〇四六	二九九、七六三	四七〇、七四九
佐賀	五五、三六〇	七六三	九一、三九一	一四七、五一四
熊本	一六四、八三八	六四三	三一七、三三二	四八二、八一三
宮崎	一五二、七三二	九九五	三一九、八六五	四七三、五九二
鹿兒島	一三六、八五四	九〇四	三五〇、一四九	四八七、九〇七
沖縄	八六、〇二八	二	二六、二四二	一一二、二七二
計	五、七六三、五七三	一八五、三六六	一、五五一、七一一	一八、五〇〇、六五〇

年度	御料林	國有林	部分林	公有林	社寺有林	私有林	準森林	計
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
三四	五、一二四	四、七二四町	七、七三〇	二四六、三五七町	—	—	五〇、六六六	四五九、三四四町	四、〇二二	五、一三〇町	五七六、七三六	一四四五、五一〇町	—	—	六五四、二四七	一九三、四二一
三五	六、四〇六	五、一三四	一六、四九七	一八六、四九七	—	—	三一、八六六	三六八、三一七	二、二六五	二、五八八	二五五、三八三	一〇四、五八六	—	—	六六〇、五七一	六六七、〇三四
三六	六、四三八	三三、一九五	一四四、八〇一	一四〇、二八四	—	二七、一八二	三三二、五五二	二、三一九	二、四三三	九五五、六一二	一四〇、四七三	一四四五、八八七	二三一、九五四	六、八九三	二二、四四	八九、四六五
三七	六、六九〇	六七、九六六	二二、三五三	二七七、八二二	二八、九四三	二七八、八四五	六七、九九九	三五、三四〇	四、一四	五、五五四	一四四、八八七	二五四、〇四八	二二、九六六	七、二八九	二二、八四六	六、八九三
三八	六、二九一	六七、八一九	一〇、一五五	二七八、四四六	六七	一〇〇、三三四	三三、一〇四	三四、三四〇	二、二四三	五、二四三	一五四、〇四八	二二二、八四六	六、〇九二	二〇、二六六	二二、二四四	六、八〇三
三九	五、七八六	六六七、三四一	八、五三七	二八五、四六六	七四	一、〇八七、三三三	二、七一七	二四、七一七	一、二一二	五、一一七	一四六、〇四〇	二二三、二六六	七、三〇七	二、九〇九	二、九四〇	六、八三四
四〇	五、〇一八	六六八、九五八	七、五二八	二九九、三〇〇	六	一、三六四、七四〇	二、七一	二六、八三四	六、八三四	五、二四三	一四六、〇四〇	二二二、八四六	六、〇九二	二、二六六	二、二四四	六、八〇三
四一	三、三九三	六七七、七二一	六、六二八	二九〇、四七二	四一	一、〇一、九三〇、二二二	三一、七九六	二八八、一五二	三一四、二九八	六、三四〇	一五八、八二二	二二六、七四六	七、三〇七	二、九〇九	二、二四三	六、八〇三
四二	二、九一七	八一、六八八	五、七三二	二八九、四〇七	四四	一、〇一、九三〇、二二二	三一、七九六	二八八、一五二	三一四、二九八	六、三四〇	一二〇、四六六	二二六、七四六	七、三〇七	二、九〇九	二、二四三	六、八〇三
四三	一、九四〇	二一、六六四	三、八一二	二七三、〇三六	五八、九	七八〇、三〇、八五八	四一、四一二	三一四、二九八	六、六六九	六、二四一	一二六、五四、〇二八	二二二、八四六	六、〇九二	二、二六六	二、二四四	六、八〇三
四四	一、三三八	一〇、四五七	三、二九九	二五七、三五〇	五七〇	七九七、三〇、九五九	四一、四一二	三一四、二九八	六、六六九	六、二四一	一四四四、九〇五	二二二、八四六	六、〇九二	二、二六六	二、二四四	六、八〇三
元	一、〇一九	一〇、四五三	三、二八九	二六〇、二四三	五二八	七七一、三三、五五四	三八二、六二八	二六、三四〇	六、六六九	六、二四一	一二〇、四六六	二二二、八四六	六、〇九二	二、二六六	二、二四四	六、八〇三
二	六四一	一〇、八〇一	四、七六一	二八七、九三六	六五	七、九三五、二四二	三八二、六二八	二六、三四〇	六、六六九	六、九一五	一二〇、四六六	二二二、八四六	七、〇九三	二、二四四	二、二四四	六、八〇三
三	六四九	一〇、七三三	五、二四七	二八〇、一〇九	—	—	三七、〇一四	四〇四、九八一	七、〇九三	六、六六八	一二〇、四六六	二二二、八四六	七、〇九三	二、二四四	二、二四四	六、八〇三
四	六七一	一三、〇三三	五、三三二	六〇二、七三五	—	—	三八、三八三	四一六、二九三	七、六七八	七、四四五	二〇四、九八六	二二二、八四六	七、〇九三	二、二四四	二、二四四	六、八〇三

六、保安林種類別面積累年比較

種別＼年次	明治四十三年		明治四十四年		大正元年		大正二年		大正三年		大正四年	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
土砂扞止林	一〇四、九一四	四二一、一九八町	一〇三、〇二八	三九五、八七五町	一二八、一二七	四一九、一三四町	一三〇、〇八八	四三三、七三八町	一三九、八〇九	四四三、三八八町	一四六、〇八九	四六四、九一八町
水源涵養林	七〇、〇三六	三九五、七四三	四五、七六二	四五〇、三〇〇	七〇、一四七	六四一、四五四	六八、一〇二	六八三、七三五	六九、三四〇	六四三、七三五	六四、三四〇	六四三、七三五
水害防備林	一、九〇三	一、五六四	一、九〇八	一、四九二	一、三〇〇	二〇一五	三、七二五	二、八五二	四、九五三	三、六四八	三、六四八	三、六四八
墜石防止林	二〇〇	四三九	一、九二	二六八	二三〇	五三五	二五四	九七七	三〇七	七八七	三〇八	七八七
計	一〇四、九一四	四二一、一九八	一〇三、〇二八	三九五、八七五	一二八、一二七	四一九、一三四	一三〇、〇八八	四三三、七三八	一三九、八〇九	四四三、三八八	一四四、九一八	四六四、九一八

年次 / 種別	明治四十三年		明治四十四年		大正元年		大正二年		大正三年		大正四年	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
頽雪防止林	二、九二三	四、八七五町	二、九九二	二、九四一町	二、九〇六	八、三七一町	三、〇八六	九、二一一町	三、二二九	五、九〇〇町	三、三二七	五、八九〇町
防風林	六、六一二	一一、四二七	一〇、〇八九	一七、五三六	一〇、二七八	一六、〇五五	一一、一四四	一八、七六〇	一一、五四	二〇、一七一	一一、三四三	一九、九一三
飛砂防止林	四、八三	四、四二七	五、〇八七	五、九二七	五、五六四	六、五八五	七、二六八	七、九三三	八、三三九	八、三五一	八、三五七	八、三九七
潮害防備林	三、五四六	四、一一五	四、九二七	四、一五五	七、〇六八	八、六〇八	六、六〇二	六、三〇三	七、〇八二	七、九七二	七、〇三七	七、〇三七
魚付林	一二、七六九	二八、九六九	一二、九〇〇	二五、九九二	八、四七七	二五、九九二	三〇、三六七	一七、一二一	二九、七五三	一七、二八四	三一、四二三	一四、九七三
航行目標林	二〇六	一、三五六	一、四二一	一、六五五	一、四二三	一、六五五	五、九〇六	二二一	六、三〇六	二二九	二、〇二二	九〇
公衆衛生林	二二九	七〇	二六四	九五	二五四	九四	九五	二五一	九五	一五	一五	
風致林	八、四七三	一七、一八九	八、一四五	三、九六四	七、六四	二五、五五七	七、八〇二	七、七九七	七、七九七	二九、九九三	七、二〇三	二二、八五八
計	三六、六八三	八八一、三五四	一九七、四五六	一、〇四二、二七九	二四〇、八六〇	一、二六六、三四一	二五六、九四六	一、二五六、八七〇	二六五、三三一	一、二五〇、六七二	二六九、九四一	一、二五二、五六九

第二 林野産物

一、御料林樹種別伐採材積累年比較

用材（其一）

年度	区別	杉	扁柏	松	落葉松	花柏	羅漢柏	檜	栂
三九	材積	三四、九〇七尺〆	二二、六三二尺〆	九〇、一〇五尺〆	—	—	三、六尺〆	二九、一〇七尺〆	三八、九九八尺〆
	價額	三二、一三三円	一八七、〇六一円	二三八、三四五円	—	—	一七円	八九、六九五円	四六、七四六円
四〇	材積	三三、三七八	二九、〇五五	九二、八一五	—	—	九、〇九七	二〇、五八四	一七五、四三四
	價額	四一、四一〇	二五八、三九七	三、八、九〇	—	—	三、四九六	一二六、〇四	五三、二一〇

用材（其二）

年度	区別	樟	擦	櫧	栗	其他	計	薪炭材
四一	材積	二五、八四六尺〆	四五、五二一尺〆	六二九、三五九尺〆	一、二二一尺〆	一三六、三五二尺〆	四、五二九尺〆	二七一、八〇二尺〆
	價額	三四、〇五八円	二四八、三五五円	二三四、八三一円	三六四円	二二四、三五八円	一、八八三円	八〇、五三三円
四二	材積	二七、九二二尺〆	二八、九二二尺〆	三三九、六一九尺〆	三、一五一尺〆	一七、一六六尺〆	一四、三五五尺〆	一〇五、七四九尺〆
	價額	一六、九二二円	二二〇、七五八円	三五七、六一七円	三五四円	一七、一六六円	一四、三五五円	一四四、〇五六円
四三	材積	五四、二二七尺〆	五五、八七七尺〆	一八二、七七七尺〆	一、四四二尺〆	一四〇、九六四尺〆	二、一八四尺〆	一七九、九二四尺〆
	價額	三四、一三七円	三五、五五七円	一一四、四四〇円	一、二四四円	一四〇、九六四円	二、一八四円	一七九、九二四円
四四	材積	三〇、九六二尺〆	三五、七七七尺〆	一八二、七七七尺〆	一、四四二尺〆	一四〇、九六四尺〆	二、一八四尺〆	一七九、九二四尺〆
	價額	三三、四六五円	三五、五五七円	一一四、四四〇円	一、二四四円	一四〇、九六四円	二、一八四円	一七九、九二四円
大正元	材積	五七七、七三六尺〆	六二、一七六尺〆	六八一、三五六尺〆	四四九、三九六尺〆	二五二、二〇九尺〆	一〇四、九四四尺〆	二二九、一二九尺〆
	價額	三四八、六七三円	六八一、三五六円	四四九、三九六円	二五二、二〇九円	一〇四、九四四円	二二九、一二九円	一九九、六一九円
二	材積	六二〇、九六二尺〆	三六、九一三尺〆	一、〇四二、四八五尺〆	三四一、七四三尺〆	二七六、四一四尺〆	七七、一二四尺〆	二七九、二〇七尺〆
	價額	三五五、四六四円	三六、九一三円	一、〇四二、四八五円	三四一、七四三円	二七六、四一四円	七七、一二四円	二七九、二〇七円
三	材積	八五八、一一三尺〆	一九、一二四尺〆	三四一、七四三尺〆	八七二、一一三石	一、一一九尺〆	一、四四二尺〆	二、一八四尺〆
	價額	一四四、一六六円	一、四四二円	三四一、七四三円	八七二、一一三円	一、一一九円	一、四四二円	二、一八四円
四	材積	三七、一二六石	四、一六六尺〆	二七六、九三四石	七、三一九石	八七四石	一、一四二石	二、〇一九石
	價額	三七、一二六円	四、一六六円	二七六、九三四円	七、三一九円	八七四円	一、一四二円	二、〇一九円
四〇	材積	四六、六六三尺〆	九四、一六三尺〆	二六六、一七七尺〆	七、七九八尺〆	二、一四一尺〆	一、二五六尺〆	二、〇八八尺〆
	價額	四六、六六三円	九四、一六三円	二六六、一七七円	七、七九八円	二、一四一円	一、二五六円	二、〇八八円

年度	區別	樟	擂	櫸	栗	其他	計	薪炭材
四一	材積	一、〇一九尺	五、六三一尺	一、八四八尺	二九、一四八尺	四〇、一四三尺	一、八八九、二一四尺	一八、〇一一、一六一尺
	價額	二九、〇一九円	六、〇一九円	一、一六七円	一三、〇三七円	一二、六〇四円	九、六三、〇一二円	一四一、八三六円
四二	材積	一〇	一四、八三〇	九九、〇	一九、九二七	四四、七三七	八、九八八、七七六	一三、一五九、一九五
	價額	四	八、九二四	一、一六七	三三、九三七	一五五、七三八	一、一二七、一九五	一三〇、九四三
四三	材積	二	九、六五〇	二、二一〇	二一、四六六	六五六、六二八	二、二三二、五八五	一八、六四三
	價額	五	二、六八七	一、七七七	一、三五六	二二三、八一七	一、四九六、六五三	一三、一九九
四四	材積	二三	三、〇四三	三、〇〇六	三三、一八二	七七一、六二八	二、七三一、三三六	八二、〇〇一
	價額	四〇	二六、四七三	二、一八四	三三、七〇四	二七七、一九一	一、六八八、〇〇一	一四六、四一九
大正元	材積	四	二四、七二四	一、二四〇	二一、九八三	六四六、六二一	二、七三二、〇八七	一七九、二八二
	價額	四	三六、〇〇九	一、〇一三	二一、八四二	二三三、一五〇	一、七七七、八四二	一五〇、六五二
二	材積	一五	一六、一四八	一、九三四	二三、七一九	八三五、一八八	三、一六二、二五九	九〇、〇三二
	價額	五六	三一、〇一七	二、一八	二三、七一九	三〇四、二二七	二、二七一、三三八	一六九、二五六
三	材積	一三	二一、六二〇	二、七三三	二一、四四八	四七七、四三〇	二、四六六、四七〇	一七、四七七
	價額	三六	二一、一〇九	三、九八七	二、九九七	一五六、〇二七	一、四四〇、一四七	一四、〇四〇
四	材積	一九	三一、八一五	四、三四	三、三六七	二、〇四一、一二七	一、八八九、二一四	一七、一七七
	價額	七五	三一、八一五	四、三四	三、三六七	二、〇四一、一二七	一、八八九、二一四	一七、一七七

二、國有林樹種別伐採材積累年比較

用材（其一）

年度	區別	杉	扁柏	松	落葉松	花柏	羅漢柏	櫟	椚
三九	材積	八六二、三五一尺	二二一、七三八尺	九一三、七五〇尺	—	—	三五五、一一〇尺	五六二、七四〇尺	二八六、四四一尺
	價額	一、〇四八、二四四円	一七九、八〇九円	五一八、三五九円	円	円	二五五、四〇円	二五三、五九〇円	八四、九二一円
四〇	材積	五七五、三九八	一七八、七七〇	八七〇、〇〇八	—	—	二四三、〇三〇	四八一、八八九	二四〇、一八九
	價額	一、〇〇九、七〇四	一七八、五五四	六三一、二四〇	二三九	一〇、五六四	二六二、五六四	二三〇、一〇四	一〇九、七三七
四一	材積	五三六、七七一	六三一、八三	六九一、九八三	二四四	一〇、四六三	九七、六五四	三三六、九〇一	一八、八七七
	價額	一、〇七二、三三九	一一四、一四九	五五三、二三七	一三四	一〇、〇六三	一一六、七七九	二二七、〇四四	一七、四四七
四二	材積	五七九、四七二	九一、〇八九	六二一、七四三	一、六三	二二、四七八	六二、〇三七	一七、四七七	六二、〇四七
	價額	九八四、九四六	一六八、一九二	五七六、五四三	九九	一〇、四七一	六六、五八七	一八、八七七	六、七四七
四三	材積	五一、四九、〇四四	六三、八一二	六六五、八〇八	三七〇	六、六八一	六二、八七〇	二五五、九三四	一六、八一一
	價額	九九二、九五二	二二六、四八四	四八〇、二三六	一六八	四、五一一	七一、九一三	一八八、九五九	二、七七六
四四	材積	三三三、五三五	九五二、一四一	七〇七、〇八九	二、四六四	七、七〇五	二六、一八六	二八四、六四三	二、七七六
	價額	六六五、九四三	一七一、〇二二	五四八、〇九七	九三三	一、四六一	一、九九、四一七	一、九九、四一七	三、五八一
大正元	材積	一七六、九五三	六六八、四八四	六六一、二四一	三、五八一	二、〇〇〇	三、四〇〇、〇四四	二、〇〇〇、〇四四	二、七七六
	價額	六〇九、一五九	一四〇、五九四	五九〇、九四五	二、七七六	一、四〇二	一、七、四〇二	一、七、四〇二	四、九二一
二	材積	四四八、一一一	八四、九二七	七五八、三一九	二、四四四	二、三七五	四、九二一	四、九二一	六、一〇五
	價額	八九五、四六四	一八七、四〇四	六七五、七一七	三、九二一	二、三七五	六、一〇五	六、一〇五	一、三三二

森林統計

用材（其二）

年度	區別	杉	扁柏	松	落葉松	花柏	羅漢柏	檜	樅
三九	材積	三五〇、六二一	七一、四三一	六七七、四三七	九、〇〇四	一〇、一五二	一五、九五九	二七四、五六五	三六八、五一六
	價額	六六八、一五五	一七〇、六六五	五五九、八一五	二、二六六	一三、九九五	一三、一三五四	六九、九〇五	六九、九〇五
四〇	材積	一、六四三、一〇四石	一四三、五九三石	一、〇〇六、一九八石	三三、八四四石	一八、九四三石	五三九、一一石	八九、一三五石	七四四、七九〇石
	價額	二、二六八、二六五円	二五六、〇三六円	六六八、八九九円	四、三六五円	一五、六六八円	三九五、〇一三円	三九五、二五五円	二四〇、五六六円

年度	區別	樟	櫧	栗	櫟	其他	合計	薪炭材
三九	材積	一八、八三六尺〆	三五、六一六尺〆	四六、八四〇尺〆	五五、六三四尺〆	八、一二五尺〆	四、一三一、九六〇尺〆	一、三三六、八五四貫
	價額	六六、七五六円	五四、五九三円	三三、五五三円	二五、三三三円	三七四、二七六円	三、三五三、七七九円	八四〇、二四八円
四〇	材積	一〇、〇七八	二四、三二一	四七、七八九	四五、三二一	八、〇一三	四、六〇九	一、六六六、三六六
	價額	四五、一七七	四六、五四八	三三、五七六	四五、三二一	三、七八八	三五九、一五五	一、〇〇六、一七八
四一	材積	六、九八〇	一四、六〇一	三〇、六七一	四〇、四四五	六、六四八	六八七、九八八	一、〇〇六、一七八
	價額	三三、九九九	二七、二四〇	二〇、六三三	二七、四九一	四、九五七	四三六、五〇六	一、〇〇六、一七八
四二	材積	一九五	一五、四二九	四一、二二六	七一、七〇〇	五、六七三	三六、三二〇五	一、〇〇六、一七八
	價額	四五九	三二、三三五	二八、三二九	四五、四七四	三、九四三	三八一、〇〇九	一、〇〇六、一七八
四三	材積	一、四三四	二四、四〇四	二七、〇四六	四七、八四七	五、七四六	五九七、三〇三	一、〇〇六、一七八
	價額	三、五七七	四三、四〇五	二〇、五二七	三五、〇八三	三、三六七	三六、八三七	一、〇〇六、一七八
四四	材積	一、八三八	一二、三〇三	二三、九九九	七一、六六六	七〇六、四〇七	六六六、三三三	一、〇〇六、一七八
	價額	九、二五八	一九、五七三	三九、一四三	五三、九三六	四一〇、一七七	四一九、一一八	一、〇〇六、一七八
大正元	材積	六七〇	二八、九一七	二一、八六五	八五四、九四七	六六、一一七	八三八、〇一七	一、〇〇六、一七八
	價額	二、九八	四一、一五六	一七	六六、三一四	三、六八〇	五九三、四四〇	二、三五一、一七五貫

公有社寺有私有林樹種別伐採材積累年比較

用材（其一）

年度	區別	杉	扁柏	松	落葉松	花柏	羅漢柏	檜	樅
二	材積	一〇七四	三三、二二一	五二、五五四	九五、七七	六、七九五	四七八、二二一	八五、四三一尺〆	一、九九五、一九九貫
	價額	三、四九四	五四、六二一	八一、六三四	六七、三五	一、四四六	一三、一四四	一、二四〇、一四四円	一、二八〇、二八八
三	材積	二、七八三	二八、五三六	五九、二九〇	九三、七〇	三、二八四	一〇、七〇八	六、六四一尺〆	一、二八〇、二八八
	價額	五、一八二	四九、七〇〇	六七、四一	五六、七六二	八、四八四	一、七〇八	一〇、六三六円	一、二八〇、二八八
四	材積	一、七〇二石	六五、四三石	七四、九九五石	一、〇〇四石	四、八八石	六七、一四二	一、〇〇六、一九八石	一、二八〇、二八八
	價額	三、三二三円	九八、五二二円	六三、二三円	八一、一〇円	二、一〇八円	二、八一〇、二八八円	一、三二一、〇九九円	一、二八〇、二八八

年度	區別	杉	扁柏	松	落葉松	花柏	羅漢柏	檜	樅
三九	材積	三、三二一尺〆	六四四、五八八尺〆	六、三六、七五二尺〆	尺〆	尺〆	四〇、八七六尺〆	八〇二、六七〇尺〆	四八〇、九七九尺〆
	價額	二、二三一、九二三円	二、二二一、八八八円	一〇、六二九、五八八円	円	円	一二三、七九八円	九五四、七七八円	五五三、三五八円
四〇	材積	六、七〇九、八九八	七九一、七九三	九、八〇六、九五三	—	—	四四二、七〇二	一、〇〇六、六五〇	一、四四三、八九七
	價額	二五、五三四、一五七	二、五六九、〇三八	一一、五三七、八四〇	—	—	九八、四四八	一、一五五、三二二	七、四五、四七七
四一	材積	七、二四〇、六八四	七六四、三九八	六、八八三、八一四	三六、七三二	二、〇九二	四四三、〇九二	一、三五五、三二二	六、八四〇、七〇七
	價額	一八、〇七〇、九四一	三、三〇一、一六三	一三、五七一、七四四	五八、四四九	五、二四六	一三、五五四	一、一一五、一七九	三、三五八、七七八
四二	材積	一五、五三四、一五七	二、五六九、〇三八	一一、五三七、八四〇	—	—	九八、四四八	一、〇〇六、六五〇	一、四四三、七七九
	價額	一六、三三五、〇八七	八四〇、七〇七	六、五六〇、五五二	二〇、六五五	一、一一五	六四四、二一六	一、〇〇六、一五五	三、三五八、七七八
四三	材積	六、七〇九、八八八	七九一、七九三	九、八〇六、九五三	三六、七三二	二、〇九二	四四三、〇九二	一、〇〇六、六五〇	七四五、四七七
	價額	一六、八三一、六〇三	三、〇一五、三九四	一一、五三七、八四〇	五八、四四九	五、二四六	一三、五五四	一、一一五、一七九	三、〇一五、三九四
四四	材積	一、八三八	一二、三〇三	二三、九九九	七一、六六六	四一〇、一七七	四一九、一一八	二、三五一、一八七	二、四四三、三三七
	價額	九、二五八	一九、五七三	三九、一四三	五三、九三六	四、〇四七	八三八、〇一七	二、三五一、一八七	二、四四三、三三七
大正元	材積	六七〇	二八、九一七	二一、八六五	八五四、九四七	六六、一一七	八三八、〇一七	二、三五一、一八七	二、四四三、三三七
	價額	二、九八	四一、一五六	一七	六六、三一四	三、六八〇	五九三、四四〇	二、三五一、一八七	二、四四三、三三七

年度	區別	樟	櫧	栗	櫟	其他	合計	薪炭材
三九	材積	一八、八三六尺〆	三五、六一六尺〆	四六、八四〇尺〆	五五、六三四尺〆	八、一二五尺〆	四、一三一、九六〇尺〆	一、三三六、八五四貫
	價額	六六、七五六円	五四、五九三円	三三、五五三円	二五、三三三円	三七四、二七六円	三、三五三、七七九円	八四〇、二四八円
四〇	材積	一〇、〇七八	二四、三二一	四七、七八九	四五、三二一	八、〇一三	四、六〇九	一、六六六、三六六
	價額	四五、一七七	四六、五四八	三三、五七六	四五、三二一	三、七八八	三五九、一五五	一、〇〇六、一七八
四一	材積	六、九八〇	一四、六〇一	三〇、六七一	四〇、四四五	六、六四八	六八七、九八八	一、〇〇六、一七八
	價額	三三、九九九	二七、二四〇	二〇、六三三	二七、四九一	四、九五七	四三六、五〇六	一、〇〇六、一七八
四二	材積	一九五	一五、四二九	四一、二二六	七一、七〇〇	五、六七三	三六、三二〇五	一、〇〇六、一七八
	價額	四五九	三二、三三五	二八、三二九	四五、四七四	三、九四三	三八一、〇〇九	一、〇〇六、一七八
四三	材積	一、四三四	二四、四〇四	二七、〇四六	四七、八四七	五、七四六	五九七、三〇三	一、〇〇六、一七八
	價額	三、五七七	四三、四〇五	二〇、五二七	三五、〇八三	三、三六七	三六、八三七	一、〇〇六、一七八
四四	材積	一、八三八	一二、三〇三	二三、九九九	七一、六六六	七〇六、四〇七	六六六、三三三	一、〇〇六、一七八
	價額	九、二五八	一九、五七三	三九、一四三	五三、九三六	四一〇、一七七	四一九、一一八	二、三五一、一八七
大正元	材積	六七〇	二八、九一七	二一、八六五	八五四、九四七	六六、一一七	八三八、〇一七	二、三五一、一八七
	價額	二、九八	四一、一五六	一七	六六、三一四	三、六八〇	五九三、四四〇	二、三五一、一八七貫

森林統計

用材（其二）

年度	区別	杉	扁柏	松	落葉松	花柏	羅漢柏	檜	樅
四四	材積	六、七三、〇三二	七三、三八七	六、三五、三二〇	四三、三一五	二四、六二六	五〇、一七〇	三三〇、七九六	五二、一四五
	價額	一九、三三三、八六九	二、八九二、六九三	一一、二〇、四三〇	五〇、六四一	五四、九三五	二八、七三九	一、一七〇、〇七五	七四八、八六九
大正元	材積	六、一七五、九七九	七一五、三〇〇	六、七一七、四八八	二三、七四二	三、一八六	三、一四三、二二三	九、一五〇、三	一、四三、二九四
	價額	一八、九六一、七三三	三、一五九、八三二	一三、五九七、九八七	四四、〇三八	五九、一六六	九一、五〇三	八五七、〇五一	五四三、三四〇
二	材積	六、一八九、三三三	七〇七、九五〇	六、一八四、六四六	三八、六五八	二四、四九二	三四、一七二	一、四六六、三九三	六六四、一二六
	價額	一九、一四七、一一〇	三、二〇〇、〇二二	一一〇、九〇〇	六九、五一三	六三、四一七	一〇六、四四七	一、四八六、三九三	五三、一八七
三	材積	五、〇八一、六〇一	五三四、八七六	九、七七、九九七	二七、五九六	二、二五五、五九一	二一〇、六三四	九六、一二四	四四、一二四
	價額	一四、三九五、八七九	二、二三五、九九〇	九、三八〇、四〇九	一、二四、一五七	一、二四五	一、九〇五	一、四〇、八一五	一、一四、一二五
四	材積	五、六八一、七一三	八六、一、六三八	五、四四、八一四	一〇四、四三〇	一三、〇六七	九、一一七	六七、一四七	六、一七、一二五
	價額	一三、四三八、五六一	二、四六八、〇四五	三、四〇八、一四五	三四、九三六	四、一四八	一〇、三六六	一、一二八、一三五	六六八、五七一
四一	材積	五、〇五七	七、八七五	一四一、三五五	四八、四三八	一四四	九七一、〇八六	一六、二六、〇五七	二六、〇九九、九三九
	價額	二六、四二三	三〇〇、六三八	五〇三、三〇	九〇三、九五五	一、〇七一	一、〇四三、八一五	一、一三八、一三五	三〇、六三六、四四五
四〇	材積	一、〇一、六三七	一、〇一、六三七	一四一、八四九	一四、二六七	一、九〇五	一、三八五、一〇一	三七七、一〇六	二四、九七七、八九〇
	價額	一四、八四九	三七七、一〇六	五、三四三	四四、一四四	三、〇九六	一、三五六、〇四三	一四、九七一、七四九	二四、六六八、六四六
四一	材積	三一、〇四〇	二四、七七一	三六、〇九五	二、六八六	二四、六六八	八四、八五五、九一〇	二、一四、九七二、六二三	二、一四、九七二、六二三
	價額	六、一四〇	八三、〇九五	六六、一四〇	四、二四〇	一四、一四八	九、一六、九〇五	一、一四〇、九九四	一、一四〇、九九四
四二	材積	三四、九三六	六六八、五七、一	一〇五、六七八	一〇四、一二〇	一〇、三五六	一、一二八、一三五	二六、一四五、一九五	二六、一四五、一九五
	價額	三四、九三六	六六八、五七、一	一〇五、六七八	四四、一四八	一〇、三五六	一、一二八、一三五	二六、一四五、一九五	二六、一四五、一九五

薪炭林

年度	区別	樟	櫟	櫟	其他	合計
四四	材積	五、〇五七	七八、六七五	一四一、三五五	四八、四三八	二六、四二三
	價額	二六、四二三	三〇〇、六三八	五〇三、三〇	九〇三、九五五	一、〇七一、六三七
大正元	材積	四、一六七	一、〇一、六三七	一四一、八四九	一、一四七	一四、八四九
	價額	一四、八四九	三七七、一〇六	五、三四三	四四、一四四	三、〇九六
二	材積	三一、〇四〇	二四、七七一	一九二、六六九	二、六八六	二四、六六八
	價額	六、一四〇	八三、〇九五	六三、一四〇	四、二四〇	一四、一四八
三	材積	一〇五、六七八	一〇五、六七八	一九二、六六九	一、一四〇	一〇五、六七八
	價額	一〇五、六七八	一〇五、六七八	四四、一四八	四、二四〇	一〇五、六七八
四	材積	六、一七、一二五	一、一二八、一三五	一、一四〇、九九四	一、一四〇、九九四	一、一二八、一三五
	價額	六六八、五七、一	一〇五、六七八	九、一六、九〇五	九、一六、九〇五	九、一六、九〇五
四一	材積	三四、九三六	一〇、三五六	一〇五、六七八	一、一二八、一三五	一〇、三五六
	價額	三四、九三六	一〇、三五六	一〇五、六七八	一、一二八、一三五	一〇、三五六
四二	材積	二四、六六八	二四、六六八	一〇五、六七八	一、一二八、一三五	二四、六六八
	價額	二四、六六八	二四、六六八	一〇五、六七八	一、一二八、一三五	二四、六六八

森林統計

四、各種林産物産額累年比較

（＊サ付シタルハ掲記數量以外ニ屬スル價格ナリ）

種別 ＼ 年度	明治三十八年		明治三十九年		明治四十年		明治四十一年		明治四十二年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
丸太及角材	二、三三一、〇一八尺	二一、六四五、九一二円	二五、六八八、九七四	二五、六五八、三五三円	一四、八〇二、四七一	三四、六五三、五五四円	一三、五八八、六七一	三〇、七三一、九八七円	三八、四三九、九八八円	
鐵道枕木	一、一四四、八一六挺	三一〇、六七六	一、六二一、二四一	五〇一、二七一	一、八〇三、〇九七	六三三、五九二	一、九七三、九七四	＊七八一、五八八 三六八	一、五七六、六三二	五〇、七三一、九七四
下駄材	一、一五九、一一〇〇尾 六〇五、一七九ノ	＊二四九、九六三 九三九、三七六	一、〇八八、五一五 ＊一四、七六六	＊一四、〇四三	＊一、〇六六、四三四 ＊一〇一、二七八	九九九、一七〇	一、〇七三、〇九七	一、四五五、〇四三 ＊三九、九六四	＊一、四五五、〇四三 ＊三九、九六四	七二、八一四

種別＼年度	明治三十八年 數量	明治三十八年 價格	明治三十九年 數量	明治三十九年 價格	明治四十年 數量	明治四十年 價格	明治四十一年 數量	明治四十一年 價格	明治四十二年 數量	明治四十二年 價格
挽材	一三、〇五七、八七〇 石	七、八七一、六二五	一六、七〇八、九〇一	一〇、〇五〇、六二五	二〇、一一〇、一二一	一、四四八、一七〇	一九、四三二、八〇六	一三、八六〇、六九九	一七、九三〇、六九五	一三、二六三、六六二
樽木	五〇五、〇七九 箇	二六三、八五〇	三三九、八七〇	二六一、八六	九八、八七三	三四四、八八九	四〇九、三七七	七五、三五五	八九三、三七二	六五、八七〇
包裝箱用材	一七三、九四〇 箇	一〇〇、三七〇	一四〇、四七五	一九〇、九八	一、六二一、八七	二六五、〇七七	二九、五〇八	二六六、一四四	一、六四三、〇七七	二六、一四四
車輛用材	二七、八二一 尺	二六、〇〇六	九二、一六七	三三、七一六	九六、一〇三	一二四、一九三	一〇〇	一六、一〇四	三、七八〇	一四五、八八
曲輪	二六、〇〇六 基	一、九〇〇	三、一〇三	四、五五九	四、五五九	三八、六一八	五、三〇〇	五〇、六七一	三、五四四	三、一〇三
燒寸用木片	五、三〇五、九二四 把	四九〇、九五九 把	七、〇〇四、五五五	七六、七七四	七、〇〇四、五五五	三三、四二六	六、一三	三三、四二六	八、七六六、一六一	三〇三、八〇二
經木	四九〇、九五九 把	五六、二四九	四四九、九一六	四七、三三〇	四四九、九一六	一七六、五五六	一六、六〇三、八五九	三〇三、八〇二	八四、〇五八	八九、〇五四
製紙原材	一九、七八二、五八五 斤	一〇〇、七九五 右	一七、九二五、八四三	六二、〇五五	六二、〇五五	一、〇五八、三五五	一、三四五、八二二	一、〇一二、四二〇	四、五四七、四五〇	一、三五八、〇四〇
竹材	三、八四一、七五七 束	一、三四一、六六七	一、三四一、七五七	一、〇一二、四二〇	一、三四五、八二二	一、三五二、四八五	一、八〇、三三三	一、六〇、四七五	二、九七四、三五八	一、六四八、九一六
苗木	二七七、八八九、六九二 本	二、三五六、六	二、三五六、六	三、一七八	四八、七四〇	二、一二、一八八	三三二、八三三、八三四	二、一四、一八八	一、六四三、〇七七	一、六四八、九一六
種子	二、三五六、六	一三八、八五二、六	一、三五、八五二、六	一、三四五、九〇〇	六、一四三、一〇九	六二、一四四、九〇〇	二四〇、六七四	二四、八五五	三三、一四四、六二二	二、九七、一四四
樹實	四五、四六二、七	二〇、一九六、七〇〇	二四〇、六七四	二四、八五五	二四、八五五	三三、一四四、六二二	三〇、一九六、七〇〇	四五、四六二、七	一、六四三、〇七七	一、六四八、九一六
樹脂	一三三、二七七 斤	五五四、六三八	一三、五二二	六、七三六、七四七	六、七三六、七四七	八三、五五四、六二二	三〇、一九六、七〇〇	一、六四八、九一六	一、六四三、〇七七	一、六四八、九一六
杉皮	四、七三三、一三〇 束	五五四、六三八	一三、五二二	六、七三六、七四七	六、七三六、七四七	八三、五五四、六二二	三〇、一九六、七〇〇	一、六四八、九一六	一、六四三、〇七七	一、六四八、九一六
檜皮	六、一五二、七、一三 束	七四、七七九、一六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六	一、〇五二、四八六

種別＼年度	明治三十八年 數量	明治三十八年 價格	明治三十九年 數量	明治三十九年 價格	明治四十年 數量	明治四十年 價格	明治四十一年 數量	明治四十一年 價格	明治四十二年 數量	明治四十二年 價格
竹皮	一、〇五八、〇一二 貫	一六七、九六三	一、〇一二、三〇一	一、七四、四一七	二、五五三、九三三	一、九七七、一八八	一、〇五九、八五七	一、〇〇五、九四二	二、七九八、八九二	一、九七七、一八八
染料樹皮	三、三七一、一四四 斤	七三、六九〇	二、四一八、四九三	八四、一八五	四、四八〇、六〇三	九六、一〇三	一、六二一、八七三	一、六四八、九一六	一、六二一、八七三	一、六四八、九一六
木炭	二七、一五〇〇 束	二九八、九六三、二六七 斤	一、六四五、〇八三	二二一、一六九、七三一	二、九三三、九九三	二二三、九九〇〇九五	二二三、九九〇〇九五	二二三、九九〇〇九五	二二三、九九〇〇九五	二二三、九九〇〇九五
粗製樟腦	五七七、〇七〇 斤	三九、七八八	七三三、七〇〇	四三六、一七二	四三六、一七二	七四三、五〇九	七四三、五〇九	七四三、五〇九	七四三、五〇九	七四三、五〇九
樟腦油	六五二、五四九 斤	一八九、七二九	八四三、八九五	二二九、一九六	九五八、一〇六	九五八、一〇六	九五八、一〇六	九五八、一〇六	九五八、一〇六	九五八、一〇六
木精	六、三〇〇 リットル	四、〇四〇	七三三、七〇〇	一七九、九九六、一三〇	二四一、二二四、八三六	二四一、二二四、八三六	二四一、二二四、八三六	二四一、二二四、八三六	二四一、二二四、八三六	二四一、二二四、八三六
薪材	二六、三五一、九〇二 タナ	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六	二二、九二七、三六六
醋酸石灰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松煙	四八五七、〇四三 斤	六四、八五九	三九五、〇一四	八三、一六四	四九九、七八三	一四、一九八	四六、〇〇七	六七、九五四	二四四、四〇五	一四、一九八
蔓莖	一、一八六、〇七三 束	三二、一八八 二六六	七三四、九三二	三三、三三八 四一三	七二四、五八〇	一四、一八七	一五、一七三	六八三、四八四	二四、一四四	一五、一七三
香料	一、三二三、八四〇 斤	一七、七一四	七六七、一〇〇	一四、一八七	六八三、四八四	九六、九四七	六二、九九二	五五七、七三三	二四、一四四	九六、九四七
五倍子	四五二、七六〇 斤	七三、九五八	二六三、二六八	九六、九四七	六八八、八七六	一、八五九、六四四	一、五七七、五三三	五五七、七三三	二四、一四四	一、八五九、六四四
椎茸	一、五五八、〇五〇 斤	八五五、一〇五 七〇五	一、四四八、四一六	九〇、六九五、二八九〇	一、八五九、六四四	一、〇二六、九二一	一、五七七、五三三	一、〇二六、九二一	二四、一四四	一、〇二六、九二一
松茸	五、〇一五、一〇五 斤	四〇九、九五八	四一七、〇九一	四四三、九四三	四四三、九四三	五三九、一〇九	五三九、一〇九	五三九、一〇九	五三九、一〇九	五三九、一〇九
雜菌類	六四四、〇一一 貫	一〇九、四九一	五九六、七五〇	一九六、五八〇	一三九、一〇九	二七九、四五七	二七九、四五七	二七九、四五七	二七九、四五七	二七九、四五七
自然生蠶柔	一三六六三、九八三 貫	二三九、〇〇六	三、〇〇八、六一〇	八三五、六二七、七〇七	四、四八七	三、六三六、三六三	三、一五七、一五七	三、一五七、一五七	三、一五七、一五七	三、一五七、一五七
下草	五九二、五九七、六六一 貫	四、六三五、二一〇	二、七七、八五二	二、七七九、四五七	四、〇一八、八九二	二、六四四、九八七	二、六四四、九八七	二、六四四、九八七	二、六四四、九八七	二、六四四、九八七
木獵	三、三五五、九四二 貫	二、七七、九六三	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七	二、三二四、三一七

種別＼年度	明治四十三年		明治四十四年		大正元年		大正二年		大正三年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
丸太及角材	三三、四一七、〇一五	三五、〇七三、七九四	三三、九六六、六四一	三六、六七一、五八三	三五、八二二、四二一	四三、四〇八、三五五	三三、六六八、六四九	三八、三五五、九七七	二一、九七三、〇一九	三三四、六六、四九一
鐵道枕木	一、四〇一、五三五	六〇四、〇三三	二、〇六二、六五九	六七〇、三六三	四、二六六、〇〇〇	一、〇二七、四四一	二、八六六、三四九	一、四九三、三四八	一、八六七、九四〇	八四八、六二八
下駄材	六〇四、〇三三	二四九、六〇一	五七〇、七二三	一、七三四、六八八	五七九、三五三	四四六、〇五三	二、〇二三、〇六四	四四三、五五三	二、〇四二、〇一四	一、〇二七、〇一六
挽材	一九、三二七、二八六	一五、九九三、三二一	二四九、一一〇	二二、九四二、四七七	二四八、〇一〇、九八一	二、〇三二、〇二一	二四、一七一、一八七	二、〇九二、七二二	二、〇九二、七二二	二、〇九二、七二二
樽木	二、六四四、五一七	六六八、三三一	二、〇九四、一六三	二、〇九二、〇三五	五、八五四、八二三	九六〇、三三六	二、〇九二、七二二	二、〇九二、七二二	二、〇九二、七二二	二、〇九二、七二二
包裝箱用材	二、七七四、四二七	九九九、九八七	二、九一四、七七〇	五三、九八三	四、〇二七、三一五	四、六〇七、九三三	五、三一九、三七九	五、三一九、三七九	五、三一九、三七九	五、三一九、三七九
車輛用材	三七、七六二	一四九、〇六九	四八、九四九	二〇〇、四〇七	二、〇九二、七二二	四七、一七五	二〇〇、〇八一	二〇〇、〇八一	二〇〇、〇八一	二〇〇、〇八一
曲輪	七、〇一六	四六〇、六二五	一〇	四、五〇七	二八、七四四	三三、六七六	七五六、一四三	七五六、一四三	七五六、一四三	七五六、一四三
燒寸用木片	一、五六八、二二八	六六八、六五五	一、五二三、八四五	六七一、三三九	七四、〇一三	二八、九四九	一、九四九、〇四四	一、九四九、〇四四	一、九四九、〇四四	一、九四九、〇四四
經木	一、九四七、八二五	二〇九、九五五	二〇三、五一〇	五八、八五三	二六、九二四	二四二、五五六	二四二、五五六	二四二、五五六	二四二、五五六	二四二、五五六
製紙原料木材	二〇八、二三九、八八五	二九九、九八七	五、五五九、五五二	二、九一、五五三	二四八、〇一〇、九八一	五七九、三五三	二、〇三二、〇六七	二、〇三二、〇六七	二、〇三二、〇六七	二、〇三二、〇六七
竹材	四、九三三、〇九四	一、八七四、五一六	四一五、五三三	五、五五六、五二九	二、三三三、九一七	四、七〇五、〇四〇	五、五五九、五四四	五、五五九、五四四	五、五五九、五四四	五、五五九、五四四
苗木	四二〇、一三六、一二三	一、一二四、二五五	四一七、一九九、八七〇	一、一二八、一五二四	二、一三三、九一七	四六〇、九四四、四八二	二、一七一、五六六、六六七	二、一七一、五六六、六六七	二、一七一、五六六、六六七	二、一七一、五六六、六六七
種子	三、〇〇九	四九、六四六	二、三三五	一八、四七一	二、一四三、九一七	五、五六八、九四四	二、〇三三、〇四九	二、〇三三、〇四九	二、〇三三、〇四九	二、〇三三、〇四九
樹實	二〇〇、二四八	七四六、〇七五	一五七、九一六	八六、一一五	一、六二一、六七五	一、〇九八、〇九九	一、〇九八、〇九九	一、〇九八、〇九九	一、〇九八、〇九九	一、〇九八、〇九九
樹脂	八三、五〇八	一五七、一三一	一五七、一三一	二四、四一三	一二七、八五三	二三、四〇八、三五五	二三、六六八、六四九	二一、九七三、〇一九	二三三、四六六、四九一	八、一七一
杉皮	六、二四七、〇四八	八七五、〇〇三	七、九五五、〇六四	六〇、三六三	九七六、四七五	三、三三三、七五五	二、八六三、四四九	二、八六三、四四九	二、八六三、四四九	二、八六三、四四九
檜皮	一、〇一七、三五八	二、三四五、〇〇三	一、〇二九、一九三	一、〇四四、二九〇	二、〇四三、〇九四	一、〇九九、〇四九	一、〇九九、〇四九	一、〇九九、〇四九	一、〇九九、〇四九	一、〇九九、〇四九
竹皮	九、二四四、六八六	二、三五五、五五六	一九、一四三、五五八	三、三五八、一一〇	二、〇四三、〇二九	二、〇四三、〇二九	二、〇四三、〇二九	二、〇四三、〇二九	二、〇四三、〇二九	二、〇四三、〇二九
染料樹皮	二、三七六、六九五	八二、四三七	二、四四四、三〇五	二、五二四、三〇五	二、〇二七、〇二二	二、〇二七、〇二二	二、〇二七、〇二二	二、〇二七、〇二二	二、〇二七、〇二二	二、〇二七、〇二二
木炭	二六一、二五二、三三七	二七、六五〇、四一八	二二〇、一八〇、九五九	二二、〇四七、三六四	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八
薪材	二、八九九、七三七	二〇、一三五、一三五	二、〇四七、三六四	一、〇三三、〇五八	一、八四五、四〇三	一、八四五、四〇三	一、八四五、四〇三	一、八四五、四〇三	一、八四五、四〇三	一、八四五、四〇三
粗製樟腦	一、〇三四、三四一	五八七、〇三七	五二九、七五七	六一五、七五七	五二九、五五三	五二九、五五三	五二九、五五三	五二九、五五三	五二九、五五三	五二九、五五三
樟腦油	一、六六三、三一九	四七七、三四八	一、八四五、四〇三	一、〇三三、〇五八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八	二〇、八六一、三三八
木綿	二三、六七六	六五四	一四、二一八	三三、一三三	一、九八〇、九九九	一、九八〇、九九九	一、九八〇、九九九	一、九八〇、九九九	一、九八〇、九九九	一、九八〇、九九九
醋酸石灰	一七、封度 五九五	六五四	一一〇、〇一〇	一四〇、二一八	九、〇〇〇 三〇	一、五九五	二三八、八〇八	二三八、八〇八	二三八、八〇八	二三八、八〇八
松煙	五二七、五三三	八〇、八二一	五二九、二四〇	五二九、五五三	八四、一七五	六九、八九七 四〇〇	七一八、五一三	七一八、五一三	七一八、五一三	七一八、五一三
蔓莖	一、〇四〇、三三六	六二一、〇七九 二〇〇	一、〇〇六、四五三	一七、九七三	一七、九七三	一七、九七三	一七、九七三	一七、九七三	一七、九七三	一七、九七三
香料	一、二六六、一七九	一四四、二九九	八四〇、九八八	八四〇、九八八	八四〇、九八八	八四〇、九八八	八四〇、九八八	八四〇、九八八	八四〇、九八八	八四〇、九八八
五倍子	五九二、二四一	一、〇七三 一二	五三二、三七一	七三、三〇九	七三、三〇九	七三、三〇九	七三、三〇九	七三、三〇九	七三、三〇九	七三、三〇九
椎茸	二、〇五一、二四三	一、四二六、二四四	二、〇八四、三七三	一、五六七、五一九 四〇四	一、五六七、五一九 四〇四	一、五六七、五一九 四〇四	一、五六七、五一九 四〇四	一、五六七、五一九 四〇四	一、五六七、五一九 四〇四	一、五六七、五一九 四〇四
松茸	四、九四九、五五八	六三一、四二八	七、〇〇〇、六三三	六八五、五六七	一、九一、七五一	一、九一、七五一	一、九一、七五一	一、九一、七五一	一、九一、七五一	一、九一、七五一
雜菌類	六、〇五七、一八一	二〇九、三五六	五、八八一、〇一三	八七七、八五六	八七七、八五六	八七七、八五六	八七七、八五六	八七七、八五六	八七七、八五六	八七七、八五六
自然生蔬菜	七、七〇七、一五一	五四二、八二七	二〇、九七二、五三四	二五九、七五四、四〇三	二六五、〇二九、二九三	二六五、〇二九、二九三	二六五、〇二九、二九三	二六五、〇二九、二九三	二六五、〇二九、二九三	二六五、〇二九、二九三
下草	二八三、六三三、六〇二	二、三〇八、一四六	二五九、七五四、四〇三	二、〇四八、七五三	二、〇七七、〇一七、六二九	二、〇七七、〇一七、六二九	二、〇七七、〇一七、六二九	二、〇七七、〇一七、六二九	二、〇七七、〇一七、六二九	二、〇七七、〇一七、六二九
木獵	一、九三七、六七三	二、一七九、五〇〇	一、八二一、七四一	二、〇四八、七五三	一、七六八、九四七	一、七六八、九四七	一、七六八、九四七	一、七六八、九四七	一、七六八、九四七	一、七六八、九四七

五、林産物ノ價格累年比較

松材

年度	角材二間物		六分板		四分板一坪	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數
	円		円		円	
三五	三・七〇	一〇〇	〇・六三	一〇〇	〇・五三	一〇〇
三六	三・五〇	九五	〇・六〇	九五	〇・四九	九二
三七	三・五五	九六	〇・五九	九四	〇・四九	九二
三八	三・六四	九八	〇・六三	一〇〇	〇・五〇	九四
三九	三・七四	一〇一	〇・六三	一〇〇	〇・五一	九六
四〇	四・一三	一一三	〇・七三	一一六	〇・六三	一一九
四一	四・七七	一二九	〇・七八	一二四	〇・六四	一二一
四二	四・三四	一一七	〇・七三	一一六	〇・六〇	一一三
四三	四・五三	一二三	〇・七四	一一七	〇・五九	一一一
四四	四・七五	一二八	〇・七八	一二四	〇・六一	一一五

樺材

年度	角材二間物		六分板		角材二間物		六分板	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數
	円		円		円		円	
三五	三・六三	一〇〇	—	—	三・六三	一〇〇	〇・五〇	一〇〇
三六	三・三八	九三	—	—	三・三八	九三	〇・四九	九二
三七	三・三八	九三	—	—	三・三八	九三	〇・四九	九二
三八	三・七七	一〇四	—	—	三・七七	一〇四	〇・五〇	九四
三九	四・二七	一一八	—	—	四・二七	一一八	〇・五一	九六
四〇	四・七六	一三一	—	—	四・七六	一三一	〇・六四	一一九
四一	四・六三	一二八	—	—	四・六三	一二八	〇・六〇	一一三
四二	四・〇四	一一一	—	—	四・〇四	一一一	〇・五九	一一一
四三	四・一六	一一五	—	—	四・一六	一一五	〇・六一	一一五
四四	四・五九	一二六	—	—	四・五九	一二六	〇・六一	一一五

楡材

年度	角材二間物		六分板		角材二間物		六分板	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數
	円				円		円	
三五	三・六三	一〇〇	—	—	三・六三	一〇〇	〇・五〇	一〇〇
三六	三・三八	九三	—	—	三・三八	九三	〇・四九	九二
三七	三・三八	九三	—	—	三・三八	九三	〇・四九	九二
三八	三・七七	一〇四	—	—	三・七七	一〇四	〇・五〇	九四
三九	四・二七	一一八	—	—	四・二七	一一八	〇・五一	九六
四〇	四・七六	一三一	—	—	四・七六	一三一	〇・六四	一一九
四一	四・六三	一二八	—	—	四・六三	一二八	〇・六〇	一一三
四二	四・〇四	一一一	—	—	四・〇四	一一一	〇・五九	一一一
四三	四・一六	一一五	—	—	四・一六	一一五	〇・六一	一一五
四四	四・五九	一二六	—	—	四・五九	一二六	〇・六一	一一五

杉材

年度	角材二間物		六分板		四分板一坪	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數
	円		円		円	
三五	四・四一	一〇〇	〇・七七	一〇〇	〇・六一	一〇〇
三六	四・一〇	九二	〇・七六	九五	〇・六〇	九八
三七	三・八三	八七	〇・七四	九六	〇・五八	九五
三八	三・九九	九〇	〇・七九	一〇三	〇・六三	一〇三
三九	四・二四	九六	〇・八〇	一〇四	〇・六五	一〇七
四〇	四・六九	一〇六	〇・九四	一二二	〇・七四	一二一
四一	五・五八	一二七	一・〇六	一三八	〇・八三	一三六
四二	五・四七	一二四	一・〇〇	一三〇	〇・七八	一二八
四三	五・五九	一二七	〇・九八	一二七	〇・七六	一二五
四四	五・六九	一二九	一・〇六	一三八	〇・七九	一三〇

年度	松丸太 杭用一本 末口五寸乃至七寸 長一間半		杉丸太 足場用一本 長四間乃至四間半	
	價格	指數	價格	指數
	円		円	
三五	〇・五〇	一〇〇	〇・五三	一〇〇
三六	〇・四三	八六	〇・五八	一〇九
三七	〇・四二	八四	〇・五四	一〇二
三八	〇・四五	九〇	〇・五七	一〇八
三九	〇・五三	一〇八	〇・六七	一二六
四〇	〇・五四	一〇八	〇・六九	一三〇
四一	〇・五六	一一三	〇・六六	一二五
四二	〇・六〇	一二〇	〇・六九	一三〇
四三	〇・六一	一二三	〇・七〇	一三二
四四	〇・六一	一二三	〇・七〇	一三二

栗材

年度	枕木・一挺		扁柏枕木一挺		薪十貫		木炭十貫	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數
	円		円		円		円	
三五	〇・六六	一〇〇	〇・八六	一〇〇	〇・二五	一〇〇	〇・八一	一〇〇
三六	〇・六三	九五	〇・七七	一〇七	〇・二三	九二	〇・七八	九六
三七	〇・六四	九七	〇・八八	一〇八	〇・二七	一〇八	〇・八一	一〇〇
三八	〇・六三	九五	〇・一三	一二一	〇・二五	一〇〇	〇・七八	九六
三九	〇・六五	九八	〇・一二	一二六	〇・二六	一〇四	〇・八一	一〇〇
四〇	〇・七二	一一一	〇・一三	一三〇	〇・二九	一一六	〇・九四	一一六
四一	〇・七六	一一五	〇・一四	一三五	〇・三一	一二四	〇・九九	一二〇
四二	〇・七六	一一五	〇・一七	一五一	〇・三〇	一二〇	〇・九九	一二〇

年度	栗枕木一挺		扁柏枕木一挺		薪十貫		木炭十貫	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數
四三	七九							
四四	八四	二一〇	一・二四	一四四	一・三二	二二八	一・〇五	二二〇
		二二七	一・三六	一五八	二・二	二二四		二三〇

第三 造林面積

一、御料林樹種別植栽面積累年比較

年度	杉 面積	杉 數量	扁柏 面積	扁柏 數量	松 面積	松 數量	落葉松 面積	落葉松 數量	羅漢柏 面積	羅漢柏 數量	樺 面積	樺 數量
明治元	三二四町	一、五九二、五六六本	七三町	四、二〇二、七四三本	四九町	四、九六七、九六二本	一町	一〇二、〇〇〇本	四町	二三〇、三五〇本	町	本
四〇	二七二	一、四七八、五四八	六二	四、三四三、八〇三	三四	一、八六七、八四七	三四	三〇、六〇〇	六一	四五五、四〇五		
四一	三四七	一、九五二、七一〇	九七〇	五、五二二、六六八	五五	一、四四六、四二九	五五	三〇、六〇〇	三六	二九五、三七四		
四二	二五三	一、四四六、二三三	一、〇七三	五、六九一、九〇五	二一六	一、三三八、三八七	六五	二二二、三二〇				
四三	一四八	一、六七、〇一三	七六六	四、四〇七、四一七	二五五	一、三三〇、三三〇	二八	五五、一、九四				
四四	一七三	一、二三四、九九四	九二九	五、一四一、〇三六	三五八	二、〇四七、〇四三	九〇	四九九、四三				
大正元	三二四	二、〇九五、四〇一	一、〇五三	五、七一〇、二七九	三七四	二、二五五、三五四	五一	二六四、二九七				
二	二三三	九九九、九四二	一、二九三	六、四五九、二五七	二七三	二、二九六、三七四	四五	二〇五、四八八				

年度	栗 面積	栗 數量	櫟 面積	櫟 數量	其他 面積	其他 數量	計 面積	計 數量
明治元	一六町	三八、七八〇本					二八四町	一四、七九九、六三〇本
四〇	五	二六、九九五	四	二、六〇〇	一二	一、二五九、〇七〇	三、一二六	一五、〇二七、一七〇
四一	一〇	三一、五九九	六	一、二二九	一四	一、二四三、一四〇	三、七九九	一六、一七〇、四九〇
四二					六六	六、八四三、〇九二	二、六四四	一五、〇〇〇、八七〇
四三			三	一、〇〇〇	一〇	六、七五八、二二一	二、七八二	一五、五九〇、〇三二
四四	一〇	三六、〇〇〇			一〇	三、二一、九三八	二、一八〇	二、九八〇、六一七
大正元			四	五、四〇〇	八〇	六、四四八、八七〇	二、六四四	二五、五七四、八六四
二	一	六一七	八	七、〇八〇	一、八七〇	五、〇八〇、八七〇	二、六二九	二五、五九〇、〇三二
三			一〇	六一七	一、三二一	八、六五五、八八四	三、二九四	八、七三二、六二四
四			一九	二、二九〇	六七	九、〇八〇、一二六	四、四八八	二三、三五二、九六六
							四、五一〇	二三、九四三、三二一

二、公有林樹種別植栽面積累年比較

年度	杉 面積	杉 數量	扁柏 面積	扁柏 數量	松 面積	松 數量	落葉松 面積	落葉松 數量
三九	七、九四三町	三八、三三二、八一六本	二、八七〇町	一四、四八〇、〇八七本	三、六五五町	二六、五六九、七八一本	二、六〇三町	九、九六一、八一〇本

年度	杉 面積	杉 數量	扁柏 面積	扁柏 數量	松 面積	松 數量	落葉松 面積	落葉松 數量
四〇	八、七〇〇町	四〇、二四八、六八〇本	二、九二九町	一四、三二一、三〇〇本	三、四一七町	一九、六五五、九二一本	二、二二一町	九、九二九、八四三本
四一	九、三二一	五九、一三九、六四四	三、五六四	一五、三〇六、〇三七	四、一三一	二三、七八一、一五三	二、七二一	七、二七二、一四八
四二	七、七五九	三四、八〇五、四三七	三、八一四	一八、四八六、三一五	四、四三三	二三、九八二、六五〇	二、五一九	六、四五六、九三九
四三	八、四六九	三七、二四五、四七四	三、九六七	一七、六四〇、〇三一	五、四五五	二五、一八八、一一〇	一、五一八	四、四七八、六二九
四四	一〇、八二五	四五、一二五、五三一	五、六三	二四、九五七、九九六	五、一三九	二七、一五一、五九四	一、三一八	六五九
大正元	一二、〇九八	五一、一八九、一一六	七、三五七	三〇、七四〇、九八六	七、四九二	三一、九六四、七〇六	八六八	二、一〇〇、四〇一
二	一一、七一六	五〇、七五九、七八五	八、六七八	三五、四五九、四五五	一〇、四五九	三五、一六五、六五九	一、四四四	四、五四九、八六二
三	一一、四八〇	四八、〇六〇、三八〇	三四、一八四、九〇三	四二、六四三、八六七	八、〇七三	三四、四七五、四三四	一、七〇九	五、七四九、〇八七
四	一三、〇五五	五六、六五三、一三九	三、〇九八、一一〇	四、八二五、〇八五	一〇、二八四	四九、二四八、九九八	三、一八八	五、六七〇、九四六

年度	花柏 面積	花柏 數量	羅漢松 面積	羅漢松 數量	樟 面積	樟 數量	櫧 面積	櫧 數量	樺 面積	樺 數量
三九	二町	六四、六六八本	一〇町	二四、〇一二	三九町	一、一〇五、七三五本	一八町	一〇九、二四〇本	一五町	四五、六二一本
四〇	六	二四、〇一二	三二	二八、一一〇	三六八	一、二一九、〇一八	二六	七八、九〇〇	三九	七三、四九四
四一	九	三五、四二五	一三	三五、五〇〇	七一二	二、〇一四、六三三	一二	二一、四〇〇	二〇四	三七七、七四五
四二	一〇	四〇、三三五	九	四九、〇〇〇	七四三	二、二八、四三	一	三、三五〇	三八	六四四、六七一
四三	七	一〇、六五〇	一六	九三、〇〇〇	四二六	一、一四、二〇四	一二	二八、六七二	一八三	三八、五六六
四四	二〇	二二、五五九	四〇	一六二、〇八〇	五六〇	一、九四四、四〇三	三	二五、九五五	一五二	四五五、一〇九

年度	櫸 面積	櫸 數量	其他 面積	其他 數量	合計 面積	合計 數量
三九	六三町	一二六、一〇〇本	六七	二六、一〇〇	一一七	三五、六三〇
四〇	三〇	一二三、〇一七	三〇、三八〇	一六、八〇〇	八、四六六	三五二、〇五四
四一	五五	二二九、三七四	六〇、八六〇	三一、八〇〇	一、五〇九	一八、二九五
四二	九一	三九、四六三	五六九	四二六	一、一一七	二〇、二一一
四三	四九	一七八、二六九	四九、八四〇	二六五	二、二二四	二一、二二四
四四	一八一	四九八、〇〇二	二、六六〇	一、一〇〇	一、一〇〇	二七、〇二〇
大正元	三八	一〇二、四七八	四、四四〇	一、三一三	七一七	二〇、二一一
二	八九	一四四、二二六	一、四三七	一、四三七	六七四	二一、二二四
三	六八	一〇〇、六八七	一、一五六	一、一五六	一、七九九	三五、八六〇
四	一四五	四二、二二〇	六、七七	一、〇五〇	三、七六〇	三八、六二五

三、社寺有林樹種別植栽面積累年比較

年度	杉 面積	杉 數量	扁柏 面積	扁柏 數量	松 面積	松 數量	落葉松 面積	落葉松 數量
三九	三一〇町	一、八七一、三八九本	六五町	三一八、九一七本	一四四町	四七八、九七〇本	二〇八町	二六八、一六四本
四〇	二六〇	一、一五二、一三一	六七	五五五、八〇七	一四〇	五五一、八三五	二五	六九、九九二
四一	二九五	二、二三一、八〇〇	一九	五五五、九八五	九〇	三〇六、〇六七	二〇	四四、五三五
四二	三三〇	一、八四四、三三一	二九	六三〇、五一六	八八	四四六、七六二	一九	七〇、九四六
四三	三九二	一、六三二、五二一五	一四三	六六五、〇三九	一四六	八〇二、八四一	一三	五四、〇七〇
四四	四一三	一、六四二、六八八	一八六	八三二、七八六	一二五	六一九、九九三	一〇	三一、八五九
大正元	六一一	二、四六四、三五四	二三八	一、一二八、三三一	一五四	六七八、七九六	七三	五六八、七四七
二	四六〇	一、九二八、八七二	五七三	一、二八七、六八七	一七四	七三二、三六八	二三	六四一、八〇四
三	五〇三	一、九七七、二六一	三七八	一、三五七、四五三	一四八	六七二、九一六	五〇	六六四、八〇四
四	一、〇三九	四、四三五、二四一 八七一〇	四一〇	一、七一九、一二九	一九六	九六五、四六六	二七	八〇、一〇〇

年度	花柏 面積	花柏 數量	羅漢柏 面積	羅漢柏 數量	樟 面積	樟 數量	櫧 面積	櫧 數量	樺 面積	樺 數量
三九	一町	一本	一町	七、一〇〇本	六町	二一、一六四本	一町	一、五四八本	一町	八〇〇本
四〇	一	三、〇〇〇	一	三、一〇〇	八	三一、〇九〇		一、一八〇	四	二二、一四〇
四一		六〇〇		一、一〇〇	一六	五六、六八五		一、五〇〇	一	三、一四〇
四二		一五〇		七、一〇〇	九	二九、七四〇	一	二、四一〇	七	六一、〇二四
四三	一	二、五二五	一	二六、二五七	一三	五八、〇九二			八七五	五八、五四九
四四				二、一〇〇	二	八、〇三四			二	三、三二〇

年度	栗 面積	栗 數量	櫟 面積	櫟 數量	其他合計 面積	其他合計 數量
大正元		四〇〇		二、四〇〇	一	四〇〇
二		四〇〇	一	二、〇五五	三	一〇、二五
三		三、五〇〇		五、五五〇	九	二四、一九三
四		四、六五〇		四、一七〇	三	三八、四九九
三九	一町	六、三二一本	一五町	一五二、〇四五本	三町	二四、一〇〇本
四〇		五〇〇	一	一〇四、六二四	二九	五四〇
四一		一、八五〇	一〇	四〇、九五〇	一七	六七
四二		三、八五〇	八	二八、六五〇	一三	二六、六五〇
四三	一	二、九九〇	二九	七四、七六〇	一四	五九、八二〇
四四	二	三、一〇〇	一〇	一〇〇、五三〇	一一	一一〇、五八
大正元	三	九、八〇〇	二九	一〇六、五八一	二八一	五、八四〇、八八三
二	一	四、一八五	二三	九三、二九六	二三	一七、七一八
三		二、八九〇	一七	七〇、一一〇	二五	一〇〇、八六〇
四	三	九、九三〇	七九	二四八、四九三	二五	一、一四三
					一五八	七、七〇九、五九五 九石九〇

四、私有林樹種別植栽面積累年比較

年度	杉 面積	杉 數量	扁柏 面積	扁柏 數量	松 面積	松 數量	落葉松 面積	落葉松 數量
三九	三〇、二七八町	一三九、一三九、〇九九本	六、八七四町	三七、六三二、三五二本	一〇、一〇八町	五六、一三二、三五九本	一、六二六町	五、九六四、八〇一本
四〇	二九、九七二	一二九、五四七、五四九	六、九三三	三四、七六三、九五四	一〇、九七二	五四、四四〇、二九五	三、一〇八	八、〇二二、四二〇
四一	二七、八八七	一二三、六〇四、〇〇四	七、五〇五	三一、六五一、一二〇	一〇、五六四	五〇、六二四、八九四	二、〇八一	七、二六六、四九〇
四二	二六、五二二	一一五、五七四、四六九	七、五三七	三三、〇四二、七五五	一〇、七九七	五一、四八六、一九四	二、一九五	二、一九五、一九七
四三	二六、八八〇	二一一、四四五四、五一四	七、一七一	三三、二九四、八六四	一一、三六九	六三、三九一、二九五	一、六二〇	四、六五一、一〇九七
四四	二九、八〇四	二三三、五五五、一六九	八、六九三	三七、一〇二、八四九	一〇、五四七	五五、四〇一、〇五五	一、一九九	四、〇六一、一二八
大正元	三二、七〇二	二三二、七二二、四一一	九、九八五	四一、七四七、一九五	一〇、五三三	四七、八一五、一四七	四七六	二、二〇九、六九九
二	三二、四四九	二四一、二二二、〇六二	一〇、一九三	四七、九四六、二二八	一〇、五六九	五〇、一〇八、九二〇	二、〇六〇	五、七四二、六六四
三	三〇、八九二	二二六、四七四、一〇八	二、三二一	四六、五四〇、九五七	一〇、四八一	六六、八五六、一二三	一、五九八	五、三七五、四八二
四	四一、二九一	二六三、二七四、〇四四	二、〇八二	五七、九五六、四九六	一〇、〇三〇	六六、八五六、一二三	二、四五五	六、九五二、五五七
四三	六九	二八四、三八三	四二	五五五	九、九六四、五〇九	三五	一、四四三、六六五	一、八〇〇、〇五〇本
四四	三三	二六四、〇一三	一〇六	四二三、五五〇	一〇、四八一	四九	二六六	九八三、〇四〇
四五	六二	二八四、三八三	四二	四二三、五五〇	一〇、〇三〇	三九	二五五	八五三、〇八六五

年度	花柏 面積	花柏 數量	羅漢柏 面積	羅漢柏 數量	樟 面積	樟 數量	櫧 面積	櫧 數量	櫟 面積	櫟 數量
三九	六二町	一六五、三〇〇本	一七五町	五八九、〇一三本	七六町	二、〇七九、一〇五本	四七町	二六八、四三本	七二町	一八四、〇五〇本
四〇	九	五八、〇三六	一七九	六五八、六六五	八七五	三、五三〇、四三九	五三	二四四、四四七	二、一一四	一四、一四八
四一	四七	二三九、七〇一	九六	四一七、一〇九	一、一一四	四、六〇九、五二三	七三	一三二、一九〇	九九	三三、三五六
四二	六九	三三四、〇一三	一〇六	四三三、五五〇	九九	三、六〇九、五七三	四九	一五四、一四〇	三九	一三九、八八五
四三	六九	二八四、三八三	四三	一四四三、六六五	五五五	一、九六四、五〇九	三九	一三九、八八五	二三	二二、五九五

年度	其他合計 栗 面積	栗 數量	櫟 面積	櫟 數量	其他合計 面積	其他合計 數量	面積	數量
三九	二四一町	七〇六、八九六本	二、八〇三町	二、三九七、三二七本	二、六八四町	九、五七八、一九九本	五五、七三九町	二六五、七八九、三二七本
四〇	八九	二九四、〇一三	三、一八二	一二、八七七、〇八〇	四、〇二九	一〇、二七九、五七六	五九、四七〇	二九四、八五六、九〇二
四一	一八一	五三五、二八六	二、四六五	八、二四九、〇二六	一、八四一	八、〇八一、〇五一	五三、九六八	二三五、五九八、八二一
四二	一五九	三八七、三二四	二、九〇九	一二、一四〇、七七二	一、四二八	六、一四〇、〇三二	六、一四〇、〇三二	二三六、二五三、二六
四三	一八六	四六六、三六二	二、七〇〇	八、九四七、一〇四	一、八五八	七、五〇二、四六九	五三、一二六	一三二、八八九、〇一七
四四	四四四	六〇六、一一三	二、七八三	一〇、三九八、二二四	一、九六三	八、二四〇、七一三	五六、四五三	一四〇、六三九、八五五
大正元	二五六	六六三、二六九	四、六四三	一三、五〇七、一九七	二、〇八三	一三、五〇七、一九七	六、一、二七二	二五、一〇三、〇三七
二	二七六	八七八、四三七	三、五四二	二、九八八、二三〇	四、四二〇	一、九八八、二三〇	六、九八五、九九〇	一、八六八、一二八、五六〇
三	三三一	八三四、八五九	二、八七	一一、三九七、九〇一	一、七二九	八、四二一、〇二二	五九、六六五	二四九、四一一、九三
四	三六七	八八七、七六二	四、四三三	二、三七九、八五九	二、三七九	一〇、七三、九六七	七七、八五九	三二七、九九三、八〇四

第四 森林被害

森林統計

其一 風害

年度	區別	面積	用材 材積	用材 價額	薪材 材積	薪材 價額	竹其他 材積	竹其他 價額	價額計
三十六年	國有林	二七六町	一四六、三八五	八一、五六四円	一七、七七八	一〇、一三円	東	八二四円	九二、四八二円
	御料林	九九三	四三、六七九、六九三	九、五三五	三、三九、二六八	一、四四四	三五	三四二	一、一七六
	公有社寺有林	二	一、七一〇	一〇三四	三〇五	六四二			一〇五、四六九
	私有林	一、二七一	四三、八二七、七八八	九二、一二三	三、三七、七三八	一三、一九九	三五	一、一四七	三六、五五三
	計	七四	四七、四四二	二一、九一七	一〇、八〇一	四、一一七	二五六	五五二	二、三五五
三十七年	國有林								
	御料林								
	公有社寺有林		一四三	四六	二四	一、一六四			
	私有林		二、〇一三	一、五四八	一、一四二	四、三五？	一、二九	一、〇四〇	二九、一八三
	計		一四三	四六	二四	一、一六四			二九、一八三
三十八年	國有林	七四	四九、五五九、八	二三、五一一	三三、三五一	一二、一六四			三三、一九七、九七五
	御料林	三三	六四、〇一八	二八、五一四	一、八四一	四、一一六			三四、一九七、九七五
	公有社寺有林	一六	六、七五四	四、九三九	一、一四一	一、一四一			八、七五〇
	私有林	二、九八三	一六七、〇一四	五二、九〇四	七五〇	二、一四一			五六、〇四〇
	計	二、九八三	一六七、〇一四	五二、九〇四	七五〇	二、一四一			五六、〇四〇
三十九年	國有林	一一	四三、一一	一、一四一	一、一四一	一、一四一			一、一四一
	御料林	四〇六	三、三五九	二、一四一	一、一四一	一、一四一			二、一四一
	公有社寺有林	八三九	六六、八九一	三五、八九七	一〇、〇四三	一、一四一			三六、〇三八
	私有林	二、七六五	一六七、〇一四	五二、九〇四	一〇、〇四三	一、一四一			五六、〇四〇
	計	二、七六五	一六七、〇一四	五二、九〇四	一〇、〇四三	一、一四一			五六、〇四〇
四十年	國有林	一七	一一、六三七	二四四、五五〇	一、一四一	一、一四一			二四四、五五〇
	御料林	二、〇四三	七五、六七七	六二、一〇〇	二、一四一	一、一四一			六二、一〇〇
	公有社寺有林	四、九八五							

年度	區別	面積	用材 材積	用材 價額	薪材 材積	薪材 價額	竹其他 材積	竹其他 價額	價額計
四十一年	國有林	四、六〇九	六九、八八七	五一、八〇三	三、七二五	二、八三五			五四、六五二
	御料林	三、八三二	二、〇八九	六、五〇〇	五、六二一	四、三七一			二、一二六
	公有社寺有林	四〇四	七、九二七	一〇、七〇三	二、九二三	一、八〇二			一七、一六四
	私有林	八、八四五	七九、九〇三	六九、一〇〇四	二、三六九	一、三四一	六、九四八	一、一四一	八四、六七二
	計	四、八三五	七三、五七六	五三、三六八	五、八二二	二、一四一	六、九四八	一、一四一	五八、四七二
四十二年	國有林	四、八四八	一〇、四九七	四、九九九	九八、八二三	三三、一四一			一四、一八四
	御料林	三、〇八二	五一、九八一	九八、五三三	四〇、六三六	三、三五二			一三、七五二
	公有社寺有林	二、七五五	一三六、〇五四	一五六、八八七	三、五四二	二、一七六			一八、一四九
	私有林	二、〇八三	四二、七七九	三四、一三七	一、一五六	一、一四一			三四、一三七
	計	一、〇八三	四、八七〇	四、九九九	三、六五五	一、一四一			一、一四一
四十三年	國有林	三九二	六、三九四	五四、〇四三	一八、一一七	五六、〇八五			五六、〇八五
	御料林	三〇	四、八七〇	五四、〇四三	一八、一一七	五六、〇八五			五六、〇八五
	公有社寺有林	二、五二六	一〇四、五五〇	九三、一四六八	四、一一七	九三、一四六八			九三、一四六八
	私有林	三、七九九	二八、一七〇	二四一、三四八	二三、八九二	四八、九四五			二四一、三四八
	計	二、五二六	一〇四、五五〇	九三、一四六八	四、一一七	四八、九四五			九三、一四六八
四十四年	國有林	九、六九三	七七、九〇三	二四一、三四八	二三、八九二	四八、九四五			二四一、三四八
	御料林	八七	七三、五七六	二七、一一〇	一、一三三	一、一四一			二八、一一〇
	公有社寺有林								
	私有林	一三、五七八	二七、〇六八	三七四、〇六八	一〇、〇四三	六、六九二			三七四、〇六八
	計	一八、七九九	二七、一一〇	三七四、〇六八	一〇、〇四三	六、六九二			三七四、〇六八
大正元年	國有林	一三、二四七	一、三九、二三七	二、五五八、五七七	一、一四一	一、一四一			二、五五八、五七七
	御料林	九、一三一	五、三三七	九四、六五〇	一、一四一	一、一四一			九四、六五〇
	公有社寺有林	六、〇八二	一、一二五	三、九二、四八八	三、四二一、九一九	四、〇一三、六四四			三、四二一、九一九
	私有林	二四、五六八	二四一、七四一	三五七、一四三	三三七、一〇四	一八九、六五八			三三七、一〇四
	計	三一、七五八	二八九、七六一	七六四、〇〇四	七一、一五五	一八九、六五八			七六四、〇〇四
二年	國有林	三、七二五	二、八三五						
	御料林	五、六二一	四、三七一	六、九四八	二、九三五	一、四九五			二、四九五
	公有社寺有林	二、九三五	二、〇〇八	二、九四八	一、一四一	一、一四一			二、一四一
	私有林	五、八二二	五、〇一四	六、九四八					六、九四八
	計	九八三	一、〇八八						
森林統計	國有林	三、三五五	三三、八四一	二三、五七二	二、三五二	一、一四一			二、一四一
	御料林	四〇、六三六	三八、五四二	二三、五七二	二、三五二	一、一四一			二、一四一
	公有社寺有林	二、三二九	一、八八二	一、一四一	一、一四一	一、一四一			一、一四一
	私有林	五、八二二	五、〇一四	六、九四八					六、九四八
	計	九八三	一、〇八八						

其二　盜伐

年度	區別	面積	材積	價額	薪材 材積	薪材 價額	竹其他 材積	竹其他 價額	價額計
三年	國有林	一、八九二町	九五、九三九尺〆	七七、五六三円	三六、八九八尺〆	六、七四〇円		一四九円	八四、四三二円
	御料林	二三四	七八、六七一	三三、五五八	六五五	一、〇三七		九二四	三五、三五一九
	公有社寺有林	八、〇八九	九七、六〇五	三九、三〇七	三九、六九三	四三、一一一		三三、八二〇	二七、八、七五五
	計	一〇、一〇五	二七二、二二五	一五〇、四一八	七七、二七六	五〇、八八八		二五、四一〇	三九六、七三六
三十六年	國有林	一六九町	一三六、八四五尺〆	二〇、三〇七円	七、八九九尺〆	六、七三〇円		一、二七三円	二九、三一〇円
	御料林	三五五	一五、六七五、七九八	三三、一六五	六六七	一、七九二		四七	三、〇一〇
	公有社寺有林	三	一、七〇一	一、七九二	一、八五五	八、三九五		二一	二五五、一九九
	計	二〇七	一五、八一四、三四四	六〇、九六一	二五、八二五	一、〇〇九		二〇	四五、六三六
	國有林				一、〇〇九	六六		二、四八四	二、〇二七
	御料林		二五、八二五	一、〇〇九	八七、八九五	七、八三八		一、六〇四	一、〇〇九
	公有社寺有林	三九	八七、八九五	三八、四七八	一五、一四九	一、〇〇九		七六	一、〇〇九
	計	三九	一五、一四九	一、〇〇九	一、一八三	一五四、八〇〇		二、四八四	一、〇〇九
三十七年	國有林	二四	二五、八二五	六〇、九六一	一、〇〇九	七〇、三〇七		一、六〇四	一、〇〇九
	御料林	五六	一五、一四九	三八、四七八	八七、八九五	七、八三八		七六	一、〇〇九
	公有社寺有林	九二六	一、一八三	一五四、八〇〇	一五、一四九	一、〇〇九		二、四八四	一、〇〇九
	計	一、一八六	一五四、八〇〇	九九、八三七	九七、九九五	六七、七四五		一、三一二	一、〇〇九
三十八年	國有林	一、八九二町	九五、九三九尺〆	七七、五六三円	三六、八九八尺〆	六、七四〇円		一四九円	八四、四三二円
	御料林	二二四	七八、六七一	三三、五五八	六六五	一、〇三七		九二四	三五、三五一九
	公有社寺有林	八、〇八九	九七、六〇五	三九、三〇七	三九、六九三	四三、一一一		三三、八二〇	二七、八、七五五
	計	一〇、一〇五	二七二、二二五	一五〇、四一八	七七、二七六	五〇、八八八		二五、四一〇	三九六、七三六

森林統計

年度	區別	面積	材積	價額	薪材 材積	薪材 價額	竹其他 材積	竹其他 價額	價額計
三十九年	國有林	一、〇〇四	一四七、一〇八	九六、一三二	八、一三五	七、六二七		一〇三	一〇四、八七一
	御料林	四一八	一七、七五九	一三、三二九	四五三	三七一		一九	一四、一三三
	公有社寺有林	一、〇三九	四一、一八一	五、九三九	一六、三三三	二、二一三		二一	二八、三三四
	計	三、四四二	一六九、〇四八	一二三、一七〇	二六、九二五	一〇、七三三		二〇	一三七、一七七
四十年	國有林	一、九四二	九七、三六六	八、九五〇	二、七二五	一、〇三七		一五	一〇、〇四八
	御料林	二八	一五、〇四〇	二、二四二	一、二三四	一、〇三四		二五	二、二四二
	公有社寺有林	二六九	一、二三四	一、一三四	二、二三九	一、〇三四		二五	二、二四二
	計	二、三三九	一〇二、六四〇	一一、三七四	二、二三九	一、〇三四		二五	二、二四二
四十一年	國有林	二四	二、七四一	一〇二、三六九	一一、一二六	九、四四六		一七	一〇二、三六九
	御料林	二、四一五	一〇一、三七四	二六、一二〇	九、四一五	二、二四一		一七	二六、一二〇
	公有社寺有林	五、一八〇	一四八、八六三	一〇二、一四一	八、七一〇	二、二四一		一七	一〇二、一四一
	計	五、三三二	二、一四一、一四一	一〇二、一四一	八、七一〇	二、二四一		一七	一〇二、一四一
四十二年	國有林	二九	九、二八	七九一	一、〇三四	六、一二〇		八	九六、一二〇
	御料林	五、二四	二二、一七〇	一、〇五八	六、一二〇	七、〇三四		八	一、〇五八
	公有社寺有林	二、六二四	二二、一七〇	一、〇五八	六、一二〇	七、〇三四		八	一、〇五八
	計	二、六二四	二二、一七〇	一、〇五八	六、一二〇	七、〇三四		八	一、〇五八
四十三年	國有林	二、七二七	九、九二五	一、九八一	一、九二七	一、九二七		一九	一、九八一
	御料林	二、六二六	二二、一七〇	一、〇五八	六、一二〇	七、〇三四		一九	一、〇五八
	公有社寺有林	三三五	二二、一七〇	一、〇五八	六、一二〇	七、〇三四		一九	一、〇五八
	計	二、六二四	二二、一七〇	一、〇五八	六、一二〇	七、〇三四		一九	一、〇五八
四十四年	國有林	一、七三五	一、九二七	一四、八六三	一、九二七	一、九二七		一九	一四、八六三
	御料林	六二	一、三二四	一〇二、一四一	一、九二七	一、九二七		一九	一〇二、一四一
	公有社寺有林	一、三二〇	二、二四一	一〇二、一四一	一、九二七	一、九二七		一九	一〇二、一四一
	計	三、〇九六	二、二四一	一〇二、一四一	一、九二七	一、九二七		一九	一〇二、一四一

其三　火災

年度	區別	面積	用材 材積	用材 價額	薪材 材積	薪材 價額	竹其他 材積	竹其他 價額	價額計
大正元年	國有林	一、七〇四	八五、一八六？	六九、四〇八	八、六五七	五、三四〇	—	七五、一	七五、七三七
	御料林	六六七	三七、〇〇八	一四、〇五六	三、八四七	四、一九	四九七	三〇一	一四、三五七
	公有社寺有林	二、九八八	一三、三四六	四、九七五	二、八四九？	八、四九一	四九七	一、〇一四	一三、三六五
	計	六、五	三、四八一	一八	一五、三四八	一〇	—	五三〇	六六、九四八
二年	國有林	四七	六五、一八一	六一、三〇〇	六、六九七	四、九四九	—	四、九七七	七〇、三四六
	御料林	四六三	二一、四八七	五六、九八六	三五五	四三八	四三〇	五七	五七、四七八
	公有社寺有林	三、九六三	二、五七三？	二、四四八	二、六八三	七、七五五	四三〇	一七七	一〇、四三〇
	計	四六三	二、四九、四一	二〇、七六四	九、七七四	一三、一五三	四三〇	一、四九七	二、四三、四七
三年	國有林	四七	七、八五八	三、一八九	三、一九四	三、六五七	四三五	一、四四	一、四七、三五七
	御料林	六五四	二六、九八五	一四、〇五六	七、七四七	一、四四二	四三五	一、四四	一六、四七、四七
	公有社寺有林	三、五二	一七、二、七三七	一三、四七四	九、七七一	三、四七七	四三五	一、四四	一六、四七、四七
三十六年	國有林	四八七	七四、五三三	四三、〇九五	四、七八	四、四七	—	二、三三八	四八、八九九
	御料林	二六二	八六、一、七五〇	六三五	一五、九三〇	一、四四六	—	一〇〇	一、一八九
	公有社寺有林	二七	二七	六六	一五、五三一	四、四〇五	—	一〇	五〇、四〇九
	計	七四九	九五、六、五四九	四三、七八六	二六、四三九	四、四〇五	—	二、三三八	五五、六六三
三十七年	國有林	六九九	二八、一、二五〇？	六〇、五五八	八、一四四？	七、六〇一	—	一、九二	三五、六六八
	御料林	—	三、六六	三、二六	一七、二？	三五、九五七	—	三、六六八	三、六六八
	公有社寺有林	—	三四七	一、一三三	一、三三？	二、三三	—	一、九四一	四、八六五
	計	六九九	二、四一	六六、五五八	一、三三？	二、三三	—	一、九四一	二、六九五
三十八年	國有林	九三七	五五、三、二六？	一一、一八八	一、一八？	一、一八	—	二、五八八	一四、一八六
	御料林	七〇五	一、九四一	一、一八八	一、一八？	一、一八	—	二、五八八	一四、一八六
	公有社寺有林	一、六五二	一三、一六、六八	一四、四六三	一、四四？	一、四四	—	二、五八八	一七、四六、五五一
	計	三、二九三	一八、八八、八八五	四〇、四一三	一、四四？	一、四四	—	二、五八八	一七、四六、五五一
三十九年	國有林	一、五九二	四〇、四一三？	二四、四六三？	一、四四？	一、四四	—	一、五八五	二四、四〇一、九
	御料林	二、一七一	一四、四六三？	六、四八三	五、一六九	五、一六九	—	三八八	六、四八三
	公有社寺有林	三、二八七	三八、三、九	九四、一九四	九八、五五一	九八、五五一	—	一、一五	一〇四、一八四
	計	七、〇五〇	二七、六一二？	二八、八三一	九八、五五一？	九八、五五一？	—	三八八	二八、八三一
四十年	國有林	九四六	二、一三五	一、一八五	一、一三五？	一、一三五？	—	一、一三五	三、三五五
	御料林	一、六八九	三五、〇四三	九四、七八九	二、三五	二、三五	—	一、一三五	九六、〇二四
	公有社寺有林	三、九〇六	六四、七八九	二八、一九四	一、一三五？	一、一三五？	—	一、一三五	三〇、九一四
	計	一、三一一	一七、六一二？	九四、一九四	二、一三五？	二、一三五？	—	一、一三五	一、一八五
四十一年	國有林	二、六五七	三五、八九九	六二、一九四	一、一八五	一、一八五	—	一、一八五	九四、一二三
	御料林	一、七六六	一五、五九五？	九、一五六	一、一八五	一、一八五	—	一、一八五	九四、一二三
	公有社寺有林	二、五二六	一三、一〇〇？	五四、一七七	一、一三五？	一、一三五？	—	一、一八五	五四、一七七
	計	六、九四九	一八、八、一九？	一三、一九〇	一、一三五？	一、一三五？	—	一、一八五	一三、一九〇

年度	區別	面積	材積	材積價額	薪材	薪材價額	竹其他	竹其他價額	價額計
四十二年	國有林	三、五二〇	三三、八二?	三五、六五五	四、八三〇?	五、三三二	—	二、六九六	一三、一五六
	御料林	二、二九一	二、〇六五	二八、七七四	三四七	四六九	—	二〇〇六	五六、〇四九
	公有社寺有林	三、六七六	一〇五、一九八	七五、七八二	三七、二八三	四二、四六〇	七五、四一九	一、五九九	二三六、四四四
	私有林	九、四四七	一五二、一四五	八、三〇三	四二、一九〇	四七、二二四	七、四一九	六三〇一	一九四、六六八
四十三年	國有林	六、六四四	一六、七六七?	一一、一六八	四、一〇?	五、四六〇	三、八〇九	三、三一〇	一六、七六七
	御料林	三、六五四	三、一七四?	二、一八八	四、二五五	四、四五四	五、四六〇	五三	六、二五一
	公有社寺有林	四、七二四	七二、九八八	一三、四三三	七七、四五五	八〇、二二二	—	—	一五四、二五五
	私有林	一五、〇一三	九二、九二九	一一〇、四二三	八〇、二二二	九四、三三九	一、八八三	七六四	二〇九、〇九九
四十四年	國有林	六、三三七	四五、八三?	五三、九一三	四、三三	五、四六二	—	八四四、四八二	八四、四八二
	御料林	一五、九八〇	九三、〇六二	一八、九八八	八、八八四	一〇、三三七	一、八八六	一、三一一	二〇三、一二一
	公有社寺有林	八二、一二三	一〇四五、八五九	一二、九二、八八	一、九二、八八?	二八五、六一九	三九三、三一三	四四九	七二六、二八一
	私有林	一〇四、四一九	二〇〇三、七四三	六九〇、四八三	三三、二九九	三〇、四三三	三九三、三一三	五、九二一	一〇〇三、九三三
大正元年	國有林	七、六二一	三二、九九五?	三三、一二九	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四
	御料林	二七四	二、七八〇	一〇、六七二	二七	二、八八〇	—	六三一	二三、一二二
	公有社寺有林	四、一六一	一〇二、〇六八?	八八、八四三	三、六二一	一二八、〇〇三	一四七	四〇	二三七、一二〇
	私有林	一三、〇九六	一二七、八一三	九二、一六六	七、五八〇?	一四八、九一〇	一四七	二〇、〇八三	三三四、〇八一
	計	八、九四六	三〇、一一六?	二四、四一六	八、九九五	八、四四八	—	七、八〇〇	九九、一八一
	御料林	一、七〇七	二、〇六五	一、七〇七	二、二八〇	六、九八三	—	一、六三五	二三、一九一
二年	國有林	三、五二〇	三三、八二?	三五、六五五	四、八三〇?	五、三三二	—	二、六九六	一三、一五六
	御料林	二、二九一	二、〇六五	二八、七七四	三四七	四六九	—	二〇〇六	五六、〇四九
	公有社寺有林	三、六七六	一〇五、一九八	七五、七八二	三七、二八三	四二、四六〇	七五、四一九	一、五九九	二三六、四四四
	私有林	九、四四七	一五二、一四五	八、三〇三	四二、一九〇	四七、二二四	七、四一九	六三〇一	一九四、六六八
	國有林	六、六四四	一六、七六七?	一一、一六八	四、一〇?	五、四六〇	三、八〇九	三、三一〇	一六、七六七
	御料林	三、六五四	三、一七四?	二、一八八	四、二五五	四、四五四	五、四六〇	五三	六、二五一
	公有社寺有林	四、七二四	七二、九八八	一三、四三三	七七、四五五	八〇、二二二	—	—	一五四、二五五
	私有林	一五、〇一三	九二、九二九	一一〇、四二三	八〇、二二二	九四、三三九	一、八八三	七六四	二〇九、〇九九
三年	國有林	六、三三七	四五、八三?	五三、九一三	四、三三	五、四六二	—	八四四、四八二	八四、四八二
	御料林	一五、九八〇	九三、〇六二	一八、九八八	八、八八四	一〇、三三七	一、八八六	一、三一一	二〇三、一二一
	公有社寺有林	八二、一二三	一〇四五、八五九	一二、九二、八八	一、九二、八八?	二八五、六一九	三九三、三一三	四四九	七二六、二八一
	私有林	一〇四、四一九	二〇〇三、七四三	六九〇、四八三	三三、二九九	三〇、四三三	三九三、三一三	五、九二一	一〇〇三、九三三
	國有林	七、六二一	三二、九九五?	三三、一二九	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四
	御料林	二七四	二、七八〇	一〇、六七二	二七	二、八八〇	—	六三一	二三、一九一
	公有社寺有林	四、一六一	一〇二、〇六八?	八八、八四三	三、六二一	一二八、〇〇三	一四七	四〇	二三七、一二〇
	私有林	一三、〇九六	一二七、八一三	九二、一六六	七、五八〇?	一四八、九一〇	一四七	二〇、〇八三	三三四、〇八一
	計	八、九四六	三〇、一一六?	二四、四一六	八、九九五	八、四四八	—	七、八〇〇	九九、一八一
	御料林	一、七〇七	二、〇六五	一、七〇七	二、二八〇	六、九八三	—	一、六三五	二三、一九一
三十六年	國有林	二五二	三三、八二?	三五、六五五	四、八三〇?	五、三三二	—	二、六九六	一三、一五六
	御料林	五三	一、九二一、六二七	一〇五、一九八	三七、二八三	四二、四六〇	七五、四一九	一、五九九	二三六、四四四
	公有社寺有林	一	六二四	八、三〇三	四二、一九〇	四七、二二四	七、四一九	六三〇一	一九四、六六八
	私有林	三〇六	二、〇〇三、六二七	一一〇、四二三	八〇、二二二	九四、三三九	一、八八三	七六四	二〇九、〇九九
	計	一九二	八、九一九	四、〇四一	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四
三十七年	國有林	二五二	八一、三六六	三九、九四六	一〇、七二五	九、八九四	—	八九八	五〇、七九八
	御料林	五三	一、九二一、六二七	一〇五、一九八	三七、二八三	四二、四六〇	七五、四一九	一、五九九	二三六、四四四
	公有社寺有林	一	六二四	八、三〇三	四二、一九〇	四七、二二四	七、四一九	六三〇一	一九四、六六八
	私有林	三〇六	二、〇〇三、六二七	一一〇、四二三	八〇、二二二	九四、三三九	一、八八三	七六四	二〇九、〇九九
	國有林	一九二	八、九一九	四、〇四一	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四
	御料林	—	一、六七七	一、六七七	二、二九一	二、二九一	—	六三一	二三、一九一
	計	一九二	八七、六三七	三九、九四八	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四

其四　其ノ他

年度	區別	面積	材積	材積價額	薪材	薪材價額	竹其他	竹其他價額	價額計
三年	公有社寺有林	一〇、六六七	三七六、二四四?	二九四、五八二	三三五、四三〇	九八、八九四	二、四九六	一、四三三	六四五、三〇七
	計	二二、三三〇	四一八、三六六	三三五、二七四	三六〇、九一二	一〇、七二五	二、四九六	二、四三三	七六九、六六九
	國有林	四、五二〇	三六、九七五	八〇、六八五	一、四四九	九、八九四	—	一、四三三	一七、四四六
	御料林	一、七〇五	四五、一八三	一一、八四八	二、六三四	二、二九一	—	一、〇三二	一七、四四六
	公有社寺有林	三、五三七	三四七、九六七	二六八、〇九三	二五〇、九〇七	二〇、一二一	—	二、四九六	三〇、一二一
	私有林	三六、五八二	四三〇、一二四	三四〇、一二四	二七一、二二七	三〇、一二一	—	五、四〇三	三〇、一二一
三十六年	國有林	二五二	八一、三六六	三九、九四六	一〇、七二五	九、八九四	—	八九八	五〇、七九八
	御料林	五三	一、九二一、六二七	一〇五、一九八	三七、二八三	四二、四六〇	七五、四一九	一、五九九	二三六、四四四
	公有社寺有林	一	六二四	八、三〇三	四二、一九〇	四七、二二四	七、四一九	六三〇一	一九四、六六八
	私有林	三〇六	二、〇〇三、六二七	一一〇、四二三	八〇、二二二	九四、三三九	一、八八三	七六四	二〇九、〇九九
	計	一九二	八、九一九	四、〇四一	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四
三十七年	國有林	二五二	八一、三六六	三九、九四六	一〇、七二五	九、八九四	—	八九八	五〇、七九八
	御料林	五三	一、九二一、六二七	一〇五、一九八	三七、二八三	四二、四六〇	七五、四一九	一、五九九	二三六、四四四
	公有社寺有林	一	六二四	八、三〇三	四二、一九〇	四七、二二四	七、四一九	六三〇一	一九四、六六八
	私有林	三〇六	二、〇〇三、六二七	一一〇、四二三	八〇、二二二	九四、三三九	一、八八三	七六四	二〇九、〇九九
	國有林	一九二	八、九一九	四、〇四一	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四
	御料林	—	一、六七七	一、六七七	二、二九一	二、二九一	—	六三一	二三、一九一
	計	一九二	八七、六三七	三九、九四八	三、三九一	一〇、四七二	—	一九、三七一	八七、四六四

森林統計

年度	區別	面積	用材積	用材價額	薪材積	薪材價額	竹材積	竹材價額	其他價額	價額計
三十八年	國有林	七〇三	一二五、〇一五 ?	四四、六四九 三六	一三、六一三 ?	一七、一三四 九八			一、三三三	一六四、六一八
	御料林	三	四、〇九八	一、一五	一五〇	二五〇			四四	三、八三五
	公有社寺有林	七、五〇七	八、八一五 ?	三、四四〇 三五〇	四八、一四四	四七、六三二			一、五四一	一五八、一〇五
	私有林	八、二四一	一〇、九三六	一三、八三〇	七、〇一六 ?	六五、三八五 六四八			一四、五四三	三三五、五四八
	計	一、〇九〇	一四四、七八五	九八、一二八	一三、六四八 ?	六四、一四一			七、三三〇	二二三、六八一
三十九年	國有林	一五九	二〇、一四五	一、一四二	一、一四四	一、一一〇			四二	三、六七九
	御料林	一、〇九〇	四、三七	九八、一二七	二八、七一四	六二、二一二			一、三八	二六、六三八
	公有社寺有林	七、六九九	二〇、一四五	一八八、八七六	一八、五一〇	八一、一四一			四二、四八六	二六八、九二三
	私有林	八、九四八	三七、九五三	一四九、九一六 ?	二六、八七一	八一、一四一			一七、三七九	二六六、八一八
	計	一、〇九二	五、六五八	二、七一〇	五五六	二、三三			一、一八八	六、一〇〇
四十年	國有林	二〇、九五八	二八、一〇〇九	五六、二九九	二五、六三二	一七、一四一 九八			二、三三三	一九八、一〇五
	御料林	二三、〇五二	四三七、五九三	七七、〇四二	一七、一四一	一、一一〇			四二	二、八三四
	公有社寺有林	六、九〇一	一五四、七二八 ?	九五、八三三 二五五	八三 ?	五九 五			一四八、八六六	一〇五、一〇四
	私有林	二三、〇五二	四三七、五九三	七七、〇四二	一七、一四一	一、一一〇			一四八、八六六	一〇五、一〇四
	計	一、九九二	三七、九五三	一四、九八六 ?	二、三三	一、一四一			一、一一三	一二、一四八、八九二
四十一年	國有林	七〇三	一二、〇一五 ?	四四、六四九 三六	一三、六一三 ?	一七、一三四 九八			一、三三三	一六四、六一八
	御料林	三	四、〇九八	一、一一五	一五〇	二五〇			四四	三、八三五
	公有社寺有林	七、五〇七	八、八一五 ?	三、四四〇 三五〇	四八、一四四	四七、六三二			一、五四一	一五八、一〇五
	私有林	八、二四一	一〇、九三六	一三、八三〇	七、〇一六 ?	六五、三八五 六四八			一四、五四三	三三五、五四八
	計	一、〇九〇	一四四、七八五	九八、一二八	一三、六四八 ?	六四、一四一			七、三三〇	二二三、六八一
三十九年	國有林	一五九	二〇、一四五	一、一四二	一、一四四	一、一一〇			四二	三、六七九
	御料林	一、〇九〇	四、三七	九八、一二七	二八、七一四	六二、二一二			一、三八	二六、六三八
	公有社寺有林	七、六九九	二〇、一四五	一八八、八七六	一八、五一〇	八一、一四一			四二、四八六	二六八、九二三
	私有林	八、九四八	三七、九五三	一四九、九一六 ?	二六、八七一	八一、一四一			一七、三七九	二六六、八一八
	計	一、〇九二	五、六五八	二、七一〇	五五六	二、三三			一、一八八	六、一〇〇
四十年	國有林	二〇、九五八	二八、一〇〇九	五六、二九九	二五、六三二	一七、一四一 九八			二、三三三	一九八、一〇五
	御料林	二三、〇五二	四三七、五九三	七七、〇四二	一七、一四一	一、一一〇			四二	二、八三四
	公有社寺有林	六、九〇一	一五四、七二八 ?	九五、八三三 二五五	八三 ?	五九 五			一四八、八六六	一〇五、一〇四
	私有林	二三、〇五二	四三七、五九三	七七、〇四二	一七、一四一	一、一一〇			一四八、八六六	一〇五、一〇四
	計	一、九九二	三七、九五三	一四、九八六 ?	二、三三	一、一四一			一、一一三	一二、一四八、八九二
四十二年	國有林	四、五七八	一二六、八七〇 ?	七七、五二三 二二、八二二	一八、三〇八 ?	三〇、九八〇			一、七三九	一〇四、九六二
	御料林	一八八	四、一八八	二、一二七	五五、九五七 九九	一、一四八			三、六九四	六六、一二二
	公有社寺有林	一四、一九九	一九〇、一九八 ?	一四三、〇九六 六八二	二七、九九一	一、一一〇			一、一一一	一九、一一〇
	私有林	一八、九六五	三一、三五六	二二五、七五三 ?	七四、六七七	一〇、五一一 ?			一、一一一	二〇、八六一
	計	五、七二五	二二五、七五三 ?	一七、三九〇	二、四八二	一、一四七 ?			一、一一一	二、三七、八五九
四十三年	國有林	二、五三九	二七、二一一 ?	一〇、〇五九	一、一四八 九八	一、一一〇			一、一一一	一四、〇五九
	御料林	七四	一〇、七七七	一、一七七 ?	一、一四八 九八	一、一一〇			一、一一一	一、一一一
	公有社寺有林	一四、〇八〇	二四、八九八 ?	一〇、一四六 八二二 ?	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	私有林	一〇、七七七	二四、八九八 ?	一〇、一四六 九一四	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	計	二、三三、二二	一〇、〇八八、八九五	二七、二一一 ?	三、八八、八二五	一、一一一			一、一一一	一三、八六、八九五
四十四年	國有林	一七、三九〇	八九七、九三〇 ?	一、一一〇、一四五 三八、五八〇	一、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一、一一〇、一四五
	御料林	二二	五、二二二	二、一一一	一、一一一	一、一一一			一、一一一	二、一一一
	公有社寺有林	一〇、七七七	二四、八九八 ?	一〇、一四六 九一四	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	私有林	一〇、七七七	二四、八九八 ?	一〇、一四六 九一四	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	計	二、三三、二二	一〇、〇八八、八九五	二七、二一一 ?	三、八八、八二五	一、一一一			一、一一一	一三、八六、八九五
大正元年	國有林	二、九八	一一、九八八	一、一一一、一四七	一、一一一	一、一一一			一、一一一	一、一一一、一四七
	御料林	二五七	一、五八八	一、一一一	一、一一一	一、一一一			一、一一一	一、一一一
	公有社寺有林	一四、〇八〇	二四、八九八 ?	一〇、一四六 九一四	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	私有林	一〇、七七七	二四、八九八 ?	一〇、一四六 九一四	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	計	二、三三、二二	一〇、〇八八、八九五	二七、二一一 ?	三、八八、八二五	一、一一一			一、一一一	一三、八六、八九五
二年	國有林	六、九一	二六、六三八	一、一一一、一四七	一、一一一	一、一一一			一、一一一	一、一一一、一四七
	御料林	一四六	一、一五三	一、一一一	一、一一一	一、一一一			一、一一一	一、一一一
	公有社寺有林	一四、七八一	二〇八、〇六三	三三、四四四 六三九	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	私有林	二一、六八八	二三二、四四八	三三、四四四 六三九	二、一一一 ?	一、一一一			一、一一一	一三、一一一
	計	一、一一一	一、一一一	一、一一一	一、一一一	一、一一一			一、一一一	一、一一一

年度	區別	面積	用材 材積	用材 價額	薪材 材積	薪材 價額	竹其他 材積	竹其他 價額	價額計
三年	國有林	二、七五四	二三、〇五九	七二、七四三	二五、五六二	二四、〇九六	—	一、五三二	九八、三七二
	御料林	五五	一、五六九	七九八	一〇九	七七	—	九〇三	一、七七八
	公有社寺有林	一四、二七二	三四、〇三六	五五五、七二九	二四八、七一三	二八三、〇三九	七〇、六四八	二〇、六一五	九九九、三六三
	私有林	一七、〇八〇	四三六、六六四	六二九、二八〇	三六四、三八三	三〇七、二〇二	七〇、六四八	三三、〇五〇	一、〇五九、五二二
	計								

大正八年十一月十五日印刷
大正八年十一月十八日發行

著者　東京市外大崎町下大崎百八十番地　林學博士　松波秀實　電話高輪一八五番

發行人　東京市本郷區西片町十番地　杉謙二　電話小石川三〇六三番

印刷人　東京市芝區愛宕町三丁目二番地　赤羽正己

印刷所　東京市芝區愛宕町三丁目二番地　東洋印刷株式會社　電話麻二二五、二二六、二二七番

發行所　東京市芝區溜池一番地　大日本山林會　電話芝七三三〇番

定價金拾五圓

不許複製

コ-3575
く

650.21
MA83

終